

平成24年 (2012年)

久米島町議会会議録

第6回臨時会 (10月5日)	1日間
第7回臨時会 (11月6日)	1日間
第8回臨時会 (11月29日)	1日間
第9回臨時会 (12月12日～13日)	2日間

久米島町議会

目 次

目 次	I
平成24年第6回久米島町議会臨時会会期日程	IV
平成24年第7回久米島町議会臨時会会期日程	V
平成24年第8回久米島町議会臨時会会期日程	VI
平成24年第9回久米島町議会定例会会期日程	VII
平成24年第9回定例会一般質問通告一覧表	VIII

〈平成24年第6回久米島町議会臨時会（10月5日）〉

第1号（10月5日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 議案第40号 農道山城4号千整備工事請負契約について	3
日程第4 議案第41号 儀間漁港沖防波堤工事請負契約について	4
日程第5 報告第3号 平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価 報告について	5
閉会	10

〈平成24年第7回久米島町議会臨時会（11月6日）〉

第1号（11月6日）

出席議員	13
議事日程第1号	14
開会	15
日程第1 会議録署名議員の指名	15
日程第2 会期の決定	15
日程第3 発議第2号 米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物 損壊事件に対する意見書について	15
日程第4 決議第3号 米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物 損壊事件に対する抗議決議について	18
閉会	21

〈平成24年第8回久米島町議会臨時会（11月29日）〉

第1号（11月29日）

出席議員	23
------	----

議事日程第1号	24
開会	25
日程第1 会議録署名議員の指名	25
日程第2 会期の決定	25
日程第3 議案第42号 久米島町公共駐車場整備工事請負契約について	25
日程第4 議案第43号 議決内容の一部変更について	27
閉会	30

〈平成24年第9回久米島町議会定例会（12月12日）〉

第1号（12月12日）	
出席議員	33
議事日程第1号	34
開会	35
日程第1 会議録署名議員の指名	35
日程第2 会期の決定	35
日程第3 議長諸般の報告	35
日程第4 一般質問	35
散会	99

〈平成24年第9回久米島町議会定例会（12月13日）〉

第2号（12月13日）	
出席議員	101
議事日程第2号	102
開会	103
日程第1 会議録署名議員の指名	103
日程第2 議案第44号 平成24年度久米島町一般会計補正予算（第4号）について	103
日程第3 議案第45号 平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） について	120
日程第4 議案第46号 平成24年度久米島町水道事業会計補正予算（第1号）について	
日程第5 議案第47号 平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号） について	121
日程第6 議案第48号 久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	122
日程第7 議案第49号 久米島町営住宅条例の一部を改正する条例について	123
日程第8 議案第50号 久米島町営住宅等の整備基準を定める条例について	124

日程第9	議案第51号	久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例について	125
日程第10	議案第52号	久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例について	132
日程第11	議案第53号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する 協議について	133
日程第12	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	134
閉会			135

平成24年 第6回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成24年10月5日（金）
 閉 会 平成24年10月5日（金） 会期1日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
10月5日	金	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第40号 第41号 報告第3号 ○閉会

平成24年 第7回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成24年11月6日（火）
 閉 会 平成24年11月6日（火） 会期 1 日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
11月6日	火	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 発議第2号 発議第3号 ○閉会

平成24年 第8回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成24年11月29日（木）
 閉 会 平成24年11月29日（木） 会期 1 日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
11月29日	木	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第42号 議案第43号 ○閉会

平成24年 第9回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成23年12月12日（水）
 閉 会 平成23年12月13日（木） 会期 2 日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
12月12日	水	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議長諸般の報告 ○一般質問 ○散会
12月13日	木	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 議案第50号 議案第51号 議案第52号 議案第53号 ○諮問第1号 ○閉会

平成24年第9回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	幸地猛議員	1. 空き屋敷（空き家）について	35p～41p
		2. 一括交付金について	
		3. 海洋深層水の利活用について	
		4. 道路改良について	
2	玉城安雄議員	1. 沖縄振興一括交付金について	41p～47p
		2. 福祉行政について	
3	翁長学議員	1. 平成25年度予算編成について	47p～49p
4	平良義徳議員	1. 役場職員のボランティアの活動に関する事	49p～53p
5	仲村昌慧議員	1. 議員定数について	53p～60p
		2. ヤジャーガマの整備について	
		3. フットライトの設置について	
6	島袋完英議員	1. フェリーターミナルの泊港の現状について	60p～71p
		2. 赤土流出防止対策について	
		3. 前村基金の活用について	
		4. 町民俗芸能保存会と文化協会の事務所の設置について	
		5. 航空運賃の軽減策と空路対策について	
7	饒平名智弘議員	1. 美崎地区（真謝）に公営住宅、宅地を	71p～78p
		2. 久米島マラソンの運営について	
		3. 一括交付金でさとうきび春・夏植えの農業費助成増額を	
8	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	78p～88p
		2. コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について（河川を含む）	
		3. TPP反対表明とサトウキビの防虫対策について	
9	棚原哲也議員	1. 生活路及び災害発生時等における避難経路としての道路の早急な整備を	88p～98p
		2. 字泊から奥武島間の海中に設置されている沖縄電力所有の導電施設の撤去を、又海岸のコンクリート片の撤去を早急にせよ	
		3. 真謝地先の深層水関連企業用地の活用状況について問う	
		4. 高速船導入に向けて検討を急ぐ必要があると思うが	

平成24年（2012年）

第6回久米島町議会臨時会

1日目

10月5日

平成24年第6回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成24年10月5日（金曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	10月5日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	10月5日 午前10時30分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	4番	翁長 学	5番	宇江原 総清
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄		
	書記	大城 良乃		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長		
教育長	比嘉 隆	建設課長	盛本 實	
総務課長	仲村渠 一男	産業振興課長		
町民課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長		
税務課長		消防長		
福祉課長		行政改革推進室長		
会計管理者				

平成24年 第6回久米島町議会臨時会

議事日程〔第1号〕
平成24年10月5日(金)
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	3p
第2		会期の決定	3p
第3	議案第40号	農道山城4号千整備工事請負契約について	3p
第4	議案第41号	儀間漁港沖防波堤工事請負契約について	4p
第5	報告第3号	平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告について	5p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、4番翁長学議員、5番宇江原総清議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は本日10月5日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って会期は本日の1日間に決定しました。

日程第3 農道山城4号線整備工事請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議案第40号、農道山城4号線整備工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。

それでは、議案第40号、農道山城4号線整備工事請負契約について。

農道山城4号線整備工事について、次のように請負契約を締結したいので地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 農道山城4号線整備工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 51,135,000円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県島尻郡久米島町字
銭田953番地

商号 丸吉組(株)

氏名 代表取締役 吉永功

平成24年10月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

農道山城4号線整備工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに請負契約書の資料を添付しております。

その次に、計画平面図、この場所については、山城の集落内から東側に向けて右下県道側に出る基点、終点となっております。

その他、計画断面図等も添付しております。

なお、今回の指名業者については、7社を指名し請負比率は99.1%となっております。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第40号、農道山城4号線整備工事請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って議案第40号農道山城4号線整備工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第4 儀間漁港沖防波堤工事請負契約
について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、議案第41号、儀間漁港沖防波堤工事請負契約についてを議題とします。

本案は原案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

本題に入る前に修正箇所がありますので、ご報告申し上げます。

2枚目の添付資料の中で、契約書の6番、解体工事に要する費用等の下側の[解体工事]

となっておりますが、これが「建設工事」に修正をお願いしたいと思います。

建設工事が建設工事にかかる資材の再資源等に関する法律の文言になります。よろしくお願います。

議案41号、儀間漁港沖防波堤工事請負契約について、次のように工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 儀間漁港沖防波堤工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 132,615,000円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県島尻郡久米島町字
仲泊641番地

商号 平田産業(株)

氏名 代表取締役 平田青太郎

平成24年10月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

儀間漁港沖防波堤工事請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。

2枚目については、工事請負契約書を添付しております。

その次が全体の計画平面図となっております。

なお、今回は先ほどと一緒に、業者は、7社を指名し、そのうち平田産業が98.9%で落札しております。

ご審議よろしくお願います。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

工事の内容ですが、標準断面が添付されていないんですが、工事の内容としては、どのような感じでしょうか、簡単に説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

既存のものが今ありますが、下側の方にマウンド造りまして、その表面を昨年被覆石ブロック造ったんですが、それで被覆石で撒いて中央近辺にコンクリートのエレベーションで5mの高さで幅が5.3mの防波堤を造るというかたちになります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今回の工事で防波堤マウンドから防波堤、消波ブロックの設置まで入るというわけですか、今回の工事に。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

防波堤を50m延伸するかたちになります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第41号、儀間漁港沖防波堤工事請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(多数挙手)

○ 議長 喜久里猛

挙手多数です。従って、議案第41号儀間漁港沖防波堤工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第5 平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、報告第3号、平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告についてを議題といたします。

本案は原案について提案理由の説明を求めます。

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

報告第3号、平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成23年度における久米島町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告する。

平成24年10月5日提出

久米島町教育委員会

概要を申し上げます。

2 ページお開き下さい。平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、また町民への好評がまとめられています。その中におきましては、点検・評価にあたっては下の方にそれぞれ学識経験者の名簿がございますが、その方々に点検・評価をしていただきました。

委員の名簿については、一読ください。

3 ページお願いいたします。今回の点検・評価につきましては、平成23年度久米島町教育委員会の事務事業ということで、ご理解をお願いしたいと思います。

評価方法につきましては、それぞれAからDまでの評価となっております。そして外部評価につきましては、教育に関し学識経験を有する次の3名の方でということで、2ページの方にございます方々をお願いしております。

評価の委員につきましては、それぞれこれまで歴代の教育委員長、そして学校のPTA連合の会長ということで、それぞれ教育委員会そして学校現場における学識経験ということで、3名の方を今回お願いし評価にあたっていただきました。

4 ページお願いいたします。目標達成のための主要施策14項目がございますが、第1項目が学校教育の充実ということで、次の5ページそれぞれの事業について少しご説明を申し上げたいと思います。

主要事業の方に8事業がございますが、全国学力学習状況調査、そして全国標準学力検査、沖縄県学力到達度調査、これは全国的、全県的なテストがございます、その中で久米島町におきましては、県平均以上ということを抑えて、これまで各学校の方にも頑張っ

ていただいておりますが、結果としてC評価これはまだ県の平均のレベルには至っておりませんので、C評価ということで評価をいただいております。

それから一番下の学校統廃合につきまして、これは平成23年度の評価ということがございましてC評価であります。

因みに現在の状況を状況を申し上げますと9月25日に幼少中学校の統廃合検討委員会を開催いたしまして、そして10月2日に統廃合検討委員長の方から答申をいただきました。今後においては、来週の10月10日に定例の教育委員会を開催し、そこで決定をし、町長の方にご報告申し上げ、それから各学校の校長、それからPTA会長との調停書を結び準備委員会を立ち上げ、今、準備を進めております。

6 ページご覧ください。「たくましい心と体を育む教育の推進」ということで、それぞれ子どもたちの健康面運動的な面から捉えておりますが、その中で4番目の幼児・児童・生徒・教職員の健康診断結果の実施をしておりますが、やはり子どもたちのまだ健康管理に十分な面がございません。これはいろいろ健康・教育講演会も開催し、それぞれ保護者の皆さん方に対しても積極的に啓発活動を行っているわけなんです、それでも講演の中でいらっしゃる保護者というのは、決まった方々がいらっしゃってなかなか健康面で弱い部分の保護者がいらっしゃらないというのが大きなネックがございます。これにつきましては、教育委員会今後も引き続き健康・教育講演会等を開催し、幅広い周知で保護者の皆さんの意識改革を図ってきたいということでございます。

それから、給食センターの運営なんです、

建物が老朽化して、今後の食の安全・安心が懸念され、改築が急務であるということがございますが、現状においては給食費の徴収率、そして子どもたちへの給食の安全・安心が図られていますので、A評価としております。

それから7ページ、道徳、人権教育の充実というのがございまして、これは、今、新聞でも、まだ取り上げられております、いじめ、それから自殺等につきまして、久米島町におきましては、毎月の問題行動調査を実施し不登校・いじめ等への調査をしております。

そして評価としてはA評価となっておりますが、現状におきましては、ある学校で不登校がございますので、また来週、校長あと担任の方から状況を聞く、今、予定をしております。

それから、次の平和教育の充実、これは慰霊祭の参加ということで、子どもたちが一生懸命道徳をとおしながら平和教育への学習を行っております。

8ページ、特別支援教育の充実がございまして、今、島の子どもたちにおきまして、各学校、そして学年において学習につまずきのある子どもたちが多いような感じがいたします。その状況の中におきまして、小学校に今4人の特別支援を配置しているわけなんです、やはりそれでも各学校の方から、まだまだ要求があるんですが、財政面それから支援面マンパワーの確保ができないような状況がございまして、B評価としております。

それから9ページ、国際理解、外国語教育の推進、現在、ALTの配置から小学校の英語指導員の配置そして海外ホームステイ派遣事業を行っておりますが、それぞれA評価ということでやっております。

情報教育の充実につきましては、それぞれ各学校の先輩方、そして地域の方々の方から自分たちの母校のホームページがなかなか更新がされていない状況ということがございまして、これは教育委員会の方でもいろんな取り組み等を行っているわけなんです、評価としてはC評価、もっと各学校を紹介するようなかたちでのホームページの更新をしてくれというような要望が多くございます。

それから10ページ、環境教育の充実ということがございますが、これは「ホテル観察会」から「リバーウォッチングinカンジン地下ダム」ということで、それぞれ島外の子どもたちが体験学習をそれから環境学習を行ってA評価となっております。

幼児教育の充実につきましては、預かり保育ということでB評価なんです、これは今日におきましては、それぞれ保護者、両親が共働きをしているということがございまして、なかなか自分たちで幼稚園の午後の保育を見ることできないというのがありまして、今、預かり保育を実施しているわけなんです、やはりそういった予算面、そして指導員その子どもたちを見る免許を持った幼稚園の先生の指導員が今いないということでB評価としております。

それでは青少年の健全育成の方ですが、いろいろ仲里交流とか夏休みのものづくり、ヤングフェスティバル、久米島町子ども読書まつりにつきましては、これは充実しているんじゃないかということで評価をしておりますが、町育英会事業これは平成23年度までいろいろ対応はしているが、なかなか対応した資金の改修ができない状況となっております、今C評価になっておりますが、これは現

在におきましては、いろいろ個別訪問等を行いまして、今、順調に回収ができるような、今、状況になりつつあります。

そして13ページ、家庭地域の教育機能活性化ということがございまして、放課後子ども教室を今それぞれの学校でやっているわけなんですけど、まだまだ地域に人材が不足して万全な態勢で放課後子ども教室が運営できないような状況にございまして、これは地域の人材バンク等を行いまして、いろいろな地域の皆さん方のご協力をいただきたいということがございまして、まだまだそういった態勢が構築されていない面でB評価としております。

スポーツの振興におきましては、夏休み水泳教室がございまして、それぞれ大岳小学校・清水小学校、そしてBGプールがございまして、久米島校区の子どもたちが距離的な問題点等で参加者が少ないということがあります。そういった移動等の問題で、今、夏休み水泳教室参加できる地域と、できない地域がありましてB評価としております。

生涯福祉の推進につきましましては、久米島町文化協会、これはC評価ということで任意団体なんですけど、私たち教育委員会の指導団体ということがございまして、これまでいろいろと地域の皆さん、そして文化系活動をされている方々から少し事務局態勢、内部態勢がどうかというお叱りがございまして、今C評価にしております。

文化・文化財等の保存継承につきましましては、それぞれミュージアム活性化事業から特別企画展開催まで、これは博物館業務となっておりますけど、ミュージアム活性化事業から久米島紬保存伝承事業につきましましては、それ

ぞれ国・県の事業をいただいて、順調に事業を行っておりますけど、一番下の特別企画展開催、これは期間、独自の企画展がございまして、やはり毎年マンネリ化のような状況がありまして、なかなか町民が足を運んでくれないというのがありますので、B評価としております。

17ページにおきましては、教育委員会の活動状況それぞれ毎月10日を基本とし定例会を開始しております。そして平成23年度は臨時会を開催しまして、15回の開催となっております。

教育委員会の活動につきましては、研修会がこれは沖縄本島で3回ございまして、それぞれ研鑽に努めております。研修内容は下の3項目であります。そしてその他活動状況ということで、平成23年度の各種行事への出席これは全委員が一度に出席するというのではなくて、時間、そして参加できる委員が、それぞれの行事の中に出席をされているという状況でございまして。

そして18ページ、19ページにつきましましては、それぞれ今回の平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価について外部評価の皆さん方のご意見をいただいて記載をしております。

以上ご報告申し上げます。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今回こういうかたちで始めて議会に報告されて、23年度のが報告されておりますが、法改正によって、21年度からそれが報告されるべきだったと思うんですが、2カ年間遅れた理由はなんなのか。

それから2ページの方にありますこの評価委員の選考方法はどのようにしてやったのか、お伺いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

議員の方から、今お話がございました点検・評価報告、これは平成19年度の6月の改正によりまして、議会への報告、そして町民への公表という位置付けがございまして、平成21年度から沖縄県、そして都市部あたりが報告がございまして、22年度あたりから各それぞれの市町村があったわけなんですけど、久米島町、私たち教育委員会につきましても、当時、教育行政の方で事務事業点検・評価システム、それを実施してございまして、その事務事の点検・評価システムの中で私たち教育委員会のものも含めてできるかなということがあったんですが、そのへん等も他の市町村とみますとそれもできないようなことがございます。2カ年遅れましたことは、私の指導不足もありまして、今日に至っているわけなんですけど、21年度の県で、そして22年あたりのそれぞれの市町村のひな形、市町村がどういったかたちで、報告されているのか、そのへん少し、見極めながらやったということがございまして、遅れたということにつきましては、本当に申し訳なく思っております。

そして評価委員の皆さん方につきましては、先ほど冒頭でもお話申し上げたんですが、

それぞれ教育委員会の中身を熟知し、そしてこれまでの状況を把握されているこれまでの歴代の教育委員長のお二人、そしてまたそれぞれ学校現場で、いろいろ学校の事業で、そして教育委員会の方でも関係のある今の小中連合のPTA会長の方でお願いをして、そういったかたちで3名の委員を私の方で選任しているような状況にございます。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

先だっの一般質問でも、この意識改革に付いての中で触れましたが、できない理由は絶対に並べてはいけないと思っています。職員がいないから他の市町村がどうこうのということではなくて、主体的に取り組んで欲しいなと思っています。

それからこの人選について、2ページ目に、なお、点検・評価にあたっては、点検・評価の客観性を確保するため、これ非常に重要だと思うんですよ。この委員2人の中で元教育委員をなされた方々、つい最近までなされている方々が果たして客観性を確保できるかということちょっと疑問に思うんですね。同じ教育委員にいた中の人たちが客観的に本音でもの言えるかといったら少し疑問を抱きますので、そういった面からすると人選をもっと考えるべきだったんじゃないかなと思っております。

いかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

いろんな意味で客観的を確保するということがうたわれておりますが、私たち教育委員

会の方としましては、いろいろ教育委員会のこれまでの事業、これは、今全ての事業をそこで網羅しているわけではございませんが、そういった教育委員会の内部を熟知されている方ということで客観性があるにではないかということがございますが、それと平行しまして、教育委員会の中身をいろいろ理解されている方々に評価してもらった方がいいのではないかとということで、3人の選任をいたしました。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

僕が今言っているのは、元教育委員をなさっているから内部のことは良く知ってはいるんですが、しかし同じ仲間、また同じ活動を共に一緒にしてきた中で本音で言いづーーらい面もあると思います。学校現場においては、教職を退職された方々がかなり久米島に残っています。そういう方から見る客観的な見方も必要だと思っておりますが、その面については、今後は考えるべきだと思いますが、再度お聞きいたします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これが平成24年度までの点検・評価ということで、今、評価員の方に委嘱状を交付しておりますので、次にあたりましては、そういった議員のご指摘も含めていرونなかたちで人選をしたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これで、平成23年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告を終わります。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時会で付議されました事件は全て終了しました。

これで平成24年第6回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前10時30分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号4番） 翁 長 学

署名議員（議席番号5番） 宇江原 総 清

平成24年（2012年）

第7回久米島町議会臨時会

1日目

11月6日

平成24年第7回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成24年11月6日（火曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	11月6日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	11月6日 午前10時24分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席13名 欠席1名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員	8番	島袋 完英		
会議途中退席議員			番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	6番	安村 達明	7番	喜久村 等
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄		
	書記	大城 良乃		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長		教育課長		
副町長		環境保全課長		
教育長		建設課長		
総務課長		産業振興課長		
町民課長		農林水産課長兼		
プロジェクト推進室長		農業委員会事務局長		
税務課長		上下水道課長		
福祉課長		消防長		
会計管理者		行政改革推進室長		

平成24年 第7回久米島町議会臨時会

議事日程 [第1号]
平成24年11月6日(火)
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	15p
第2		会期の決定	15p
第3	発議第2号	米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書について	15p
第4	決議第3号	米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する抗議決議について	18p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。

8番島袋完英議員から欠席の届けがありました。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、6番安村達明議員、7番喜久村等議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は本日11月6日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って会期は本日の1日間に決定しました。

日程第3 米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、発議第2号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書についてを議題としま

す。

本案について提案理由の説明を求めます。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

おはようございます。

発議第2号 平成24年11月6日

久米島町議会議員 喜久里 猛 殿

提出者 久米島町議会議員 幸地猛

賛成者 久米島町議会議員 安村達明

米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書

上記議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加え、けがを負わせたとして逮捕されるという極めて悪質な事件が発生し、更には同事件後、全ての軍人に対し深夜外出禁止令を発令したばかりの去る11月2日の深夜、嘉手納基地所属の空軍兵が読谷村内の居酒屋で酒を飲んで暴れた後、同建物3階の住宅に不法侵入し、室内で就寝していた男子中学生(13歳)の顔を殴り傷害を負わせ、器物を損壊する蛮行が行われたことは、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件にも及び、本町議会は、事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止を徹底するよう米軍等に強く抗議してきた。しかし、再び事件は発生し、むしろ悪質さを増している。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による悪質な事件

に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、本町議会は、町民・県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するため本案を提出する。

米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加え、けがを負わせたとして逮捕されるという極めて悪質な事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

在日米海軍によると、両容疑者は補給業務を支援する通常業務のため、14日から嘉手納基地で従事し、事件の発生した16日にはゲームに移動する予定であったとのことであり、短期間の滞在中に帰宅途中の女性に性的暴行を加えてけがを負わせるという蛮行に激しい憤りを覚え、断じて許すことのできない卑劣極まりない犯罪である。

また、女性暴行致傷事件を受けて、在日米軍のすべての軍人に対し、午後11時から翌朝午前5時までの深夜外出禁止令を発令したばかりの去る11月2日深夜、嘉手納基地所属の空軍兵が読谷村内の居酒屋で酒を飲んで暴れた後、同建物3階の住宅に不法侵入し、室内で就寝していた男子中学生（13歳）の顔を殴り傷害を負わせ、器物を損壊する蛮行が行われた。

復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件にも及び、本町議会は、事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止を徹底するよう米軍等に強

く抗議してきた。

このような中で事件が再発したことは米軍が発令した深夜外出禁止命令や綱紀粛正がなんら抜本的な解決策になりえていないことが証明され、むしろ悪質さを増しており断じて許すことはできない。

戦後67年が経過した今日においても、基地から派生する事件・事故等に県民がその意思に反して巻き込まれる構図が、未だ継続している過酷な状況下にあることを如実に物語っている。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による悪質な事件に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、本町議会は、町民・県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が連々かに実現されるよう強く要求する。

記

- 1 被害者及び家族への謝罪と完全な補償を行うこと。
 - 2 加害者の厳正な処罰を行うこと。
 - 3 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のおり方を根本から見直し、実効性のある根本的な再発防止策を公表すること。
 - 4 日米両政府は、理不尽な日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理縮小・返還を促進すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年11月6日

沖縄県久米島町議会

あて先

内閣総理大臣 沖縄防衛局長 外務大臣
防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いま
すがご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

まず原案に反対者の発言を許します。

ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

次に原案に賛成者の発言を許します。

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧委員

原案に賛成の立場で討論します。

米兵による女性への集団暴行事件は女性の
人権と尊厳を踏みにじる米兵の蛮行であり、
絶対に許されません。

これまで綱紀肅正や再発防止を訴えてきま
したが、11月2日には夜間外出禁止令が出さ
れている最中に米兵による住居侵入傷害事件
がおきました。もはや、綱紀肅正は実行性が
なく、綱紀肅正の限界であります。

県民の人権、生命、財産を守る立場から満
身の怒りを込めて抗議をするとともに日米地
位協定の抜本的な改定と米軍基地の縮小、返
還を促進することを強く求めて、本案に賛成
いたします。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私も本案に賛成する立場であります。この
女性暴行致傷事件については、もし、この2
人の米兵容疑者がホテルに行かなくて、ただ
ちに米軍施設内に入っていたとすれば、これ
はほとんど被疑者がわからないと、こういう
状況だったと十分考えられます。そして、被
害者が勇気をもって訴えた。こういうことで、
今回のその事件については明確になったとい
うこと。

それから、中学生に対する殴打事件等であ
りますけれども、この事件についても住居侵
入、暴行傷害という事件でとらえていますけ
れども、これはことによっては、その命を絶
っていたかもしれない。こういう重大な事件
であるわけです。

しかも、この2つの件について日米安保条
約、いわゆる日米地位協定に基づいて、対処
されようとしています。根本的にはこれは
不平等条約であります。この日米安保、日米
地位協定というようなものについては、米軍
は日本国内において、米国軍隊を必要な軍
隊だと、必要な場所に、必要な期間置く
ことができるということで、大まかに言えば
そういうような規定。

それから日米地位協定についての中身も犯
罪引き渡し条約についても第一次裁判権につ
いては、米軍が持っている。これはどうい
うことかという。ほんとに日本政府、ある
いは沖縄住民というのは、黙って被害は受
けたのに、黙っていなければならないとい
うような、実態があるわけです。

私は、この日米安保条約とか、あるいは日

米地位協定、行政協定であります。これについては、米軍のイタリア駐留、イギリス駐留と同等な内容に条約、あるいは行政協定をしなければいけないと。こういうふうに痛感しております。

そして、この問題については、戦時から既に始まっているわけです。これを我々が認識して、改定しない限り再発防止なんてありえないということで、私はもっと強く、米国やあるいは日本政府に対して訴えるべきであろうと考えています。そうしない限り、また、この種の事件というのが発生するということでもあります。

そういう意見を申し上げて、十分な検討も、これから日米安保条約、日米地位協定について、十分に斟酌しながら、もっと発展した抗議をすべきだと思っています。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

これで討論を終わります。

これから、発議第2号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って発議第2号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する意見書については原案のとおり可決されました。

日程第4 決議第3号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・

傷害・器物損壊事件に対する抗議決議について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、決議第3号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する抗議決議についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

決議第3号 平成24年11月6日

久米島町議会議長 喜久里 猛 殿

提出者 久米島町議会議員 平良義徳

賛成者 久米島町議会議員 安村達明

米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する抗議決議

上記議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加え、けがを負わせたとして逮捕されるという極めて悪質な事件が発生し、更には同事件後、全ての軍人に対し深夜外出禁止令を発令したばかりの去る11月2日の深夜、嘉手納基地所属の空軍兵が読谷村内の居酒屋で酒を飲んで暴れた後、同建物3階の住宅に不法侵入し、室内で就寝していた男子中学生(13歳)の顔を殴り傷害を負わせ、器物を損壊する蛮行が行われたことは、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件にも及び、本町議会は、事件・事故が発生するたびに、綱紀肅正、再発防止を徹底するよう米軍等に強

く抗議してきた。しかし、再び事件は発生し、むしろ悪質さを増している。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による悪質な事件に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、本町議会は、町民・県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するため本案を提出する。

米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する抗議決議

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加え、けがを負わせたとして逮捕されるという極めて悪質な事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

在日米海軍によると、両容疑者は補給業務を支援する通常業務のため、14日から嘉手納基地で従事し、事件の発生した16日にはグアムに移動する予定であったとのことであり、短期間の滞在中に帰宅途中の女性に性的暴行を加えてけがを負わせるという蛮行に激しい憤りを覚え、断じて許すことのできない卑劣極まりない犯罪である。

また、女性暴行致傷事件を受けて、在日米軍のすべての軍人に対し、午後11時から翌朝午前5時までの深夜外出禁止令を発令したばかりの去る11月2日深夜、嘉手納基地所属の空軍兵が読谷村内の居酒屋で酒を飲んで暴れた後、同建物3階の住宅に不法侵入し、室内で就寝していた男子中学生（13歳）の顔を殴り傷害を負わせ、器物を損壊する蛮行が行わ

れた。

復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件にも及び、本町議会は、事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止を徹底するよう米軍等に強く抗議してきた。

このような中で事件が再発したことは米軍が発令した深夜外出禁止命令や綱紀粛正がなんら抜本的な解決策になりえていないことが証明され、むしろ悪質さを増しており断じて許すことはできない。

戦後67年が経過した今日においても、基地から派生する事件・事故等に県民がその意思に反して巻き込まれる構図が、未だ継続している過酷な状況下にあることを如実に物語っている。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による悪質な事件に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、本町議会は、町民・県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が連々かに実現されるよう強く要求する。

以上、決議する。

記

- 1 被害者及び家族への謝罪と完全な補償を行うこと。
- 2 加害者の厳正な処罰を行うこと。
- 3 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のあり方を根本から見直し、実効性のある根本的な再発防止策を公表すること。
- 4 日米両政府は、理不尽な日米地位協定の

抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理縮小・返還を促進すること。

以上、決議する。

平成24年11月6日

沖縄県久米島町議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米海軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事 在沖米海軍艦隊活動司令官 嘉手納基地第18航空団司令官

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いますがご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

まず、原案に反対者の発言を許します。

ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

次に、原案に賛成者の発言を許します。

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

本案に賛成の立場で討論します。10月16日に米兵による女性への集団暴行事件がおきました。女性の人権と尊厳を踏みにじる米兵の蛮行が行われたことは、絶対に許されない問題であります。これまで綱紀肅正や再発防止を訴えてきましたが、11月2日には、夜間外出禁止令が出されている最中に米兵による住居侵入、傷害事件がおきました。もはや綱紀肅正に実行性はなく、綱紀肅正の限界であり

ます。町民、県民の人権、生命、財産を守る立場から満身の怒りを込めて抗議をするとともに、日米地位協定の抜本的な改定と基地の整理縮小、返還の促進を強く求めて本案に賛成の討論といたします。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

この女性暴行事件、これについても、日米安保条約、日米地位協定、非常に不平等条約であると痛感をいたします。それから中学生に対する暴行事件、住居侵入、その事件についても、一つ間違えば命を絶たれたというような非常に残念な事件でもあります。なぜ、このような日米安保条約、日米地位協定、そういったものが日本国、あるいは沖縄県民において、もっと強く、米国や日本政府に訴えることができないのか、そして、米国の駐留軍はイタリア、あるいはイギリスにおいても、ほんとうに向こうの憲法、法律を守るような、いわゆる国内法を遵守するような規定のやり方をして、日本においてはどうかというと、この日米安保、それから地位協定、これについては米軍は必要な軍隊を必要な場所に必要な期間までおくことができるということと、その裁判権は、第一次裁判権は米国にあると、こういうような規定をされています。それこそ、ほんとうに隷属的というよりは、私は差別的支配的な地位を米国側が占めていると、掴んでいると、こういうふうに判断をしております。そして、私が復帰前、ベトナム戦争たけなわの頃にも殺人事件とか、強姦殺人とか、一歩手前で、犯人を検挙しようというときに、もう既にアメリカに行ってしまうと、迷宮入

りになった。それから僕らが格闘した強盗傷害事件、逮捕して米軍に引き渡したら2、3日後は町を闊歩して歩いている。その実態が今もなお続いているということです。こういうようなことから、ぜひ、今回を機会に、特にオスプレイも我が物顔で、日本国どこでも飛んでいける、あんな危険なものを容認するようじゃだめだと、特に、久米島町においては、心からこのような日米安保条約とか、日米地位協定、これの抜本的な見直しと、米軍が日本国内の法律を守るような、または、同等な《てき》を受けるようなかたちで、皆さん方、我々、皆さん方とともに頑張るようなかたちで、ぜひ考慮していただきたいということを補足しまして、私の意見とします。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

これで討論を終わります。

これから、決議第3号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する抗議決議についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って決議第3号、米兵による女性暴行致傷事件及び住居不法侵入・傷害・器物損壊事件に対する抗議決議については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時会で付議されました事件は全て終了しました。

これで平成24年第7回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前10時24分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号6番） 安村 達明

署名議員（議席番号7番） 喜久村 等

平成24年（2012年）

第8回久米島町議会臨時会

1 日 目

11月29日

平成24年第8回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成24年11月29日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	11月29日 午前10時07分	議長	喜久里 猛
	散会	11月29日 午前10時32分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	8番	島袋 完英	9番	崎村 正明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄		
	書記	大城 良乃		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長		
副町長	大田 治雄	環境保全課長		
教育長		建設課長	盛本 實	
総務課長	仲村渠 一男	産業振興課長		
町民課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長		
税務課長		消防長		
福祉課長		久米島博物館長		
会計管理者				

平成24年 第8回久米島町議会臨時会

議事日程〔第1号〕
平成24年11月29日(木)
午前10時07分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	25p
第2		会期の決定	25p
第3	議案第42号	久米島町公共駐車場整備工事請負契約について	25p
第4	議案第43号	議決内容の一部変更について	27p
		閉会	

(午前 10時07分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。

これより会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は会議規則第120条の規定によって8番島袋完英議員、9番崎村正明議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会議の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会は本日11月29日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って会議は本日の1日間に決定しました。

日程第3 久米島町公共駐車場整備工事
請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議案第42号、久米島町公共駐車場整備工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。

それでは、議案第42号、久米島町公共駐車場整備工事請負契約について。

久米島町公共駐車場整備工事について、下記のとおり請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町公共駐車場整備工事

2. 契約の方法 指名競争入札

3. 契約の金額 1億1千340万円

4. 契約の相手方 住所 沖縄県島尻郡久米島町字謝名堂100-1番地

商号 株式会社 宮城組

氏名 代表取締役 宮城正勝

平成24年11月29日提出 久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町公共駐車場整備工事請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例、第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページにおきまして仮契約書が添付されております。

その次のページにおきましては、計画平面図を添付しております。

なお、平面図に示しているとおり、駐車場、そして歩道部分の箇所等が示されております。なお、1工区、2工区については、1工区はほぼ完成しまして、2工区においては、

いま芝張り等の工事も進んでいるところであります。

以上が提案理由であります。よろしく願いします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま説明がございましたが、先ほどの議運のなかで、パークゴルフ場のオープンが3月23日を予定しているということで、工期については2月末頃という説明だったんですが、これから1月、2月については雨時期になりますし、この工期を2月末で設定するのであれば、遅れがでないか、非常に心配するところがあるんですが。オープンについてですね。工期は日程決まっていますでしょうか、担当課の方は。

○ 建設課長 盛本 實

正式な工期については3月25日で予定しています。ただ、議運のなかでお話しがあったように3月23日を目標にグランドオープンを予定していますので、できましたら2月中になんとか、ある程度目途をつけていただきたいという、落札業者とは調整している最中です。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

2 番 幸地猛議員。

○ 2 番 幸地猛議員

3点程ですね、この金額、1億1千340万円。この金額非常に大きいんですが、分離発注で

きなかったかどうか。この駐車場ですから多くの業者に行き渡るようなことができなかったかどうか。落札率ですね、何%だったのか。

○ 建設課長 盛本實

おっしゃるとおり、かなり金額が大きいんで分割もいろいろ検討したんですが、面的なものがあって、どこで線を切るかというのが非常に難しい部分がある。例えば道路ですと途中でちょん切って、A地区B地区とわけられるんですけど、面の場合は非常に難しい部分があって、例えばどこかで切ったときに、将来の話なんですけど、どこかで施行が悪かったとか、どうのこうのとなったときに、その責任というのが施工責任というのが非常に難しくなる部分があるんです。このへんが非常に悩んで、今回はこういう状況なんで一括で発注しようということで決定して発注しています。

落札率ですが、受入比率が98.4%なんです。

○ 議長 喜久里猛

2 番 幸地猛議員。

○ 2 番 幸地猛議員

面的なもの、技術的なものだと思うんですが、これ半分からわかるかじゃなくて、いろいろやり方があると思うんですけど、今言われるとおおり、仕上げの問題でいろいろあると思うんですが、金額の大きいものは、業者の皆さんマチカンティーしていると思うので分離分割発注をお願いしたいなと思っています。

それから落札率98.4%、何回入札を行ったかです。

○ 議長 喜久里猛

盛本實課長。

○ 建設課長 盛本實

1回で落札は決定しています。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を始めます。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第42号、久米島町公共駐車場整備工事請負契約について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。したがって、議案第42号、久米島町公共駐車場整備工事請負契約については原案のとおり可決されました。

日程第4 議決内容の一部変更について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、議案第43号、議決内容の一部変更について議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案に入る前に、先ほどの議運のなかで、車の駐車場の台数の数の質疑ありましたが、お答えしたいと思います。

小型自動車が162台、大型バスが3台、身障者用車両のスペースが4台分、二輪車が20台、合計で189台の収容が可能になります。以上詳細を報告します。

それでは、議案第43号、議決内容の一部変

更について。

平成24年第2回久米島町議会定例会で、議案第22号でもって議決された久米島町多目的公園整備工事契約について、にかかると、議決内容の一部を次のように変更する。

記

契約金額中「252,000,000円」を「256,414,200円」に変更する。

その差額は441万4千200円となります。

平成24年11月29日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町多目的公園工事について、設計の一部変更及び追加工事により変更契約を締結して執行する必要が生じたので、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに改訂契約の契約書を添付しております。その次のページで施設平面図、そして植栽平面図を添付しておりますが、尚、この施設数量表のなかで赤の見え消しした部分が今回の変更、そして新たに赤で表示された部分が追加で施行する箇所になります。全体の枠のなかで、特に主立って変更があったのは、右端側の第1回変更の表示の上側にトイレを予定しておりましたが、そのトイレを管理上いろいろ問題点があるということで取りやめて、その代わりに東屋の増設、東屋2というのがありますが、それを新たに変更して設置してあります。なお、植栽平面図においても部分によっては設計変更を行って、先ほど申し上げたように見え消し箇所が変更内

容、新たに表示された箇所が変更後の施行箇所になります。以上で提案理由の説明をおわります。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

植栽について質問します。この公園の植栽について、松とかテリハボク、それからビロウということでの植栽計画がありますが、これがその場に妥当であるかどうか。つまり塩害に強いかどうかについて検討したことがあるかどうか、1点。2点目は前に植栽した樹木というのは、どれだけ枯れたか、そういうことと。3点目は、その公園の前の階段式のコンクリート護岸の塩害発生状況を把握しているかどうか。その3点についてお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

植栽に関しては、いろいろ沖縄県の道路植栽とか、こういう植栽という、一つの標準的なものがあって、そのなかでは塩害に強いとか弱いとか、季節がどうなのかとか、地域性も含めてあるんですが、そのなかでいろいろ検討して、去年、今年の植栽の樹種を決めました。

昨年植えた箇所と今回の分に関して高木が、数本枯れています。この分に関しては工事契約のなかで瑕疵期間がありますので、前回の受注業者が責任をもって植え替えをする

と、12月中に植え替えするという事になっています。今回の分も一部枯れているのがありますので、今回、施行している業者の方で植え替えをやるということになっております。海岸線の植栽が殆ど枯れているということがあって、我々も調査をし、環境保全課のほうも、いろいろ調査もして補植等もやってはいます。ただその分が保安林に指定されていないものですから、今後、保安林に指定して、その保安林の強化を図っていきたいというふうに、今計画を進めているところでございます。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

枯れたものの樹木については業者が補植するという事ではありますが、これがまず1年過ぎていたらどうなるだろうか、税金の無駄遣いですと、こういうことを言いたいわけです。よくよく樹木を選定して植栽するという事と、その環境にあった樹木はなんであるかということも、ぜひ検討していただきたい。

次に、この塩害については、僕は公園の前の階段式コンクリート護岸がある以上、潮害防風保安林というのは、また枯れる。冬の2月でもだいぶ塩害をとばして、モクマオウがだいぶ葉枯れをおこしていました。2、3年前の一般質問のなかでは私も質しております。そして今回の9月28、29日の台風17号で、もちろん、久米島町においても北側は多大な塩害を受けていますけれども、1か月半かけて私は南部から北部まで全部、調査して特に西側、松からイタジイから、特に恩納村は恩納山の麓まで葉枯れさせています。この58号

線の松が大分立ち枯れしています。イタジイもそうですが、その他の樹木についてもやっている。これはコンクリート護岸の原因があると。因果関係があるということで、農林水産部長にも私はお願いをしてまいりました。実態を見てくださいと。今回、写真を持って説明に伺う予定をしております。そういうようなことでぜひとも、その要因はなんであるかということも、もちろん執行部の皆さんはもちろん、議員の皆さんも把握していただきたいということを願っております。執行部のうちの建設課長、そのコンクリート護岸についての、その考え方はどうあるべきかということで、特に今は公園の近くの前のコンクリート護岸。

○ 議長 喜久里猛

これは枯れてしまったから後植えしなきゃいけないか。一年前に植えたやつが枯れてしまったからこれは関連している答弁必要だと思う。盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

護岸に関しては12月本会議の方で検討しましょう。植えて1年以降どうするかという話もあるんですが、枯れたのは塩害の部分もあるだろうし、管理の部分も若干あったような感じがするんです。そうしたなかで管理に関しては瑕疵という部分がありますので、今回その植える木に関しても管理をきちんとやってもらいたいという部分で指導しております。塩害、護岸イコールに関しては12月の議会でお話をしたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私は今回の天皇皇后両陛下の行幸啓について久米島空港の道路をみて、松が立ち枯れしているのをさぞ驚かれたと考えております。特にこの公園においても、その松の植栽がありますので、そのへんのところもよく勘案しながら、対応措置を取ってもらいたいというふうに考えます。私は賛成する立場でいろいろ注意、勧告といいますか、それを補足しておきます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

改定契約の件、先ほども説明受けたんですけど、再度また質疑したいと思ひます。

改定金額の件なんですが、441万4千200円という金額は前回の工事の入札残ですよ、これを入れて予定価格ぴったりというかたちになっているわけですよ。そのなかで変更の対象となったなかで、芝生の面積が約3千㎡追加になっていると3千㎡といいますと約千坪ですね。千坪も見落としがあったのは何故かというのと。先ほどの話では増額ということはできなくて、予定内でのなかでの改定契約ということで、各コースを削減してその入札残に金額を合わせたという話もありましたが、それについて数量の報告とか業者にはちゃんと行ったのか、金額とかちゃんと説明責任を果たしたのかというのを伺いたいと思ひます。業者としては、何かぴったりの金額に合されて、何かちょっと納得できないというんじゃないかと、まだしっかり納得していない部分もあると思ひますので、そこらへんの説明責任を業者の方にもしっかりしてほしいと思ひうということなので質疑いたします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

今回芝生の増が約3千㎡となっています。このことに関しては丁度面積、計測する段階でミスが起こりまして途中で気が付いたという、その分に関しては単費で補正するつもりであったんですが、ただもう1回、その中身を検討したときに、必要な分、不要な分がないかとかどうか、別の工法で対応できないか、いろいろ検討しましたら補助対象の金額で出来るとう結果が出たものですから、例えば増になった芝生は、どうしてもやらなくてはいけない、減になる部分がないかどうかという分も、先ほど全協の中でも話たんですけども、トイレが早急に必要があるのか、植栽に関しても新植でやる必要があるのか、在来の久米島にある、周囲にある木を移植で対応できないかどうかと、そういう分で検討して今回設計変更になっております。その分が請負業者に負担がなかったかどうかという部分に関しては、設計数量も出して、変更数量も出して、単価そのものを開示をしまして、請負業者と協議しまして、双方納得の上での改定契約になります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この情報の開示とか、これは三者JVですよ。これは構成員に報告する義務はありますが、これは親に説明すれば親が構成員に説明するのか、そこらへんまでお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

本来JVなんで三者に説明すべきだったん

ですが、今回親の方がそれでいいと、自分とここで説明するからということだっものですから、取り敢えず親会社と調整しまして、そういう結果になっています。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第43号議決内容の一部変更についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

(挙手全員)

全員挙手です。したがって議案第43号議決内容の一部変更については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時会に付議されました事件はすべて終了しました。

これで平成24年第8回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号8番） 島袋 完英

署名議員（議席番号9番） 崎村 正明

平成24年（2012年）

第9回久米島町議会定例会

1 日 目

12月12日

平成24年第9回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成24年12月12日 (水曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	12月12日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	12月12日 午後4時47分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	4番	翁長 学	番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	10番	饒平名 智弘	11番	山里 昌輝
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄	書記	大城 良乃
	係長			
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	盛本 實	
総務課長	仲村 渠一男	産業振興課長	平良 朝幸	
町民課長	真栄平 建正	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長代理	大田 喜秀	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	仲地 泰			

平成24年 第9回久米島町議会定例会

議事日程〔第1号〕
 平成24年12月12日(水)
 午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	35p
第2		会期の決定	35p
第3		議長諸般の報告	35p
第4		一般質問	35p
		散会	98 p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。本日の会議を開く前にご報告します。本日は、大岳小学校の6年生、幸地りと君ほか14人と引率の先生から議会傍聴の申し出がありましたので許可しました。

ただいまから平成24年第9回久米島町議会議定例会を開会します。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、10番饒平名智弘議員、11番山里昌輝議員を指名します。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時03分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時07分)

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を行います。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日12月12日と13日の2日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日12月12日と13日の

2日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成24年9月17日から私が出席しました会議等の内容をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成24年9月以降の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略します。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 一般質問

○ 議長 喜久里猛

日程第4、ただいまから一般質問を行います。

一般質問の時間は、会議規則第56条第1項の規定によって、これまでどおり30分以内とします。

それでは、順次発言を許します。

2番幸地猛議員。

(幸地猛議員登壇)

○ 2番 幸地猛議員

2番幸知です。今回は4点ほど一般質問をしたいと思います。

1点目に、空き屋敷、空き屋も含めてですけれども、その対策について。日頃はそんなに感じないんですが、よく見てみますと、町内各字に空き屋敷(空き屋)が数多く見受けられます。空き屋敷(空き屋)の解消は、快

適な住環境対策と、今後の人口減少対策にも繋がると思うが、その解消策を講じる考えはないかどうか。

2点目に、一括交付金について。一括交付金の活用について、新年度の町の取組状況について伺います。平成24年度の状況を見ますと、生産性に繋げる施策。例えば、農業、漁業、商工業の分野への予算の割り振りが少ないようにあるが、新年度は積極的に取り組んで欲しいと思います。いかがでしょうか。

海洋深層水の利活用について。情報によりますと、県は新年度から農業分野の利活用について取りやめをするという情報があるがどうなっているのでしょうか。

これまでの研究成果もあり、また一部農家への技術移転もされていることから、農業分野について継続して推進する必要があると思うが、町はどのように考えているのでしょうか。

海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業との関連はどうなっていくのか。

道路改良について。儀間1号線の状況をみてみますと、最近になって道路の亀裂やデコボコが数多く見受けられます。危険な状態にある。早期に改良する必要があると思いますが、どう考えているか。

町として調査したことがあるか。調査しているのであれば、その結果はどうなっているか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

おはようございます。一般質問につきまして、2番幸地猛議員の質問にお答えいたします。

空き屋敷対策について。一括交付金を活用し、古民家(空き家)調査を実施いたします。調査内容は、古民家(空き家)の分布調査・ヒアリング調査・間取り調査・所有者の意向調査等を実施し、今後の活用に繋げていく予定であります。

一括交付金について。新年度の取り組みについてですが、平成24年度分の事業については、制度の先行きが見えないなか、短期間での事業立案であり、交付金の趣旨に沿った計画熟度の高い事業から優先的に配分しましたので、事業配分について偏りがあるの否めません。

新年度の事業立案については、各分野の課題について優先順位を決め集中的に配分したいと考えております。

海洋深層水の利活用について。久米島海洋深層水研究所の職員については、県は行政改革の一環として農業分野の職員を廃止する方向で進んでいるという情報があり、県の関係課に確認をしましたら、そのような内容での動きがありました。さっそく地元関係者と一緒に行った9月26日に県議会議長に、そして10月5日には県知事宛に農業分野の職員の継続配置と増員について要請をしております。町としては今後とも海洋深層水農業利用分野については積極的に推進を図っていきたいと考えています。

海洋深層水の複合利用を推進する上で、植物工場は大きな可能性があります。実証事業では農業分野の職員を検討委員会の委員に予定しており、職員による支援や技術指導等は必要不可欠と考えております。

道路改良について。町道儀間1号線と町道儀間36号線の交差点からクリーンセンターの

間において路面劣化やクラック、凹凸及び路体の一部については滑りが生じている箇所が見られます。この区間だけを見ても早急なる整備の必要性を感じています。国、県の補助事業の実施状況の流れからすると事業の採択については順位的に劣るのは否めません。しかし、現状の道路環境からしてかなりの危険性がある為、利用者の安全確保の面から整備は急務であると考えています。国、県に対し補助事業での整備が早急に実現出来るように強く要望してまいりたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

答弁内容を見てますと、古民家についての答弁となっておりますけれども、まずは空き屋敷について。さっきもちょっと触れましたが、お互い日頃生活してるときに慣れたせいかなかなか感じないんですが、しかしじっくり見た場合、非常に多いと感じます。その周囲に住んでいる人たちは、どう見てもいい住環境であるとは言えないと思います。雑草が生えていて、見苦しく感じられて、周囲の人々は誰かそこに住んでもらいたいと思うのは皆さんも同じ気持ちだと思います。先祖代々受け継いだ土地ですから、なかなか他人に売ることにはできないと思いますけれども、しかしながら町がなにか施策を打ち出して、その住環境をよくして、そこに人が住めば生徒数も増えるし、人口も増えていくだろうし、非常にいい環境ができると思うんです。そのへんについて町としてどういった施策をするか、もう一度答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま質問のありました件なんですが、役場には移住希望者から度々一軒家を借りて住みたいという問い合わせがあります。ご質問にあるとおり、空き家対策を実施することでこのような移住、定住者を増やすことが可能となり、人口減少対策、更には集落全体の住環境改善につながると考えております。

先ほど、町長から答弁があったとおり、年度内に町内に散在している空き家となっている古民家から、その活用策を図るための調査を開始したいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

他の市町村でよく聞く話ですが、例えば南北大東の皆さんは、島を出て行くときに全部財産を処分して出て行くと。残った人たちが畑だとか、そこに住んでいくとかかたちがあります。久米島とは条件が違いますが、ぜひ島から離れている皆さんも、そういったかたちをもてば、例えば親戚、知人、あるいは久米島に住んでみたいという人たちが、そこに住居を構えて生活すると思うんです。ただ、個人の不動産ですから、なかなか行政が思い切ってといてまいしょうか、指導できないと思うんですが、町が何らかの施策を打ち出す。処分したいと思ってもなかなか周囲があるものですから、なかなか踏み込めないです。しかしながら、行政が指導して、そういったかたちでまちづくりをするという方向を打ち出せば、地主の皆さん、地権者の皆さんもなんらか動かせるものがあるかなということだと思います。そういうことで、これから空き屋敷対策

をぜひしっかり取り組んでもらいたいと思っております。

そして、いま町においては景観計画もありますし、その中でどうしても空き地になりますとうまくいかないというのが出てくると思います。特に我々仲里校区、真我里から比嘉、謝名堂へ行きますと県道沿いに結構あるんです。これは親戚もなかなか言えないし、しかしながら、行政が何らかの指導をとれば、うまくいくのかなと。100%解消できなくてもいくらか解消ができて、地域のコミュニティー、そういったものができると思います。

人口増についても、アパートも増えていますが、なかなかアパートの皆さんは地域行事に参加しないですね。例えば部落作業とか新年会とか、なかなかアパートの皆さんは参加してくれない、聞くところによりますと、部落常会も出ない。確かに人口は増えますがしかしなかなかそこまでいかない。しかし、この空き屋敷を解消すれば、必ず皆さんは隣近所のつきあいが出てきますので、その地域のコミュニティーも出るだろうし、そういうことで、ぜひ、最後に町長もう一言お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

空き家、空き屋敷、古民家についての問題点をあげますと、沖縄県では古い風習でトーターメーが残っているのが一番大きな課題になっております。私自身、東京郷友会、あるいは沖縄県の郷友会の集まりに行ったときに、必ず一言、トーターメーが移動できるのであれば移動してくださいと。その代わり人に貸したりするのは、こちらの方でなんかし

ますということをお願いしているんですが、これがなかなか進んでないというのが実態です。

ただ、家、屋敷の売買については、これは町が関わるというのは非常に困難な部分があります。我々としては早めにデータベースをつくって、それをニーズに応えられる数字を把握するのが、まず最初のとっかかりだと思っております。これを積極的に進めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この空き屋敷の対策については、特に本土の過疎市町村についても同じ悩みをもつところがあると思います。そのへんも検索してもらって調査してみれば、またわれわれ久米島町としての取り組みがどういったかたちでできるか参考になると思います。今後ともぜひ前向きに検討をお願いいたします。

次に2点目、一括交付金について。一括交付金は24年度最終的な確定ではないと思いますが、これまでの資料から見ますと農林水産業に関する事業として、金額にしますと約4千400万円あまり、率にすると約8%、1割も満たしていないということで、非常に率も低いし金額も少ない。特に25年度は、ぜひ生産性につなげる施策、農林水産業振興にもっと力を入れるべきだと思います。

去った町の産業まつりにおいて表彰式に参加しましたが、若い農業後継者、漁業後継者が出てきて非常に嬉しく思いました。しかしながら統計資料を見てみますと、農業生産額はグーッと落ちてきていますね。約17億円ですか、非常に下がっています。そのことは何を

意味するかというと、特にサトウキビが主だ
と思うんですが、サトウキビが減ると町の税
収にも非常に影響していると思うんです。一
番感じているのは担当課長だと思いますが、
やはり所得を上げる方法、せつかくこれまで
の本予算プラスアルファ一括交付金があり
ますので、この一括交付金をつかってこうい
った生産性につなげる、所得向上施策を、ぜ
ひ新年度はやってほしいと思うんですが、も
う一度答弁お願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの一括交付金の質問ですが、私た
ちの部署では各課の事業をとりまとめて県と
国と調整する役割を担っておりますが、やは
り産業関係、農林水産業の割合が低いよう
に感じております。その一括交付金の制度が発
足してまだ1年に満たないということで、産
みの苦しみを味わっているところで、じっく
り各産業に関する課と調整を図りながらいま
質問があった町民の所得向上とか、産業活性
化につなげていけるように努力してまいりま
す。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この一括交付金について、去った議員の研
修会でも町村課長からお話ございましたが、
県内で約1千件ぐらいいろいろ上がって
いるそうですが、その中でもやはりこうい
った生産性につながるものがいくらかあると
思います。このことはやはり一括交付金です
から、ある程度制約は受けるのは当然と思
いますが、しかしながら、その他もあります

ので、ぜひ島としてそういった生産性につな
げる方をこの一括交付金で補ってあげれば、
もっと若い皆さんも第一次産業、ひいては
第六次産業という話もありますので、そこ
までぜひつなげていってもらいたいと思
っております。町長から答弁を求めたいと思
います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

一括交付金につきましては、使い勝手とい
うことに関していろいろな疑問を投げかけ
る人もいますが、ただ、私としては非常に
いい制度だと思っております。これにつ
きましては既存の事業で導入できるものは
一括交付金ではつかえませんよと。ある
いは維持管理については一括交付金で、
これは議員のみなさんにご存じだと思
いますが、それをどうやって産業につ
なげるかということであれば十分可能
でありますので、いろいろな部分に
挑戦していきたいと思っております。こ
れは実際我々ができないと思っていた
のが何カ所の町村でできたりとか、
そういうのがありますので、たぶん
これは立案能力の差、あるいは発想
の差、そういう部分に関連している
ので、努力して交付金をつかえる
ような仕組みを、これからも職員
と一緒に頑張って勉強しながらや
っていききたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

町長から前向きな答弁がありましたが、
今年度を見てもみますといくらか偏り
があるということは否めないと思
います。そこで新年度におきま
しては、ぜひ、そういったかた
ちの町民が自立できるような
施策をぜひ打ち出し

てもらいたい。また3月議会でいろいろ議論をしていきたいと思っております。

次に、海洋深層水の利活用について。町の真謝地先にある県の海洋深層水施設は、多段利用ということで全国に例を見ない、農業分野でもいま活用されています。他の県がやっていないものを久米島で実証してやっていると。しかしながら最近になりまして、農業分野については廃止するということが非常にびっくりしていますし、また残念でなりません。ぜひこれを存続に向けて頑張ってもらいたいと思っております。

最近になりまして、やっと農家に場所を提供してもらって、約3名の農家が頑張っていますし、更に皆さんが、そこに参加できるようなかたちのものを、ぜひ、やってもらいたいと思います。これが廃止されますと、おそらく久米島全体の振興を阻害することになると思います。ぜひ、継続して推進できるように県に働きかけたいってもらいたいと思えます。最近の情報は町長どういったところまで知っているかお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

その後、県の担当課に今の状況はどうなっているかということで問い合わせして聞いています。県の方でも関係部局との調整中で、それ以上のことはいまのところは応えられませんということです。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

ぜひ、積極的に継続できるように頑張ってもらいたいと思っております。

次に、道路改良について。儀間1号線、答弁書にあるとおり、やはり凸凹ができて危険です。自分もよくそこを通るものですから、最近だんだんとへこんできてちょっと危険を感じます。答弁にありますとおり、国、県の採択順位はまだまだだと思えます。しかしながら現状を見てもうほっておけないというところまできていると思えます。再度、担当課長から、それについて答弁を求めます。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

現場確認しました。全体的ではないんですが、部分的にはかなり危険な状況があります。その危険箇所に関しては、法高がかなり高いところがあります。5メートルとか10メートルとか。その部分に関しては補修するにしても、やはり擁壁をつくったり莫大な費用が掛かる気がします。そうすると現状からして、仮に補修にするか本格的な補修にするのかを検討しているんですが、いずれにせよこの道路に関してはいずれ本格的な補修、改良が必要になってくる箇所ではあります。様子を見ながら、本当に危険な箇所に関しては単費をつかってもいいから補修の必要はあるかなと感じております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

上阿嘉から病院通りは何年度までの計画ですか。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

久米島縦断線の計画では上阿嘉から久米島

公立病院までということで事業採択して、現在工事を進めている最中ですが、1期の工事が今年で完了しています。堆肥センターまでが第1期工事で、第2期については堆肥センターから病院まで、5年間という計画で今年実施設計を入れて、来年度から工事に着工する予定でございます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この久米島縦断線ですが、例えば工事箇所によって道路を遮断する箇所も出てきますか。工事の施工方法において道路を遮断すると、交通止めにするという場所も出てきますか。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

堆肥センターから病院までの間に関しては、迂回路がない部分があります。その部分に関しては全面通行止めという状況になる可能性があります。ただ、周囲にはサトウキビ畑があったり、その期間はどうしても農家としては必要な時期がありますので、工事時期を考慮しながら、農家の皆さんに迷惑をかけないようなかたちで工事を進めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

なぜそういう質問をしたかといいますと、例えば、いま縦断線も交通止めになる、想定ですが、この1号線が決壊をして車が通れなくなると、そうしますとそこは産業道路であるし、生活道路なんです。その地域の人は迂

回しないといけないということで非常に心配なんです。ですから儀間1号線については、ぜひ早急に、県にも見てもらって、順位はあると思うんですが、しかしながら緊急というのがありますので、早急に整備をして、県の方にも調査してもらって、進めてもらいたいと思います。町長からひとつお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

この危険箇所については、早急に安全対策を施しながら、いま幸地議員がおっしゃったとおり県にも見てもらって何とか対策を立てていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

以上4点でしたが、ぜひしっかり進めてもらいたいと思います。

(幸地猛議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで幸地猛議員の質問を終わります。

休憩します。(午前10時34分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時35分)

次に、13番玉城安雄議員の発言を許します。

(玉城安雄議員登壇)

○ 13番 玉城安雄議員

13番玉城です。私の方から2点ほど質問したいと思います。まず、沖縄振興一括交付金について。これについては先ほどの幸地議員とも重複することもあると思いますが、別の観点から質問したいと思います。

まず、1番目に、本年度策定された一括交付金については、通常の新年度予算に比べる

と予算執行までの進捗は各市町村とも数カ月遅れている状態です。本町においても、計画立案した諸事業の執行及び進捗状況はどうなっているのか伺いたい。

2点目に、次年度を見据えた一括交付金の計画立案作業は、どうなっているのか伺います。

次に福祉行政について。まず1番目に、現在本町では、特定の病気で島内の病院では治療が難しく、本島内の病院で長期的に入院治療を受けている子どもが数例あると聞きます。入院費については県、町の助成事業で中学生までは無料化で対応しているが、渡航費、交通費、滞在費等かかる負担が多く子育てもままならない状況であります。行政の使命として、住民の生命と財産を守るという観点から、支援策を講じるべきだと考えるが、当局の見解を伺います。

2番目に、本年度より久米島保育所が民営化され、なでしこ第2保育園となりました。その際、議会等で保育士の雇用のあり方、民営化によるサービスの低下が懸念されました。開所当初は給食等保護者から不満の声が聞こえましたが、役場担当課には苦情等があったのか。どういう指導をしたのか、また、町としての指導の範囲はどこまでか伺います。よろしくお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

13番玉城安雄議員の質問にお答えいたします。一括交付金について、進捗状況ですが、9月の初旬までに要望した事業について内諾を得たのち、追加要望事業などの調整を進め

ながら、現在、正式な事業申請を終えたところですが、進捗状況につきましては、契約ベースで24.3%であり、かなり低い率でありますので早期執行を心がけ取り組んで参りたいと思います。

計画立案作業につきましては、次年度の要望調査が既に行われ、継続36、新規11の事業があげられていますが、年明けの申請に間に合わせ事業熟度を高め、かつ、優先順位をつけて取り組んで参りたいと思います。

福祉行政について。特定の病気で島外に通院している子どもについてです。本町には質問にあります小児慢性特定疾患の子どもが18名います。その中で島外の専門病院で治療している子どももおります。ご指摘のように島外での治療となると経済的負担は大きいと思います。小児慢性特定疾患の認定が中央保健所になりますので事例を調査し町の対応を検討していきたいと思います。

久米島保育所についてですが、開所当初は苦情があつて、話し合いをもつて改善の指導を行いました。また園の変更も2件ありましたが、その後は苦情は受けていません。指導の範囲についてですが、補助金交付申請や職員配置の指導、保護者からの苦情があった場合の指導を行っております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

まず、沖縄一括交付金について再質問していきたいと思つています。答弁によりますと執行率が24%とあります。プロジェクトからいただいた資料によりますと、内諾を得た事業の26事業がまだ執行されていない状況でありま

す。年度内に終了する事業は何事業か。また、その中で次年度に繰り越す事業もあるのか、そこらへん伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの質問にありました一括交付金の執行の関係なんです、やはり契約ベースで、負担行為ベースで約23%と、とても低い率になっております。継続事業も含めて、いま町長から答弁があったとおりになんです、年度内に完了する事業も今の執行状況からすると少し年度内に完了しますとははっきり申し上げられない部分があるんですが、できる限り早期執行を心がけて、次年度以降の展開、そして事業の優先順位と計画の熟度も、早期執行を行うことで高めていくことが可能だと思いますので、そのあたり各課に早めの執行を促していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

答弁によりますと、やはり今年度は初年度ということで計画立案が遅れて、申請した事業が取り下げられ、また採要望というかたちでいろいろ遅れていると思います。気になるのが、継続事業というのが36事業ありますよね、次年度に継続事業。その36事業も含めて新年度の事業執行に、再度聞きますが、本当に支障がないのか、そこらへん職員の配置等も含めてちゃんとした対応ができるのか伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

やはり継続事業も30以上あるということで、いま実施中の事業も含めて、かなりの数に上ります。やはり執行態勢、職員の人数とか人事の配置にもよるんですが、とにかく早期執行を行うことで島の経済とか産業振興につなげていくように努力していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひ、早期執行するようにお願いしたいと思います。

それと、気になるのが、金額の大きい事業がありますが、特に入札を伴う事業で、スポーツコンベンション関係とか、エコアイランド関係、久米の島緑化事業とか、バーデハウスのシステム改造とか、そこらへんの進捗状況はどうなんでしょうか。特に入札がどこまで進んでいるのか、発注したのか、そこらへん担当課お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

スポーツアイランド事業につきましては、野球場のスコアボード等は既に発注をかけております。あとはBGの体育館等を発注に向けて、年度内に発注できるように進めております。残りの事業についても一部は繰り越しがあるかと思っております。緑化推進につきましては、委託の部分につきましては既に発注をかけて、ある程度図面も仕上がって、年度内には委託は終了する見込みであります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

バーデハウスのシステム改修の進捗状況も
お願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

バーデハウスについては、いま準備をして
いるところで、年内には発注する予定で進め
ております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひ、早期発注していただき、また年度末
に集中すると思いますが、ぜひ早期発注して
いただきたいと思います。特にバーデハウス
については、我々も利用しているんですが、
システムの改修、全て何もない状態で、お客
様に非常に不評をきたしている状態ですの
で、ぜひ早期発注して改善してほしいと思
います。

次に、この一括交付金なんですが、次年度
に向けて新規の事業が11事業という答弁で
すが、一括交付金の事業の立案については、
我々議員も非常に興味をもっているわけで
あります。立案は議会、住民または民間の
企業等の意見も取り入れ参考にすれば、よ
りよい地域振興のための事業が立案でき
ると思うんです。議論の場を設けて進めて
いくのも大事だと思うんですが、町長に伺
いたい、どうでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

一括交付金については、例えば先ほども
申し上げたんですけれども、既存の事業で
できるものについては、該当しないという
部分も

ありまして、また各課において既存の事
業でできない部分というのが一番把握して
いるのが各課でして、その各課の立案に
基づいて今現在やっておるんですが、議
員がおっしゃったとおり民間の意見も取
り入れてやったほうがニーズに応えられ
るという部分もあります。これについては
また検討していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひ、この一括交付金については我々も
非常に期待しておりますので、ぜひそう
いう場をもつていただきたいと思いま
す。先ほどからも話がありますとおり、
この一括交付金は初年度ということで立
案作業から、県、国の内諾が遅れたのが
現在本町での執行率の遅れにも現れて
いると思います。立案については先ほど
話したとおり、議員含めて地域の意見
を聞くことも大事なことであります。

さらに今町長からありましたとおり、通
常の補助金で対応できない、沖縄の特
殊事情とあります。特に沖縄の特殊事
情といいますと、年に何回も台風がき
ます。塩害とかそういうのも十分対応
できるのではないかと思うんですが、
そういう検討も必要だと思いますが、
一言お願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

一括交付金の性格上、沖縄の特殊事
情というのが大きく採択の条件になり
ますので、いま玉城議員から質問があ
ったとおり、台風とか、沖縄ならではの
特殊事情に十分に配慮されるような事
業を立案していきたいと思いま

す。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひそこらあたりも考えて立案作業も進めてほしいと思います。事業の遅れは仕方ないんですが、やはり事業完了を優先にして、成果が挙げられなければ何も意味もありません。事業の成果も踏まえてスムーズに執行できるように、今後事業内容を十分吟味して取り組んでほしいと思います。一括交付金については、これで終わりたいと思います。

次に、福祉についてなんですが、答弁によりますと、小児性特定慢性疾患の認定を受けている子どもが現在久米島町に18名の子どもが認定を受けているということであります。そのうちの6名が本島内の病院で長期入院、または定期的に治療を受けているとのことであります。それ以外にも耳やその他の疾病で通院治療を受けている子どもがたくさんいると聞いています。少なくはないと思います。当事者としては小さい子どもを抱え、また家族と離れて生活する精神的な負担や治療のための渡航費、滞在費、交通費等の経済的負担も大きいと思います。町においても出産助成金や不妊治療等、条例化して支援しているものもあります。現在の人数は少ないんですが今後増えることも考えられます。当事者は口に出してこそは言わないが何とかしてほしいと思っています。総合病院がこの久米島にあるのに専門的な治療が受けられないのがいま久米島の現状であります。早急にそういうところを支援して対策すべきだと思いますが、町長の意見を伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

町長の答弁にありますのが実態であります。特にその中で公立久米島病院で治療ができる部分と、そうじゃない部分があります。いま議員から質問がありますのは島外で専門の病院を受けないといけないという方についての支援のことですけれども、多い方で月に1回とかいうことで、しかもまた長期にわたるというふうな病気になりますので、経済的負担というのは計り知れないんじゃないかと感じております。

福祉課内においては、いろいろ事例を通して、小児特性疾患だけでなく他の病気もあるんですが、今考え方としては慢性特定疾患が治療方法もないので、確定されていないと、それと長期にわたるということで実態を把握していて、どういう支援ができるかという部分でまだ検討中ということであります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この件につきましては私も何回か福祉課に足を運んで福祉課長とも意見を交換しておりますが、私の周囲にも何名かどのような子どもがいます。子を持つ親の気持ちになって実行するのが我々の役目だと思います。ぜひ検討だけでなく実現まで頑張ってくださいと思います。その件につきまして町長の考えを聞きたいと思います。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

小児特定執行につきましては、認定されるということを前提に、そしてここの病院で治

療ができないということを前提にすれば、我々としてはいくらかの補助をやって通院させると、そういうことはちょっと覚えておりませんが、宮古か八重山、どちらかで実施している市町村がありますので、そこを事例に参考に取り組んでみたいと思います。これについてはどういう方法でできるのかというのは福祉課の方で、さっそく取り組みをさせていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

子どもたちは島にとって宝ですので、ぜひ実現に向けて頑張ってください。よろしく申し上げます。

次に、保育所について伺います。保育所に民間移管してあとの保育所については、開園当時は様々な方向からいろんな声が聞こえました。ここでちょっと申し上げにくい内容もあるんですが、当局としてはいろいろ把握をしていると思います。民営化により職員が代わり子どもたちも園になれるまで不安であったり、保護者においても同じ状況で様々な苦情等が出たと思います。当局も話し合いにより改善をしたと答弁しています。確かに周囲でも最近はそのような声は聞こえなくなっております。ぜひ、当局も、保護者の不安をなくし、民営化してよかったと思われるように連携しながら取り組んでほしいと思います。

そこで気になることですが、当初、民営化する時に3月の議会であったときに皆さんがちょっと気にしていたことを3点ほど伺います。

まず、雇用の体系についてなんです、今度3月に民営化されたなでしこ第2保育園に

については、現在何名の態勢か。雇用の形態はどうなっているのかを伺いたと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

職員が26名態勢でやっております。雇用形態としては全員現在は契約の形態をとっているようです。町としては、県からの指導もあるんですが、6割は正職員でやってほしいということの申し入れも保育所にはやっております。保育所としては最初の募集だということで、職員の勤務状況とかを見て随時正職員に切り替えていきたいということをおっしゃっていますので、状況を注視しながらやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

現在は全員臨時ということではありますが、安心して働けるということは子どもたち、また職場でもやりがいが出ると思いますので、ぜひ、そこらへん県の基準にもっていくように話し合ってやっていってください。

次に、当初は120名定員でしたが、現在は100名ということでもあります。そこらへんはどうなっていますか。それとまた待機児童は何名いるのか。その対策等まで伺いたと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

先ほどの職員態勢ですが、数字の計算間違いで、28名です。用務員2人いますので、それは入れてありませんでしたので訂正したいと思います。

定数ですが、なでしこ保育園は120名の定員規模の施設になっております。いま現在、子どもの数が減ってきて、希望者も少ないということで、それと保育所の経営からして120名定員と100名ということになると、保育単価に影響があるということで、保育所としては保育単価が高い方にシフトしていきたいという考えがあつて、それで子どもたちの数の関係で、希望としては90名の希望でした、保育所からは。ですけれども今子どもの数もまだまだ多いので90名というのは厳しいということで100名ということになりました。これは100名にしても120%の子どもたちは収容できますので、また施設の規模からしても十分ありますので、内部で検討して100名で様子を見ましようということをやりました。

待機の関係ですが、0歳と1歳の方に、数字はまだ確定じゃないんですが、2、3名ぐらいいるということです。これは0歳児、1歳児の部屋が限られていて、収容人数以上の子どもたちは受け入れられないということが原因で待機者が出るという状況であります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひ待機児童が0になるように、地域のニーズに応えるような保育行政を連携をとりながら行ってほしいと思います。

最後にですが、一番大事な点ですが、子どもたちにとって一番食事が大事な面でありまして、小学校から中学ほとんどパック入りの牛乳をあげていると思いますが、話は聞いて分かっていますが、一保育所だけ粉のスキムミルクを利用していると。話を聞いてちゃんと栄養価は問題ないと分かっていますが、や

っぱり保護者としては他の保育所と違ったというイメージがあるんです。これが悪いとはいっていませんがイメージがあるんです。そこらへんも3保育所ちゃんと栄養士もいると思いますので、連携しながら食事の面も本当に保護者が安心して、どこの保育所に入れてもいいというような保育行政を推進してほしいと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

保育所とも調整しながらやっていきたいと思います。今月、県の監査もありますので、県の監査状況も受けて協議しながら、いい保育行政ができるように頑張っていきたいと思っています。

(玉城安雄議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで玉城安雄議員の質問を終わります。しばらく休憩します。(午前11時02分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時12分)

4番翁長学議員の発言を許します。

(翁長学議員登壇)

○ 4番 翁長学議員

4番翁長です。私は1点質問いたします。平成25年度予算編成について。景気の不安定、自然災害により、農漁業・商工観光業が大きな打撃を受けている。平成25年度予算編成において、各産業への予算配分をどう考えているか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

4番翁長学議員の質問にお答えいたします。平成25年度予算編成について。現在、平成25年度予算編成方針に基づき、予算編成の作業中ではありますが、次年度から普通交付税の算定替えが始まり、一般財源が平成24年度当初予算比で約2億円の減少を見込んでいますので大変厳しい予算編成作業になります。予算全般において、経常経費の縮減に努め、産業、教育、福祉などの政策的経費に重点的に配分できるように努めてまいります。

農漁業・商工観光に関する予算については、他の分野と同様に一般財源を用いての事業は大変厳しくなりますので、一括交付金を積極的に活用して産業の振興が図れるよう予算編成を行ってまいりたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

例年この時期になると、やはり来年度予算編成が気になるところです。去年も今頃私はこの予算編成についての要望の質問を出したわけなんです、今回もこの12月に上げないと3月では予算ができておりますので、その要望として予算の編成について伺います。

先ほど一括交付金のことが同僚の方から出ておりましたが、まず、町でいま農業、漁業、商工観光に年間多くの助成金を出していません。まず最初に農業、漁業を伺います。来年度予算について、農業関係、漁業関係に関して今年24年度同様の予算の補助ができるのか。減額しては困りますが、現状維持の確保はできるでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

一応、担当課、産業振興課としては前年度同様に予算を上げてあります。あとは先ほどありましたように予算の範囲内での調整になりますので、そこはまた調整の段階で説明をしながらやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいま各課からの予算要求を締め切って、いま現在各課からのヒヤリングの最中でございます。そのヒヤリングを受けたあと基本的な政策的経費については町長、副町長との調整が始まります。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

農業に関してなんですが、やはり農家の皆さん、生産資材が高いということで、農協の資材もそうですが、いろいろ資材が高騰して、それが運賃が跳ね返って高騰になったという話もあります。その中でJA等とかとそういう運賃低減とか、そういうもの話し合いは行っているのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

そういった補助の要望については、今のところありません。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

やはり農家に直接負担がかかるのが農資材が高いということで皆さん悲鳴を上げておりますので、そういう関係は来年の予算の中で

も、先ほど出ておりました一括交付金、そういうのも活用しながらJA、漁業でいいますと漁協さんと調整して、こういうのは各漁業、農業に関しての皆さんに負担をかけないような予算措置をしてほしいと思います。

そして、商業観光に関してなんですが、そちらの方も例年通りの補助ができるかどうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

商工観光についても、これまでと同じように前年度を引き継いで予算は計上しております。後は先ほどと同じように内部調整があります。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

やはり行政の方から各産業に助成しないと住民の皆さんも景気不安定の世の中でありませう。ぜひ町として出来るだけ助成をできるようなかたちで援助していただきたいと思いま

す。短めな質問になりますが、最後に一括交付金、先ほど2議員からも度々出ておりますが、これも活用して、各産業に配慮し、事業を多く取り入れて、この交付金を活用、無駄のないような活用をしていただきたいと思います。町長、先ほども答弁したですが、もう一度答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

産業についての補助金ですが、我々もやっぱり産業の活性化なくして人口減少の歯止め

がかからないという思いはもっております。ただ、農業分野についての補助金なんですが、例えば以前からやっております母牛の更新とかそういうことで結果が出てくるといって我々も非常にやりがいがあるということで、その補助金をそういうふうの結果がすぐ出せるような、そういう分野に集中してできれば、僕らとしても非常に振興策になるという結果が出るという前提で、ぜひまた補助金を受ける皆さんも頑張ってもらいたい。

一括交付金についても積極的に産業に資する部分については取り組んでまいりたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

24年度予算より約2億円の減少ということで、町としても大変厳しい台所事情だと思えますが、ぜひ町民が生産意欲が出るように、来年度予算も今年以上にできるんでしたら予算配分を考えていただきたい。それを私は要望して短めの質問とします。

(翁長学議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで翁長学議員の質問を終わります。

次に、平良義徳議員の質問を許します。

3番平良義徳議員。

(平良義徳議員登壇)

○ 3番 平良義徳議員

1点質問いたします。役場職員のボランティア活動に関すること。町長は「役場職員の意識が変われば久米島町も変わる」と、前々から明言してきました。そこで、職員の意識改革の一環として、ボランティア活動の実施や地域行事の参加について質問いたします。

各所属課ごとに過去一年間のボランティア参加、活動の割合は。(1)町主催又は、関連する観光協会、商工会、文化協会、社協、その他の各種イベントのボランティア参加状況。(2)各地域でのボランティア参加、活動状況。(3)ボランティア活動に参加していない職員の理由は何か。以上のことを伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

3番平良義徳議員の質問にお答えいたします。役場職員のボランティア活動に関する件ですが、ボランティアは、職員が余暇を利用して自主的に行う活動なので、その細かい実態は把握していません。ボランティア活動は、強制はできませんが、朝礼などを通して役場職員は地域活動に積極的に参加するよう呼びかけています。職員によって積極的に地域活動を行っている職員とそうでない職員がいますので、改めて職員の意識啓発を図りたいと考えています。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

ボランティア活動をしている職員が全体の何割いるのか質問しましたが、十分な回答が得られていません。実態は把握していないということですが、アンケートでも統計は取れたと思います。そんなに難しいことではないと思いますが、なぜなのかももう少し詳しく説明していただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

先ほど町長が答弁したとおり、現在職員が余暇を利用してどのようなボランティア活動に参加しているかという実態は把握しておりません。これはあくまでも私生活の部分ですので、そこに雇用主の方が、実態調査をすることが、個人の人権の問題もありますし、プライバシーの問題もありますので、大変難しい問題でございます。そういうことでいま把握しているのが現実であります。

課題として、やはり役場職員は地域のリーダーであるべきだということは町長は常々職員に申し上げておりますので、どういう方法がどの程度許されるのかということについては今後部内で検討したいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

もちろんボランティアは強制ではありませんが、本人が自主的に気持ちがあき出たとき出来る範囲でやるということだと思いますが、答弁にもありますが職員によって積極的にやっている職員、そうでない職員もいると。そのへんもう少し詳しく説明いただけますか。把握している分でいいです。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

これについては具体的な数字を把握しているわけではございません。地域からいろんな苦情もありますし、一生懸命頑張っている職員もたくさん目に付きますし、そういうのを踏まえた結果でございます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

やっていない職員、その気がないという職員が仮にいとすれば、やはり公務員としての意識の問題、それからまた気質の足りなさではないかと思ひます。そのへん町長はどのように捉えているのか伺ひます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

地域活動につきましては、役場職員だけではなく、例えば区長をはじめ議員の皆さん、あるいは地域の事業所の皆さん、いろいろな方々たちが取り組んでいるわけですが、この中で私は常々朝礼の中で、やっぱり職員は公僕であり地域のリーダーになりなさいということばは常々申し上げております。ただやはり人それぞれ十人十色という部分で、その違いで参加する人、しない人という部分もあるのではないかというふうに思ひます。100%私が言ったから全部意識が高揚するという部分でもありませんので、粘り強くこれからも職員についてはそういう心構えでやるようにということばはいろいろな場所を通じてやっていきたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

公務員は国民または社会全体の奉仕者であるということばを聞いたことがあると思ひますが、そのへん町長でもよろしいし、また行政職の皆さん、詳しい方がいればぜひ伺ひたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ボランティアでもいろいろありますが、特に町の大きなイベント、例えば一周マラソンとかには半強制的にやっている部分もありますので、そのへんの実態について環境保全課長の方から願ひします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

マラソンイベントの実施につきましては多くの町民の役員ボランティアも願ひしておりますので、町の職員と臨時職員も含めて、土曜か日曜、全員ボランティアに参加させるという方針で半強制的に町のイベントには参加させております。

あと、楽天のキャンプにつきましても土曜日曜の役員の割り当てもありますので、そのへんは各課に割り振りをして強制的にボランティアで協力してもらっている部分もございます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

こちらに資料がありますが、国家公務員法96条1項に、国民全体の奉仕者、または地方公務員法30条には全体の奉仕者とあります。言い換えれば久米島町住民全体の奉仕者とも言えると思ひます。また住民全体の利益、幸福のために行使すると。すなわち公務員が自己の利益、幸福のためのみに専念してはならないということも含まれていると明記されています。以上のことで町長の相違があれば見解を伺ひたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの地公法30条の記載については、あくまでも公務中に限られる規定でございますので、私生活を縛られるものではございません。そこはご理解いただきたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

次に、職員の意識改革の一環としてボランティア活動推進を行ってはどうかということで、行革推進室長も地域の健全育成、野球の監督、それからまた父兄ではないですが、学校行事に積極的に参加しております。そのへんから行革推進室長のコメントもあれば、お願いしたいと思ひます。経験者ですので、その立場からお願いしたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

平田明行革推進室長。

○ 行革推進室長 平田明

これはちょっとどう答えていいのか。先ほどこからずっとやりとりを聞いているのですが、ボランティアというのはあくまでも時間外で職員の余暇をどう活用するかという部分で、ボランティアにもいろいろあると思ひます。先ほど言ったような青少年健全育成、PTA活動、地域の青年会、成人会等その人が地域でどういうリーダーとして町民を引っ張れるかという観点でボランティア活動というのはあると思ひます。

確かに平良議員が言っているように、役場職員というのは地域のリーダーであるべきだし、なおかつ地域のリーダーを育てないといけないという観点から積極的にボランティア活動はやるべきだろうと自分は思ひます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

最後に、年間を通じて久米島町ではいろいろなイベントがたくさんあります。私が一番言いたいのは、イベントの中でなかなか参観、見に行くとか、役場職員が積極的に行っている方は行っているんですが、あまり参加していないような気がするんです。そのへんぜひ心豊かな島づくりをするためにも、積極的に足を運んで、一番身近にできるボランティアの一つかなと思ひています。ぜひ今後また町長も朝の朝礼で訓示していただきたいと思ひます。最後に町長がまとめて重みのある答弁をお願いして私の質問は終わりたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

先ほども申しましたけれども、私は就任して以来、役場職員は公僕であるということで地域のリーダーたれということを常々言っていました。ご存じのように人それぞれ性格も違いますし、家庭状況も違う、地域の状況も違うということで、全部一律にという思ひというのはなかなかできない状況であります。ただ、就任後、意識改革というのは、私自身はそうとう変わってきたと思ひます。事業を達成するため、あるいは地域活動を一緒にやる、あるいはイベントを成功させるためのボランティア、あるいは無料奉仕である、あるいはいろいろなイベントに参加するという部分もそうとう私は変わってきたと感じております。100%満足ではないです。これからも引き続き職員の意識の啓蒙を図っていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

これが最後です。せっかく行革推進室も設置されておりますので、今後ボランティア活動をステップに職員の意識改革を進めていただきたいと思います。

もう一度、推進室長のコメントで終わります。

○ 議長 喜久里猛

平田明行革推進室長。

○ 行革推進室長 平田明

行革の中で、職員の意識の向上ということでボランティア活動推進の部分、内部で専門委員会とか、推進会議等ありますので、その中で職員に、先ほどから町長がおっしゃっていますようにどう取り組むのか。また地域がだんだん少子高齢化していきますので、職員に関しては地域のリーダーとして、より少ない若年層のリーダーを育成しながら、やっていけるような取り組みができないかということを検討していきたいと思います。

○ 3番 平良義徳議員

立派な答弁ありがとうございました。

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで平良義徳議員の質問を終わります。

次に仲村昌慧議員の発言を許します。

12番仲村昌慧議員。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

12番仲村です。3点質問いたします。まず、1点目の議員定数についてであります。本町の議員定数は、合併後最初の選挙で18名としました。平成19年第2回選挙では4名削減し、現在の議員定数は14名であります。今後、さ

らに議員定数見直しが必要と考えているようですが、見直しを進めていく方法とスケジュールをお伺いします。

次に、ヤジャーガマの整備についてです。ヤジャーガマは一括交付金を利用して整備する計画をしていますが、どのように整備していくのか。整備後の管理・運営はどう考えているのかお伺いします。

次に、フットライトの設置について。久米島は、ウォーキングコースや運動施設に恵まれていますが、夜間運動施設場所までの区間を安心して歩けるようにしてほしいとの声があります。区間を選定して、モデルケースとして、フットライトを設置することができないかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

12番仲村昌慧議員の質問にお答えいたします。議員定数について、ご質問の「議員定数について」は現在、久米島町行政改革大綱の諮問中ですが取り組み事項の一つとして上がっています。定数見直しが必要かどうかも含め、過去の調査内容、現在の類似市町村の状況等も参考に答申された場合は議会事務局と方法・スケジュール等、調整をしながら進めて参りたいと思います。

ヤジャーガマの整備について。ヤジャーガマの整備計画につきましては、関係者の意見を参考にしながら進めていきたいと考えています。整備後の管理運営についても管理に必要な付帯施設の整備が必要なのかどうかも含めて検討していきたいと考えています。

フットライトの設置についてですが、近年、

町民の健康志向により、早朝や夕刻から宵闇に掛けてのウォーカーが大幅に増えてきました。年齢層も若年者から高齢者までと幅広くなり、それぞれにおいて自己の健康管理に強い関心を持ち始めて来ているのが感じられます。そうした中で安全で安心したウォーキングが出来る環境の整備は是非とも必要だと感じています。その整備方法については、これから検討して参りたいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

議員定数の見直しについて再質問します。私は議員定数の見直しについては、平成25年から29年度にかけて交付税が6億8千万円減少することからすると、経費削減することは必要だと思っております。議員定数の見直しも行政改革推進委員会の答申を受けて議論すべきだと考えております。しかし、いまの答弁のとおりやっていくのが本筋だと思っておりますが、これまで言っていることとやることが非常に矛盾点があります。疑問があります。

実は、昨年11月に議会議員選挙がありました。7月25日付けで町長は、議会議員の定数見直しについて議長宛に依頼文を出しています。ほとんど執行部の皆さんも議員の半数以上もまだ知らされておりません。議長宛にこれが依頼が来たときに数名の議員で議論しました。本音を言います。議会議員選挙の無投票の公算が出てきたから、それが一つの理由だと思います。そして2カ月前に9月議会に提案するという事は常識的に考えられません。だから計画性を持って進めることを、こ

れだから私は今回この質問を取り上げました。

私個人の意見じゃないです。議論した議員全員の意見が、姑息なやり方だよと、非常識的だよという意見が出ました。

町長、この依頼文を出したことを村長はどうお考えですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

議員の定数については以前の行革大綱で12名と載っています。2期以上務めた議員の皆さん全員が分かっていると思いますが、これについては私の方から議会に提案することしかできません。それは提案をしました。決めるのは議員の皆さんです。私がやったのは、そういう思いで行革大綱に則って、一応自分が行革の中で含めて議員の定数もどうですかということを行ったということでもあります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

選挙2カ月前にこれを提案する、これが非常識ですよ。そして行革の中で12名の答申が出ました。それを受けて議員定数調査特別委員会を設置して9回議論して、14名の結論を出しています。しかし、この理由の中で、平成19年の条例改正は定数を14とし、段階的に見直すことで合意したと。町長、合意したことは把握していますか。町長に伝えてほしいです。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

段階的に見直すということですので、これ

は判断というか、理解の範疇で、私としては次の選挙でやりたい、こういう思いがありました。これについては、これまで議員の皆さんにも説明をしたんですけれども、類似市町村の資料、例えば過去に議員の皆さんの前でも説明をしましたけれども、いきなりということではないです。過去に議会でいろいろ類似市町村は、これだけですよということで説明をして、そういう根底があって、提案をしたわけです。ただ、決めなさいということではなくて、私は提案して皆さんでどうですかということを行ったまでの話ということでもあります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

私の質問は、合意したことを把握していますかということなんです。段階的に見直すということ合意したことを把握していますかということなんです。

実はですね、町長、この文書にこう書いてありますが、段階的に見直しの合意文書、こういう証明させるものがないんです。そして総務課長が口頭で合意したと言っています。その時の特別委員会の報告は14名で結論を出しています。全員協議会の中でも、当時私はその中にいましたが、大部分の議員が辞められますので、その口頭でやった覚えがないんです。結論は出ているんですけれども、こういった正直に議論し合う、その場がほしかったんです。自分たちの都合のいいように合意したということ。正式な文書じゃないですよ、これ、正式な合意じゃないですよ。そうした手法が僕は疑問であるということ指摘しておきますが、どのようにお考えですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの仲村議員のご指摘のとおり、当時、町の行政改革推進委員会の答申で、それで町の行政改革大綱が策定されて、大綱の中で議員定数は12名がいいでしょうという計画が決まりました。それを受けて議会は特別委員会を設置して、その特別委員会が慎重に審議して、議会としては14名が適当ですよという結果になりました。そこで差があるわけですから、そこで何らかの調整が図られていると思うんです。執行部側と議会側とやって、執行部側が一方的にそういう思い込みをしたのかどうなのかということを含めて、いまご指摘のとおり正式な記録は何も残っておりません。そういうことで記録が残っていない部分をそこで合意したという表現で公文書を出されておりますので、その分については正式な記録は残っていない以上は、その分は撤回してもいいのではないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

撤回してもいいんじゃないか、誠意がないですよ。正直に議論し合うんですよ。自分たちの都合のいいようにのべてはいけませんよ。そこは反省すべきですよ。

町長、過去の調査内容を調査してやるということ。これは過去、調査されていないんですね、前回のものは。だから僕は議員定数の見直しは本当に必要だと思っています。しかし手法がおかしいから指摘しているんです。過去のやり方に対して再度、町長答弁してください。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

これにつきましては、正直な話、私は把握しておりませんでした。そういう状況の中でやったことについては謝りたいと思います。ただ、行革大綱に諮問があって、順序を経て議会に提案をして、議会の特別委員会で決定してもらいたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

ぜひ正直に議論しあいましょう。推進委員会の会合がつい最近もたれたと思いますが、議員定数の答申、だいたいの見直し定数が話し合いされたと思います。そこをお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平田明行革推進室長。

○ 行革推進室長 平田明

実は3回目の推進委員会を去った11月に終わったところなんですけど、プランの中で46項目あるんですけど、その中に議員定数の分も提案の中には入っているんですけど、委員の中で細かい審議はされておりません。来月1月の後半に再度委員会がありますので、そこでやっていきたいと思います。

先ほどから、ご指摘がある合意についての部分なんですけど、私の方でも把握していなかった関係で、議会の議員定数、特別委員会の資料等や内部の資料を調査したんですけど、そういう合意という文書は見当たらなかったということで、たぶん口頭じゃないかということで、定かでないんですけど、今後は町長も説明しているとおり、行革の推進委員会の中で、

そういう項目が取り上げられた場合は再度、議会事務局とスケジュール、あるいは内容について上げるべきか、上げざるべきかを含めて、検討していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

これからどんどん厳しくなる中で、私は議員定数見直しの議論は必要だと思っておりません。しかし、ただ人口だけで類似市町村と比較するのもこれもまたおかしい問題だと思っています。実は、久米島町の職員の数との比較も必要だと思っています。久米島町はこの類似市町村、そして人口倍以上の市町村と比較しても職員数があまりにも多すぎる。どうしてかといったら、いろんな病院、空港、消防とかあるから多いよと。ああそうかと納得したんですが、しかしそれでも多すぎるんです。

例を挙げましょうね、類似市町村。北中城村、そして中城村、それから本部町、今帰仁村、本庁職員が久米島町134名、施設職員55名、189名に対して、本部町が本庁90名、施設29名、119名です。本部町は議員定数が12名です。しかし恩納村、本庁職員が89名、施設が28名、その他1となつて118名、議員定数16名です。与那原町、久米島人口の倍います。1万6千900名、1万7千名近くいます。職員100名です。

最初の久米島町行政改革大綱の中で、職員1人を削減するのと議員3名の経費削減と匹敵するんです。そこも踏まえて町長は今回大幅な職員の見直しも必要だといっていますので、これは今後、類似市町村と比較して議員

定数も平行しながら削減を考えていく必要があると思っています。町長いかがでしょうか。職員の見直しについても。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

私が就任してから職員定数については相当力を入れてやってきたつもりです。これは歴代議員の皆さんよく知っていると思いますけれども、これについてはやはり勧奨退職の推進、そして退職した分の半分ぐらいの採用でいまやっておりますけれども、これが行政職については、これもやっぱり機構改革とかいろいろの部分で、これからも見直ししていかなくちゃいけないと考えております。ただ、我々自身、やはり他の町村と違う環境も、久米島は一つの国だというような状況の中で、どれを先に減らすかということも、これからの課題だと思いますので、職員の定数の削減についても、これからも積極的に取り組んでまいりたいと思います。現に勧奨退職を毎年年末になると募集をして、それでこれまで成果を挙げてきました。もちろん定年前の方々には退職金を提示して、勧奨退職を勧めたじきもありました。これについては私自身はこれまで自分自身でもやってきたつもりですけれども、これからももっともっとやっていかなくちゃいかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

議員定数見直しについては、ただ単に類似市町村と比較するんじゃないくて、久米島は特殊なんですね、合併したという特殊性があるんです。合併以前、旧仲里、旧具志川、それ

ぞれ議員定数16名いました。いま久米島がひとつになって、それよりも2人少ない14名になっています。そういった職員定数もそうですけれども、合併して急に職員を首切るのはできないと。それは年次的に減らしていくということは理解できますが、そういった面も配慮して議員定数の削減は考えるべきだと思っています。

この計画性をもって、そして早い時期に議員定数の見直しについては結論づけるようにやっていただきたいということで、この質問については終わります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時55分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時30分)

質問の前に福祉課長の方から先ほどの説明についての回答がございますので、福祉課長お願いします。

○ 福祉課長 山城保雄

玉城議員から待機児童の数の質問がありましたので、正式な数字を報告したいと思います。待機児童、0歳が4名、1歳児が2名、計6名の待機があります。

○ 議長 喜久里猛

それでは8番仲村昌慧議員の質問を許します。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

午前に引き続き再質問させていただきまます。まずヤジャーガマの整備についての再質問ですが、答弁の中では関係者の意見を参考にしながら進めていくということですが、実は一括交付金の事業実施計画の中では7千894万円の予算で整備計画したいました。

どのような整備計画をしていたのかそこをお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

今、ヤジャーガマの整備については、平成17年度に基本計画が策定されまして、これに基づいて、今回、実施計画をしようということで予算計上してあります。一括交付金の予算については500万円計上してあります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。（午後1時32分）

○ 議長 喜久里猛

再開します。（午後1時33分）

だれが答弁しますか。

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

当初その整備計画で一括交付金に上げた時点では、その進入道路上がって行って、その駐車場、それから下りてくる階段、あとガマの中の照明設備これだけ入っていました。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

ガマの中の整備が相当電気がかかるということで7千800万円あがって、すごい大々的な整備になるなということで、住民からのその整備について非常に心配される点もありましたので、おそらく観光協会会長である副町長の方へは住民から意見があったと思います。どのような意見があったのかですね。お伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

そこで利用している案内人をボランティアでやっている方からの今までの体験の感想のお手紙等がありました。彼の言い分としてはそこは懐中電灯で散策して体験した方がもっとも良いんじゃないかというような意見等でした。

我々が当初計画したのは、隣の粟国村では、センサーを利用して入った時点で電灯が付いて通過したら消えるような設備があって非常に良いなという思いで、私はそういう施設をしたら、今後の修学旅行等の団体のそこに案内するには安全で非常にいいんじゃないかという思いで進めました。しかし地域から、そういう意見があるということと、その委員会を立ち上げて検証させて最終的には、その委員会の意向を聞いて設備した方がもっともベターじゃないかということで、今の見直しについてはやっております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今回、明日の補正で500万円計上されています。今回、この500万円の整備をする内容についてお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

ヤジャーガマの整備については、平成17年に基本計画がありまして、その中から今までいろいろな意見があって、整備するには中はあまり触らん方がいいという意見がいろいろあって、周辺の駐車場の整備と進入道路、乗り入れ、ヤジャーガマまで下りる道路までは、整備に入れていいんじゃないかという今までの意見ですね。これからももっと実施設計の

中に入る時に、また関係者の意見をいろいろ聞きながら整備する箇所とか、そこは検討していきたいと思います。大まかには駐車場が主体での整備になります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

できるだけ自然を壊さないように、しかしまた中の方においては危険区域もありますので、その安全面を図って整備していただきたいなと思っています。

一番心配されるのは、整備後の、この管理運営と思うんですよ、以前、民間が管理しているときに非常に入場料が高くて、一般の人がも入れない、特に島民の人が利用できないという子どもたちも、そこを利用できないということで非常に苦情がありました。今回、入場料がどのように設定されるのか、島民が利用しやすいような維持管理をしていただきたいと思いますが、そのへんをどのようにお考えなのかお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

この件についても整備の内容によって管理のことが出てくるんですが、今のところは駐車場の整備が主で、あとは公衆トイレが必要なのかどうかの、そういったことを検討ということで、管理棟についてはいらんんじゃないかなということですね。中に入っての料金の設定とかもこれは島の学校の案内人がやっていることですので、そこら辺との調整になると思います。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

ヤジャーガマの整備については、十分に関係者の皆さんの意見を聞いて進めていただきたいと思います。

次にフットライトの設置についてであります。これは実は久米島町の健康プロジェクトの中でもこの意見がでてきて、たとえば例として、具志川地区の方、仲泊島島の方からホテルドームへ行く歩道がちょっと暗い部分があって、そこの足元を照らすフットライトが必要ではないかという意見と仲里側においては、これはあくまでも向こうの意見でありましたので、イーフからバーデハウス、そしてまた比嘉からアイランドへ行く直線道路そのへん一帯の歩道に足元を照らすことができないかということの意見でありました。それは例でありますので、その場所については関係者の皆さんで話し合いをして進めていただきたいと思いますが、まず、渡名喜の方で皆さんもご存じだと思いますが、非常にこのようにして渡名喜の方が、これをやっています。こういう足元を照らして夜でも安心・安全で歩ける場所ができないかということで、建設課の方で、やっぱり予算が伴いますので、工事費そして維持管理費で、そののところどのように検討されるか、可能かどうかちょっと意見を聞きたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

今回の質問についていろいろ話し合いをしたり検討をしたりはしております。その中でもやはりいろんな条件というか課題があるんですね。まず予算の問題があって、地区をどうするかという、それから地区に行くために

は、あくまでも歩道付じゃないとだめだとか、歩道にしても県道なのか町道なのかによって占用というものがでてきますので、いろんな条件があつて、今後、予算があつてもそういう条件をクリアしなくちゃいけないという部分とかがありますので、そのへんはクリアしながら考えていきたいというふうに思います。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

次にまた福祉課として、健康増進の面から今の現状の必要性についての感想をお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄課長。

○ 福祉課長 山城保雄

議員から指摘がありますように、今、久米島町においては、糖尿病、それから糖尿病予備軍、そういう方々が非常に増えてきていると、そういう健康面で解除するには、まずはウォーキングが非常に良いというふうに言われておりますので、その環境をやっぱり整備するというのは非常に必要なことだと思います。

福祉課としても、そういう環境を作りながら意識醸成を図れなかなと常々考えてはいるんですが、そのへん建設課と事業との絡みもありますので、調整しながらやっていきたいなと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、久米島町の健康面が非常に心配されております。非常に久米島は恵まれているんで

すけれども、何時でも誰でも何処でも歩けるということで、ぜひ整備していただいて、それでみんな健康のために行動して歩きましょう。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで仲村昌慧議員の質問を終わります。

次に、8番島袋完英議員。

(島袋完英議員登壇)

○ 8番 島袋完英議員

それでは通告書に従って質問をいたします。1年間の総括になると思いますが、今まで質問したことを改めて検証したい意味で質問しております。

1番目にフェリーターミナルで泊港の現状についてです。那覇市の港湾計画は、どこまで進んでいるのか。それと計画が遅れそうなら、その間の改善策は考えていないのか。お願いします。

2番目に、赤土流出防止対策についてであります。

23年12月の質問の再質問ですが、「沈砂池の整備に膨大な予算がかかるので、補助事業の導入を」検討、探してとの答弁でしたが、それはどうなったのかですね。

それから地下浸透方法の側溝へ切り換えたという提案もしましたが、それもまったくされておりません。現在、工事している所もありますが、そこでもそういうのが使われていないということでどうなのかですね。

沈砂池の調査をやったと思うんですが、その改善策はどうなったか。

それから、前村基金の活用について、どのような事業について使えるのか、具体的に示してください。

町民俗芸能保存会と文化協会の事務所の設置について、23年に発足した民俗芸能保存会は、今年で2回目の発表会を迎えることになりました。しかし、拠点となる事務所が無く、業務に支障をきたしています。

これは文化協会でも同じだと思いますが、そこで「あじま一館」の内に、合同でもいいですから事務所を設置することができないかどうか。

次に、航空運賃の軽減策と空路対策についてであります。郷友会員や久米島ファンクラブ等の運賃の軽減をお願いしましたが進んでいるのかできるのかできないのかお願いします。

それと空路、J T Aが1便しか飛んでいません。ほとんど琉球エアークミューターに代わりました。それに対しての他社関係とかそういうものの検討はどうなっているかお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

8番完英議員の質問にお答えいたします。

フェリーターミナルの泊港の現状についてですが、泊港フェリーターミナルの那覇埠頭への移転は、平成25年度以降、港湾整備計画の中で実施検討に入るとのことです。また、現状の泊埠頭の改善についても各離島からはボーディングブリッジや屋根付きの歩道の要望もありますが、那覇港管理組合としては同計画で改善を図りたいと考えているとのことです。町としてもあらゆる機会を利用して現状の早期改善を要望してまいりたいと思います。

赤土流出防止対策について、土地改良施設の維持管理費の補助事業について、以前から県と調整を図っていましたが、維持管理についての補助メニューは、ほとんどないというのが現状であります。

地下浸透方式の側溝についてですが、地下浸透方式の側溝の設置については、他自治体にも問い合わせをしましたが、ほとんど使われていません。この件について内部でもいろいろ検討しましたが、維持管理や防災上の面から採用するのはかなり厳しいという結論がでました。

沈砂池の件ですが、管理の悪い箇所が多々あります。改善方法ですが補助金による施設管理事業がないのであれば、町各土地改良区が連携し独自で管理していく方法しかないと考えております。

前村基金の活用について、前村幸秀人材育成基金は、前村幸秀氏から久米島町の人材育成を推進する為に託され、高度な技能を有する医療及び福祉等、地域経済の活性化に資する産業関係の人材育成事業、更に、児童生徒の国内及び国際交流を充実させるための事業、その他町長が特に必要と認める人材を育てるための事業に助成をすることになっております。

町民俗芸能保存会と文化協会の事務所についてですが、あじま一館は、設置目的からして、事務所としての利用は困難だと考えています。なお、具志川庁舎2階において共同事務所が設置できないか検討をしていきたいと思っております。

航空運賃の軽減策、空路対策についてですが、航空運賃の助成については、県の事業として実施されており島外在住者に対しての助

成については、制度的に難しいと思います。

J T Aでは先得割引を新設し対応していますが、割引率を高めていくタイプについても検討するようお願いをしております。

空路対策については引き続き関係機関からの情報収集を行いながら対応を検討してまいりたいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それでは再質問いたします。まず那覇港湾の整備なんです、那覇市としては25年以降に港湾整備を検討しているということになります、今25年以降というのは何年かわからないんですよ。じゃあ、それまで現状のままでもいいのかどうか。これは久米島航路だけが、岸壁の反対側に船が着いているわけですね。接岸されて。その距離をお客さんは荷物を持って歩かんといけないというようなことで苦情があるわけです。ですからその那覇市の計画がまだはっきりしていないのであれば、その間そのフェリーの近くにプレハブなりを設置して、そこで待機、切符の販売とかそういうのができないかそういうのも考慮する必要があると思うんですけど、そういう話は用地は那覇市です。その事務所の設置についてはフェリーの方と協議してやるべきではないかと思うんですがどうですか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの島袋議員の質問なんです、今、泊ふ頭の改善については泊ふ頭整備に関する調整会議というのを今年8月に設置しており

ます。これは泊港を利用している南部離島町村、そして那覇市が所管している那覇港管理組合そのメンバーでやっているんですが、その第1回目の調整会議の中でも、いま島袋議員がおっしゃったように久米島航路の船だけちょっと離れた所にあって、そこあたりが車とか貨物とかが交錯して危険だということで、構成市町村、久米島町の意見として、後ろに倉庫がありますよね。倉庫事業や民間事業者なんです、そのスペースを一部借りてでもそこにどうにか船に近い所にそういった貨物受付旅客関係の手続きとかできないかということで要望はしております。ただ事業者、何処に移転させるのかとか、代わりに何処をその事業者に充てるのかといういろんな問題があって、ちょっと解決策が見いだせない状況です。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

今の答弁のように、少しずつでも進んでいかないと1年間待ったんですが、何も進展していないというふうな状況であります。観光がこんなに低迷しているというのに、その観光客を疎かにするような、そういうサービスの悪いような、接待の仕方では観光客増えませんよ。お互いは反省点として、私は思うんですが、観光客はみんな空港から飛行機から来る者というふうな認識が強くて空港の整備はぼんぼん進みました。ところが今運賃が高すぎてなかなか増えていません。

じゃあフェリーも新造船になっていますが、すごく人気はあるんですが、そんなにお客さんが増えるような状況ではない。またフェリーのターミナル、貨物港ターミナル見て

も全くお客さんがそこで待つような状況ではないんですよ。せっかく造られたターミナルがほとんど利用されていません。ですからお土産品店ももたない、食堂は何とか弁当を売って持っているようなものですが、もっとターミナルで引き止めて、お金を使ってもらおうというふなターミナルのシステムそれを作らんといけないと思うんです。その前にまず那覇の方の出発、出向前にもっと快適な待合い場所、そして難儀でない待合い場所、そういうものを早めに那覇市と協議、周辺離島ともその協議会があるみたいですから、協議して、これは早急に来年の夏までにはやるぐらいの気持ちで進めてほしいと思います。どうですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

那覇港については、一昨年から南部の離島の町村会連名で那覇港の管理組合に要望をしております。その要望の内容というのは、島袋議員がいう点もありますが、とまりんの2階は続き廊下になっていますが、2階からボーディングブリッジで各離島の方に降りられるようにしてくれということが今要望をしております。これについては例えば夏場行ってみてわかるとおり渡嘉敷、座間味、あるいは粟国もそう久米島もそうですが、炎天下に道にはみ出してお客さんが待っていると交通量が多い所で非常に危険だという、こういう写真などを撮って要望をしております。ただ我々として本当に町独自でそこにどうすること自体は今のところは非常に難かしんじゃないかなというふうに考えておりますので、もっと各離島の町村長と連携して、これ

を要請をして何とか実現できる方向で進めていきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

8 番島袋完英議員。

○ 8 番 島袋完英議員

これは、ぜひ実現に向けて頑張してほしいと思います。特に那覇市が慶良間の方に助成金を出して観光客を送っていますね、これが話に聞きますと、来年度、次年度から久米島も対象に入れたいという話があります。本当かどうかわかりませんが、そういう話を聞きましたので、こんな良い事業も那覇市は考えていますので、ぜひ、このターミナルの件は頑張してほしいと思います。

次は、赤土の件ですが、これも何年か前から合併した当時からやっているんですがなかなか進まない。これも本当に町上げて観光客誘致、観光の島にというふうな観点からしますと、まだ全然実際に実感として皆さん町長はじめ実感として観光客を呼びたいということがないんじゃないかなということも考えられるわけですよ。というのは、もうあんなに赤土が流れて、その後1週間近くも海が赤くなるという状況を見ていたら、サンゴ礁もかわいそうですし、海を復元する甦るというのも本当に遠い時間、ですから沈砂池とか、その設置の考えはもっと進めないといけないと思うんですよ。本当に真剣に考えてもらいたいと思います。

例えば、川沿いの民有地とか、公用地では勿論ですが、直ぐ大きな沈砂地を造ってそこに溢れたのが川に出るぐらい、それと浦地川でしたらホテル館の近辺、今年の台風大水でももう大変でした。向こうでもう畑できない状況なんですね。ですからそういうところは

町で買い取って、向こうは一つの大きな池に
するとか、太田橋の上をね。そこでいくらか
でも赤土を止めて海に流れるように、とにか
く赤土対策には、皆さんの考えで全部知恵あ
るだけ出して対策やってくださいよ。今の状
況でしたら、もう海だけじゃなくてホテルも
今の状況ではホテルもそんなに宣伝できな
いんじゃないかというふうに思うんです。

それをやる何か予算、補助事業はないとい
うことなんです、町独自で今、一括交付金
もあるでしょう、そういうもので、その用地
を買収して、沈砂地を広げるような考えはな
いんですか。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

町長の答弁では、その沈砂地の管理に関す
る補助事業というのは、ほとんどないとい
う回答をしましたが、実は、あくまでも沈砂
地という施設に限った事業はないわけです
ね、農地保全でということの事業からすれば、
例えば農地だけじゃなくて農地に附帯する道
路とか側溝とか沈砂地も含めての事業とい
うのは現在実施はしております。

この事業主体としては、土地改良区がやっ
ておりますが、仲里土地改良区の方では農地
・水保全管理支払交付金事業ということで国
と町で補助を出して保全の会という組織を5
団体作りまして、その保全の会で沈砂地も含
めて農道とか、農地の赤土対策、側溝の管理
とか、そういうことをしております。具志
川土地改良区に関しては中山間地域等直接払
事業ということで、だいたい内容的には同じ
なんです、そのやり方としては、土地改良
区が補助事業をもらって、一部に関しては各

字に配分しまして、各字によって、その地域
の土地改良施設の管理とか、農村地域の管理
という部分で行っておりまして沈砂地に関し
ても、その予算の中でやっております。

質問でございます。その民有地を買い取っ
てという、新たな沈砂地の建設という質問が
ありますが、それもいろいろ検討はしており
ます。ただ、赤土の問題に関しては、施設だ
けを整備してもどうしようもならないとい
うことがありまして、当の赤土を出す原因と
いうのが何なのかというのも考えなくちゃい
けないということがあるんですね。その赤土の
大部分がほとんど農地から出ている状況で
ございまして、農家の皆さんにも、そういう
ことに関しては協力してもらわないと、いく
ら施設をきちんとやったにしても、出る原因
を押さえてこないと出た後の対策をやっても、
なかなか効果が出ないという部分ございま
すので、現在でも、うちの産業振興課含め
て農家の皆さんには、赤土を出さないよう
な啓蒙もしておりますけれども、なかなか
それが行き届かないという現状ございま
すので、今後ともその原因をどう押さえて
いくかという部分も含めてやっていかなく
てはいけないというふうに考えています。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

説明はわかるような気もするんですが、今
おっしゃっている土地改良の事業、あの予
算ではあんなちっちゃな予算ではできませ
んよ。草刈りぐらいでしょう。各字に配分
された予算というのは、そんな予算では
到底できないと思います。それから出る
原因、それもいっていますが、じゃあ、
それを台風とか雨

降りの大雨の時に現場回ってチェックして、この畑の主に改善の要するに対策のお願いもしてあるかといけなんでしょう。今の場合は、ほとんど流れた後しか見に行っていないよ。大雨降っているときにまず行って何処に原因があるのか、それも突き止めてやるべきじゃないかと思うんですよ。そうすれば農家も一緒になって対策取れるところは取れると思うし、そこまで踏み込んでやってほしいわけですよ。

それから、地下浸透型のこれもずっと言ってきましたが、町長は他自治体に問い合わせしたら何処もやっていないと、私が前に議会ずっといっているのは他自治体とか、そんなの関係ないということなんです。独自のアイデアでやらないかということ、私たちは島根県の海士町も行きましたよ。海士町、これ9月議会でも言ったと思うんですが、あの山内町長の、むこうで海士町の言葉、使ってはいけない言葉、前例があるかとか、人がいない、金がない、この3つの文句は絶対言うなというふうな海士町の山内町長の言葉なんです。何処かやっているかなと探すんじゃない、何処もやっていないからやるんですよ。久米島町が、そういうのもやってみなさいよ。今、具志川の方もやっているでしょう。久米糖の試験場の所ね。ああいう新しいことをやる所からまず、こういう側溝も使ってみて、それが何も管理が大変だとかなければ直せばいいじゃないですか。埋めればいいじゃない。まずやってみないで、どうして他自治体もやっていないから、ここがやって失敗どうするかなみたいな、そんなことを聞かれたら何にも進まないと思うんですよ。これももう一度。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

確におっしゃっているように、久米島町独自の方法でもいんじゃないかなということなんですが、実質いろんなこと想定しまして、実際実験はしていないんですが、その側溝に穴を開けて自然浸透となると、300の側溝の中でどのぐらいの穴を開けたら地下浸透するかというたいした地下浸透はしない状況なんですね。いくら穴を開ければいいかという話になってくると、じゃあいくらでも穴開ければいいかということでもないと思います。側溝の構造的な問題もありますし、穴を開けると弱くなってしまふ、潰れてしまふ。側溝の意味をなさないという状況にきたりするものですから、いくらでも穴を開けられないという状況なんですね。例えばその穴を開けるときに、そこから草が生えてくるわけですね。どうしても草が生えてくるわけですよ。そこにいろんな雑物が引っかかった時にオーバーフローして農地は流すは周囲も災害を受ける可能性もありますので、どうしても側溝というのは中に何も入れないできれいに水を流れるようにしないと何か雑物があると物が引っかかってオーバーフローして災害の原因にもなるという観点から、基本的には地下浸透型の側溝は無理であろうという結論で採用しないという方向で今、進めております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

やりもしないで、やってもみないで、そういうふうなテーブルの上だけの、それだけ説明されたら、全然、話進まないですよ。です

から私、言っているのは、まず1カ所でもやってみなさいということなんです。というのは、稲作の場合はどうして赤水が流れなかったか、これは皆さんもわかると思うんですが、棚田ですから、上から溢れて流れるそれと一緒に、これだけじゃなくてあの頃側溝がそのままですよね。草が生えていて側溝のU字型のね。草が生えていて、それに土がくっついて流れないような感じで、ですから、例えばそれが詰まってオーバーフローすると思うんだが、そこを農家の皆さんに掃除を万遍なく掃除をしてもらわんといけないわけです。何で昔は自分の土地の側は全部立派に草刈っていたでしょう。それが国が土地改良するもんだから何でも国がやるもの、国、県、市町村役場がやるものと思いこんでしまって、自分の畑の側も草の掃除もしていないような農家が増えたわけですよね。

ですからこれから赤土の流れる原因の方をお願いとか、それからまず浸透型の側溝を使った時に草が生えてきたらそういうのもちゃんと刈り取りやってくださいよと、いうふうに言って、それができなければ、やっぱり、それでもだめたというふうになると思うんですが、まずやってみなさい。どっか1カ所だけでも、そして悪ければ変えましょうよ。それをぜひお願いしたいと思います。

次に、前村基金です。これもあれだけのお金いただいたんですが、全く使うのに苦労しているというふうなことで、今一度、町長にお聞きするんですが、町長が答えているこの高度な技能を要する医療及び福祉、それから地域経済の活性化に資する産業関係の人材育成というふうになるんですけどね。こういう人材になるまでは、生まれてから幼稚園、小

学校、中学、高校にその金を投資しないと誰が人材になるかわかりませんかでしょう。これ見るともう何か、その要素になった人だけに使いなさいというようなものですから、逆にもう個人的に個人に、このお金で更にまた頑張ってくださいみたいな感じになるわけですよ。それでは私は意味ないと思うんです。

ですから後で、その他町長が特に必要と認める者ともう書いてありますからね。町長自分でそのもの全員認めてくださいよ。

前に吹奏楽の楽器買おうと思ったら、それもこの基金ではだめだとみたいになったらしんですが、やっぱりこんなものではだめ、こんなものでだめといたら、あとは使える人は限られてくると思うんですけど、もっと緩和して、今優秀な人たちの親が金が使うような、要するに出費が多いわけですよ。というのは派遣、スポーツ面でも文化、勉強面でもせっかく優秀になったらその親は逆にまた派遣費、派遣費でたいへんなところもあるわけですね、ですから、この上に述べられているような人材を作るのは今の子どもたちに投資しないとね。私はおかしんじゃないかと思うんですけど、町長の考えを。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これにつきましては、平成14年10月4日に第1回目の審査委員会を開催しまして、そのときも活用方法が見いだせなかった経緯がございます。前村さんにつきましては、せっかく基金をいただいたわけなんですけれども何らかのかたちで、ぜひ第一步を踏み出したいという思いはあるんですが、そういったかたちで議員の方からご指摘のあります、ほんと

に高度な技術とか、そういった面での育成にしか使えないというような状況がございますので、そのへん次の審査委員会の中におきまして、現在、国公立大学に進学している子どもたちもいますので、そのへんの子どもたちの支援ができないのか、それをもう少し弾力的に、また運用面で町長が定めるものということがございますので、弾力的に活用できないか、そのへん次の審査委員会でまた提案したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

島袋議員がおっしゃった部分も一理ありますが、ただ歯止めをかける線引きをするのは非常に大事だと思うんですよ。例えば私どもが考えているのは、大学の医学部に進学して、それを後押しするとか、あるいは看護師になりたいが為に看護学校に入るとか具体的にいえばそういう部分ですが、ある程度の線引きをしないと歯止めがかからなくなって、この基金というのは、たちまちなくなっていくという性質のものだと思います。

ですから我々としてもある程度、取捨選択するということが非常に大事だと思いますよ。あれもこれもやりたいのはやまやまですが、その中で時代の変遷で高度的に例えばコンピュータプログラマーが、もし将来必要になったら、やっぱりそういう人たちを育成するとか、町長が必要と見られる人材というのは、そういう部分だと思うんです。ですからそこら辺をご理解いただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それは町長が認める者というのが、そういうものであれば仕方ないんですが、私が思うには別に全部たくさん出さなさいということじゃないんですよ。今例えば派遣費として各学校ともチャリティーグラウンドゴルフとかやりますよね。あれもみんな協力してやっていますが、中には苦情も多いわけですよ。毎年なんで寄附だけ募る物を学校はやるのかとうふうな苦情の声も聞こえるわけです。ですけど1千円ですか1人、ですからいんじゃないかということで、やっていると思うんですが、やはりそれに少しでも役場の方から、こういう基金からはいくらありますよみたいなことになれば、また住民も納得すると思うんですよ。別にたくさん出さなさいということじゃないんですよ。これは私はそう思いますので、今後検討してください。

次に、民俗芸能保存会と文化協会の件ですが、今実際、町長も今年もご覧になってわかると思うんですが、非常に活動が活発になっています。ところが事務局はやっと1人、今、比嘉さんという方をお願いしてやっていますが、事務局がなくて会合を持つのにも教育委員会に日程を伺ってやっている状況なんです。それが発表会が近くなってくると会合が多いもんですから、どうしても事務局がないといかないと。

それからこれはただ民俗芸能を発表しているわけじゃなくて、私たちの民俗芸能協会の狙いは今まで埋もれている各地域の民俗芸能を掘り起こして復活して、これから継承していったひいては観光客、観光誘致にもこれが繋がるというふうに思いはなっているわけですよ。ですからぜひ、これには、特に民俗芸

能の方には特に力を入れてほしいと私は思っているわけですね。

今日、昼時間にタイムス見ていたら、記者のメモというところで、これ私が一般質問するのをわかっていたのかわかりませんが、タイムスに久米島町の平良朝幸「社会は人がしかつくりえない、物がはつくりえん」というふうな、この前の民俗芸能を見て自分のお母さんの出身地、謝名堂のウシデーク、これを見て感動をしたというふうな記事がタイムスに載っているわけですよ。その町長の言葉にも、これからは民俗芸能、これで島を活性化、島興しみたいなコメントやっていますね。ですから町長そう思っているわけですから、この民俗芸能関係文化関係にはもっと力を入れてほしいわけですね。私がなぜ事務所をあじま一館にというのは、これは仲村会長とも事務局の役員と話し合っただけなんですけど、あじま一館は舞台があるわけですよ。ステージがあって、いつでも練習ができる、そういうふうな一番民俗芸能保存会にとって、良い場所だなど、センターも近いしね。それでそこに事務所を設置できないかというふうなことを提案したわけです。役場の2階も良いと思うんですが、できれば、あじま一館の中にやって、いつでもね、そうすれば観光協会とも連携して、観光客の夕べのひととき、そういうものに民俗芸能を出してくれと言え、うちの方で調整して、じゃあ、何処何処の何というのを出しましょ、見せましょみたいにならざるを得ないですよ。ぜひ、あじま一館にしたいと思います、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの質問にお答えします。文化協会におきましては、役場の2階の方を今事務所として提供をしています。民俗芸能保存会につきましては、一昨年ですか、立ち上げまして、まだ事務所がない状態でございます。今回、保存会の方から直接まだ事務所の相談を受けていなくて、その中で今両方の事務局の方には、今後、事務所として役場の2階をできないかということは一応話はしました。

あじま一館につきましては、久米島観光協会の方が指定管理を行っています。そこにおきましては設置目的で体験を通して島の魅力を伝える拠点施設となっていますので、その文化協会、あるいは民俗保存会の事務所として置いた場合に、その設置目的に抵触するのか、そのへんまた調べながらやっていく必要があると思います。今後、両団体とはいろいろ相談をしながら提案をしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

今、課長から答弁がありましたとおり、この施設については当初の体験交流ができるような島の学校の目的で造られておりました、その中に今回の公募の中で観光協会が手を上げて今回使用することになりましたが、今あったとおり、いろんなそれぞれの目的がありまして、実際、観光協会としてのスペースも今非常に狭い状況、テーブルそれぞれ置いてこの楽天のグッツとか売れるようなちょっとした店舗も置いてあるんですが、非常に狭い状況で、さらに他の部屋を使うとなると、今言った島の学校の体験できるスペースが足りなくなると、ただ中庭にあるスペースとかは

そういうのに応じて、そこを借用することは可能だと思います。それは多いに協会としてもバックアップも可能だし、それぞれが支障がないようなかたちでの利用はいいかなと思っております。

今後、レストラン等が再開すれば、また昼の間とかも、そこもまた団体の昼食の場所等にも提供しなくてはいけないし、もう少し協議する必要はあると思っています。

○ 議長 喜久里猛

8 番 島袋完英議員。

○ 8 番 島袋完英議員

はい、これはゆくゆくは教育委員会の中で文化担当の職員を1人配置するぐらいしないと全然発展をしていかないと思いますよ。今回、伊江島からも来ましたでしょう。伊江島はあの島全体のムラドゥイ、それが国の指定を受けているわけですから、それで事務局も教育委員会の中にいるんですが、私たちは各々のこれはやるんですが、やはり島としての文化の方向をもっと活性化させたいんだったら、教育委員会の中に、その文化担当の生涯学習とは別に文化担当だけ事務員をおいてやるぐらいの考えがないと、また何時かは切れると思うんです。教育長どう思いますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

現在あります文化協会につきましても、平成18年度まで役場の事務局でみてました。これが文化協会、いろんな生涯学習の一貫ということで、各サークルが集まって文化協会を設立したことを踏まえて、ぜひ、文化協会の中で事務局を専任して事務局独自で運用してくださいということも申し上げたことがござ

います。

昨年度から町の民俗芸能保存会が組織されて、その中での今事務局がたいへんばたばたしているというのも、十分承知しております。しかしこれにつきましても、私たち社会教育の中で生涯学習、いろんな文化振興もサポートしておりますので、できればぜひ皆さん方の各地域の皆さん方で、役員会を選出されてますので、その役員会の中で、さらに事務局を専任して、そうやっていただければ、私たちはいくらでも側面からサポートできますし、これまでの文化協会、そして民俗芸能発表会においても、いろんな舞台裏とかいろんなかたちで教育委員会もサポートしておりますので、今後ともそういった形態ができればと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8 番 島袋完英議員。

○ 8 番 島袋完英議員

それでも私は、事務所はできるだけ、あじま一館の中に、いろいろ規則はありますよね。規則はあるけど、それを使えるようにやるのがまた皆さんの仕事でしょう。ぜひお願いしたいと思います。

それから事務局も、やっぱり事務局手当てがないんですよ。お互いがやっている間は、うちの事務局も月1万円です。年間12万、これではやってもらっているほんとに感謝しているわけですが、ほんとはもっと手当ても上げてやらないと、できないんじゃないかなと思うぐらいです。

ですから教育委員会の中に、ゆくゆくは考えてください、事務局もですね。生涯学習じゃなくて、文化担当これだけを担当するという人を置くぐらいに考えていただけたらと思

います。

それでは、最後に航空運賃ですが、これも運賃が、一番観光客の低減のネックは運賃です。この運賃の対策は以前は島外の人も安くなるように検討しましょうと、県とも調整しましょうというふうなことでしたが、それも完全に無理なのか、郷友会の会員とか、久米島ファンクラブとか、そういう人たちの何かを対策して証明か何かを作って、その人たちも安くできるようなことは絶対無理なのかどうかお答えください。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

これは今の制度的に難しいというところですね。離島住民の生活航路としての県の事業として助成をしているもので、島外の方の制度の適用は難しいということです。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

難しいでしょうね、ほんとに。

じゃあ、この路線、東京－久米島とか、そういうものの何か少しでも進んだ点はないんですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

東京－久米島間も航空燃料についての軽減策というのが適用されております。これについては民間が参入するという事になれば、そこらへんのメリットは反映されると思います。ただ航空運賃については、今実際は高い高いと皆さん島民以外は高い高いと言われますが、10日前のホテルパックで予約をすれば

1万4千円から1万5千円という、ホテルに1泊して往復でこれぐらいの運賃でできるということ。これは私はいつも東京郷友会の集まりに行ったときにも、これについては言っております。そして先得も、これについては、この割引については久米島はなかったんですが、これ副町長と一緒にJ T Aさんをお願いして割引をやってもらったという経緯があります。運賃については、引き続き我々も努力して何とか島外に住んでいる人が気軽に来られるような状況に取り組んでいきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ホテルパックも非常に良いものだと思います。しかしこれが田舎だった久米島の家族団らんというのがホテルパックができたお陰で次第に壊れていくわけですよ。というのは今までは帰って来たら自分の家に泊まりよった子どもたちが、ホテルパックで来ましたからって夕ご飯食べたらず、すぐホテルへ帰ったりするんですよ。叔父さん叔母さんたちでも里帰りしたら今まではずっと夜遅くまでお酒酌み交わして話をしたいんだが、もう10時、11時頃になったらホテルに帰らんとと、これが結局、家族親戚の輪もあのホテルパックがみんな壊していくんですよ。

この人は助かっているかもしれませんが、こういう片方では良いのが、片方ではこういうふうな田舎の元の田舎らしさというのが知らないうちに崩れていっているんですね。ですから運賃の軽減をもっともっと頑張らんといけないと思います。

それから路線についてですが、J T Aがこ

んな状況だったら町で航空会社を作りましようか。資本金が5億あったら航空会社できますよ。ですから一括交付金全部使って航空会社を作って那覇ー久米島を別の離島にも飛ばせるし、粟国とかも、こういうふうにやったらどうですか町長。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

資本金が5億円あればできるという、町として、5億円はできないわけではないんですが、ただ、なんせ我々には運行するノウハウがない。集客するノウハウがない。いろいろなものを考えた場合にリスクが大き過ぎるというのがありますね。これについては私、現在では考えてはおりません。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

オスプレイだったらアメリカがあげるんじゃないですか。

これは那覇で先輩方、郷友会のある先輩と話をして、航空会社作るのにいくらぐらいお金かかるかなというふうな話になったんですよ。飛行機1機いくらぐらいするのかということになって、じゃあ、久米島で航空会社をつくって、久米島航路を運行しようかと、あと島中郷友会も全部株入れればすぐできますよという話になったんですよ。だからこれも夢ではないなと思って話したんですけどね。検討してください。

とにかく観光のこんな低迷、今たいへんですよね。皆さんイーフも具志川を歩いていても、たまには猫も歩かん時がある。こんないっぱい猫がいるのにね、猫も歩かん時がある

よ寒い時は。これをいかに打開するか、町長もっと先頭になって知恵を働かせてくださいよ。最後に観光に向けての。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

私の考えは観光だけじゃなくて、いかに入域数を増やすかということ、これは就任した当時から取り組んでまいりました。これについては、例えば学会の総会をここでやったりとか、あるいは行政視察は断らないとか、いろいろな工夫をこれまでやったけど、もちろん天皇の行幸啓についてもそうですが、やっぱり島のピーアール経済効果を、いかに高めるかというのが、これが私に課された課題だというふうに考えて、これからもしつかり頑張っていきますので。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

はい、ありがとうございます。頑張ってください。

(島袋完英議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで8番島袋完英議員の一般質問を終わります。

次に10番饒平名智弘議員の発言を許します。

(饒平名智弘議員登壇)

○ 10番 饒平名智弘議員

10番饒平名智弘です。3点ほど伺います。まず1点目に美崎地区(真謝)に公営住宅、宅地を。町は美崎地区(真謝)にある海洋深層水を利用し、いろんな事業を実施し、また計画もしている。そのため、計り知れないぐ

らの若者の雇用効果が期待できる。しかし真謝にはアパートや公営住宅がなく、また宅地も少ない。若者の多くは他の地域に住んでいる状況にある。その影響で美崎小学校の生徒数が減り複式学級もある。このままでは美崎小学校の存続が厳しくなってくる。天皇皇后両陛下が視察におとずれる海洋深層水研究施設があり、久米島でも産業が発展する地域だと考えられるが、そこで町長に伺いたい。美崎地区の産業による経済効果および雇用効果を上げるためにも真謝に公営住宅は絶対に必要と思うがその考えはないか。また、農振を解除し宅地に出来ないものか。

2点目は、久米島マラソンの運営について、久米島マラソンは島外、県外から参加するランナーがたくさんいる。そのために1泊2日で帰れるような運営にしているように見える。ふれあいパーティーを楽しみに参加するランナーもたくさんいる。ふれあいパーティーの時間をもっと長くし、中身を充実させ、せっかくの来島者を少しでも長く久米島に滞在させるための工夫をし、2泊3日型に運営を変えたらさらに、久米島をアピールすることができると思うが町長の考えを伺いたい。

3点目、一括交付金でサトウキビ春・夏植の農薬費助成増額を。町はサトウキビの春・夏植えに対し農薬費助成をしている。農薬費の15%を助成し農家は大変助かっている。しかし石垣市は一括交付金を使い農薬費の80%を助成、またJAから5%と石垣製糖から5%合計90%の助成をしてる。今年も台風の被害があり、サトウキビ農家は大変厳しい。害虫は国外、県外からも入り込んでいる。国や県も責任はあると思う。サトウキビの生産をさらに上げるためにも農薬の散布は欠かせな

い。

町長に伺いたい久米島町も一括交付金を活用し農薬費の助成を増やすべきではないか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

10番饒平名智弘議員の質問にお答えします。美崎地区の公営住宅等の農振について、美崎地区については、将来的には、海洋深層水関連事業により、雇用効果が期待できます。将来的に住宅需要が高まれば町営住宅の建設を検討していきたいと考えています。農振地域の見直しについては、今回、美崎地区で3カ所見直しを予定しています。久米島マラソンの運営について、県外参加者につきましては2泊3日の参加が主体となっております。県内参加者は半数以上が1泊2日で参加していると思われます。県内参加者の久米島マラソン大会の魅力は、土日の休日に久米島マラソン大会に参加し、月曜日には休暇を取らずに会社等へ出勤できるというのも魅力で、またそれがリピーターの参加者が多い理由でもあります。

一括交付金でサトウキビの農薬補助についてですが、サトウキビの新植春植え、夏植えの土壌病虫害防除の農薬助成については、町と久米糖で助成を毎年継続して行っていますが、一括交付金を活用した農薬助成についても石垣市の事例を参考に今後検討していきたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

美崎地区の公営住宅についてなんですが、既に美崎地区には海洋深層水を利用していくつかの事業所があります。しかしながらさっきも言ったように仕事をしている若者の多くは他の地域に住んでいる。真謝の若い人たちが他に住んでいる。そのために、美崎小学校の生徒が相当減ってきているんですよ。近い将来、地域から小学校がなくなる不安を抱えている。そのためにも公営住宅、私は造る必要があると思う。美崎地区、真謝出身は相当仲里地域に若い人たちが住んでいるんですよ。そういう人たちを戻す意味でも、公営住宅は必要だと思う。産業があるということで島外からも雇用が増えると思う。

それでもう一つ、美崎地区の農振の3カ所の見直し場所は何処なのか、また何の目的に答申を見直すのか、伺いたいです。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

住宅の件ですが、合併前から旧両村においては、それぞれの地域に町住宅を建設してきたわけですね。合併してからその事業はないんですが、その時点ではある一定の住宅事情は満たしたと、そういう判断で、一時、休止している状況であります。今後そういう状況になったときに、先ほど答弁にあったように、そういう住宅需要がどの程度まで上がっていくのかを考慮しないと民間との競合がそこにくるわけですね。アパート経営を圧迫するような公共事業というのはあまり望ましくないということもございますので、そのへん民間の動向を見ながら、確かに地域的な問題あると思いますが、ただ久米島全体を考えた時には、やはり民間との競合という部分もある程

度避けなければいけないという事情もございまして、今後そのへんを調整しながら、必要であれば事業導入を考えていきたいというふうに考えています。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

美崎地区の農振の3カ所については、1カ所はユイマール館の隣の部分で、あと1カ所は真謝と宇根の間の真謝より、あと1カ所は真泊宇根土地改良の端っこの方と3カ所を今、農振の除外をしております。これについては、また年内に県との最終調整に入って、これがチェックが終われば交付になると思いますが、また実際事務手続きでもあと50日ほどかかりますので、だいたい2月ぐらいを想定しております。

農振から住宅地として外ずせるのはこれは地域からの要望ですね。各地域回って要望のある所また土地利用計画と整合性のある所を審査しての宅地としての除外になります。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

公営住宅に関しては需要があれば造るという話なんですがこの深層水関連の事業をとおして美崎地区は相当の事業計画を持っていますよね。そのへんプロジェクト推進室長どのぐらいの事業を計画し雇用効果、経済効果を見通しているのか伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの美崎地区の事業の効果等についてなんですが、現在プロジェクト推進室のほ

うで海洋深層水複合利用基本調査というのを作っております。その基本調査に基づいた数字なんですが、複合利用を実現できた場合、複合利用の高度化を実現できた場合経済効果として年80億、そして雇用の創出効果としては1,500人という数字を出しています。その1,500人という数字もちゃんと県のこういった農業分野の事業が入れば、何名の雇用効果が出るという、そういった統計数字も使いながら弾き出した数字になっています。1,500人という雇用効果ですね。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

今、説明がありましたように海洋深層水を利用して1,500名ぐらいの雇用効果も期待しており、海ぶどうまたりチュウム電池でしたよね。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

マグネシウムです。

○ 10番 饒平名智弘議員

マグネシウムですか。その職員を募集してもあまり人が集まらないという声が聞こえるんですよ。そういった意味でも、この美崎地区にそれだけの若い人たち、また雇用できる人が少ないからだと思うんですよ。海洋深層水を使っているんな計画をもっているんですしたら、やっぱり公営住宅も早めに造って人をそこに来るようにしておけば両方上手くいくと思うんですよ。仕事は作っても人がいないのはおかしいですよ。この久米島は島外から人を呼んで事業も活性化させないと、この島の人口は減っていつている。私はやっぱり公営住宅は、絶対に必要だと思うんですよ。また特に天皇陛下、皇后陛下が視察に来るぐら

いすごい研究施設もあり、そういうのを利用して島興しをやるべきだと思うんですよ。そこで町長はどういう認識をもっているか伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

プロジェクト推進室長からいま言われたとおり複合利用というのは、壮大な計画であります。ただ我々としては、やっぱり当初、温度差発電の実証試験、それが終わった後パイプライン、その後複合利用と一つずつ始めていこうと思っているんですが、これもやっぱり10年計画、20年計画という計画でありますので、これが具体的に進むにつれて我々もニーズに答えていきたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

教育長に伺いますが、今、美崎小学校は、若者が少なくなり生徒数が相当減っているんですよ。将来今のままでいけば統合、小学校がなくなる不安があると、地域からさうとう声が上がっているんですよ。町長にお願いしたいのは若者が真謝に帰ってくる環境整備する必要があります。教育長今の美崎小学校の生徒数、現状毎年どのぐらい減って、将来的な見通しを、もしわかる範囲で、お願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

美崎小学校の在籍数も毎年厳しくなってきました、平成24年度から今年度から複式学級

になっておりますが、今、複式学級3年と4年生が複式学級なんです、さらに次年度においても複式学級、あと1クラス増えるような状況にあります。やはり地域での若者がいないそして出生率が少ないというのが大きな今課題となっております、自ずと学校の子どもの数が少なくなっているような状況なんです、それにつきましても複式学級というのは大変学習関係からすると厳しい面があります。まずは1年間の授業そのものが十分に100%保証できないということがございますので、そういった意味においては、今の美崎小学校の環境というのは在籍数が毎年減るような状況になって厳しいような状況がございますので、そのへんもう少し子どもたちが美崎校区の方に集まって子どもたちが美崎小学校の方に行くようになれば解消もできるかということが、これは私もあくまで期待をするわけなんです、そのへんそういったかたちへの環境整備が整えることができればと思っております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

今教育長が言ったとおり、美崎小学校たいへん厳しい状況なんです。

町長にお願いしたいのは、やっぱり真謝の若者が真謝に住める環境を、ぜひ作ってほしいということですよ。それでこの問題を終わりますけど何かコメントありましたら町長として、ぜひ作るとか、将来的にやるとかそういう考えはないですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

饒平名議員からご質問がありましたその地域の住宅政策というのは大変重要だと思っております。ただ現時点においては、公営住宅44戸あるんですが、今の時点で希望している人全員入れているような状況です。ですから将来的に需要が増えた場合は、やはり町の行政としても検討していく必要があると思っております。それから住宅政策については先ほどお話がありました古民家を有効に使える方も合わせて考える必要があると思っておりますし、あとその埋立地には住宅用地として4,357ヘーバー確保されております。埋立地の中にですね。それは今埋め立ての段階では漁協との協議で漁業後継者の用地ということになっていますが、それは調整すれば、そこに民間アパートの誘致、そういうことも可能だと思いますので、それも含めて総合的にその地域の住宅対策は取り組んでいく必要があると考えております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

これももう1回いいますが、ほんとに生徒がいなくなってからじゃあ遅いです。だからその前に早めに手を打ってぜひ公営住宅は造って若者が真謝に帰ってくるような所は作ってください。

では2点目にいきます。久米島マラソンにつきまして私も久米島マラソンを走り、またふれあいパーティーも参加してとても楽しい思いをしておりますが、しかし参加者の中にはもっとふれあいパーティーを長く楽しみたいという声が聞こえるんですよ実際、それでふれあいパーティーの時間を長くもっと充実させれば2泊3日の参加者はもっと楽しめる

と思うんですよ。また1泊2日の参加者も来年からは2泊3日にしようという思いも出てくる可能性もあるんですよ。そうしたら参加者も増えるかもしれないです。今、観光も厳しくて、できれば1泊よりは2泊の方が良いと思うんですよ。そういう意味で今回この質問はしておりますが、思いは久米島を楽しんで、ふれあいパーティーを楽しんで帰ってほしいという思いなんです。ただ今ふれあいパーティーを参加しておりますと5時ちょっとにもう終わりますよね。2泊3日の人たちよりは1泊2日の人たちを帰すために早めに終わっているように思われるんですよ。そうじゃなくて時間をもっと長くし、充実させれば帰りたい人は帰っていいですが、残っている人をもっと満足させるような運営もいんじゃないかなと思うんですよ。そこで町長はどう思うか。伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えします。ご指摘のとおり内容は今後ともさらに充実させる必要があると、我々事務局も感じております。商品売り出す場合も、我々は3泊、4泊、5泊、そして2泊3日というふうな2つの商品を作って旅行社と調整しております。1泊2日の商品では売り出してはおりません。そのへんはご理解をお願いしたいと思います。

そしてふれあいパーティーを長くという話もごさいますが、ふれあいパーティー3時半から始めまして6時に終了します。ハーフ、フルマラソンに、ほとんどの方々参加されます。となるとハードなフルマラソン、ハーフある程度動きますので、その後に長時間会場

でお酒を出して、それが良いものなのかも事務局でも検討しました。それも踏まえて3時半から6時で、ある程度区切りをつけて内容をさらにご指摘のとおり充実して久米島マラソンをさらに2泊3日とか3泊4日の商品として県外、県内の方々をお迎えしていこうということで調整はやりました。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

言っていることはわかりますが、もっと充実させてほしい。記念大会とかありますよね、そういう時にはもうっと盛大にふれあいパーティーとかやった方が良くと思います。そして皆さん喜んで帰ると思います。

では3点目にいきます。サトウキビ夏植え助成金についてなんです。町長は農薬の助成費は石垣市を参考にすると答弁をしておりますが、石垣市と同じ80%として、解釈してよろしいですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸振興課長。

○ 振興課長 平良朝幸

石垣の、この質問を受けて、いろいろ情報収集をして今製糖工場とも相談しながら検討をさせております。補助率とかについては、いま検討中です。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

検討と言う言葉は本当にあつてないようなものです。町長、私は一括交付金は農業及びサトウキビにも絶対活用すべきだと思うんですよ。久米島町にはサトウキビ農家1,000名の生産者がいます。久米島町でも一番多く

の人が携わっている産業です。

また害虫はサトウキビ農家だけの責任だけじゃないと思うんですよ。これ国外、県外、島外から相当入って来ているんですよ。国や県も責任があると思いますよ。最近サトウキビがとても作りにくく農薬の散布は欠かせないんですよ。そのために農薬費にお金が相当かかってきている状態なんですよ。農薬にも一括交付金を使い助成を増やすべきだと思います。

最近はいネヨトウとか名前も知らない害虫がいっぱい入って来ています。そういう意味で本当にサトウキビは作りにくい植物になっていますね。サトウキビをたくさん作っている副町長に、今のサトウキビ農家の現状はたいへんなんですよ。そこを伺いましょう。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

たくさん作っていると云われたら非常にあれですが、作ってはおりません。今回、特に私が感じるの、台風、9月29日の17号、そして10月17日の21号、塩害それで夏植えの影響がかなり不発芽が目立ちます。各農家に聞いても品種の選定等もあるかと思うんですが、時期的な問題、特に台風による影響が、今回は非常に大きいものがあると思います。そして特殊病害虫これも今芋においてはアリモドキノウムシ、イモゾウムシの駆除を国が特殊病害虫の防除としてやっておりますが、キビ農家においては、そういうのが今されていないと特に最近はいネヨトウがかなり発生しております。私この間担当を呼んである地域が蔓延しているから早急に対策しないと島中に蔓延するよということでやりましたら、

担当いわく収穫何日前までじゃないと農薬は使えないよということもありました。

それだったらそれなりの対策を取らない限りには、特に牧草とキビが隣接した地域は非常にこれが目立ちます。牧草、畜産農家との調整も必要となってきましたし、全体的な防除をしないといまのままでしたら、今、饒平名議員から心配されているような問題が近々起こります。ということも全体が関心を向けて国の責任で駆除をするような仕組みづくりを我々が声を上げていかないと北部方面みたいな蔓延になったら手遅れになる状況にもなると思いますので、ぜひ議員それぞれの皆さんそして県あたりも動かして、この対策を早急に取り組むべきと思っております。

昨年の実績の3万5千トンの収穫では久米島製糖の今後の維持も非常に不可能になってくる可能性もありますし、全体の経済を見た場合は、ただちに他の問題ということではなく我々の身の問題ということで取り上げて検討する必要があると思います。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

副町長が言うとおりの、いろんな害虫が入ってきて、大変なんですよ。そのためにも一括交付金を使い農薬への助成は増やすべきだと思うんですよ。一括交付金を使ってサトウキビ農家に他の事業とか計画はしているのか伺いたいです。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

一括交付金使ってサトウキビの事業というのは今は出ておりません。先ほどのイネヨト

ウというまた新しい病害虫があつて、これの農薬の助成を、これも一応24年度から検討して実施することになっております。その全体的な駆除方法についても県の事業を入れて交信かく乱の事業ということで、それを事業やるための調査を今やっているところです。これができれば島一斉に駆除をやる予定にしております。これも一括交付金が併用してできるかどうかともそれも含めての検討を一応しております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

一応他の事業もあるという、それに関連した事業ですね。それは。

○ 産業振興課長 平良朝幸

はい。

○ 10番 饒平名智弘議員

それとサトウキビの話をしておりますので、サトウキビ関係の補助事業とかありますよね。例えば機械を取るとかそういうのを他の地域、今回石垣にサトウキビの視察へ行ったんですよ。いろんな事業が入っております。職員何名いるのかちょっと聞かなかったんですが、今久米島町は職員1人でサトウキビ担当がいますよね。職員数が少ないからいろんな事業が久米島に入ってくないという農家からの声が聞こえるんですよ。もし職員が少なければサトウキビ担当を増やす考えはないのか伺いたいです。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

職員の配置につきましては、先ほど行政改革の話が出ておまして、合併時に253名い

た職員が今196名になって平成29年までに180名になる計画でございます。そういうことで人を増やすということは非常に難しいところがあると思いますが、事業でどうしても正職員ができない分については事業の部分で非常勤の職員を充てることができないかとか。あるいは事業の優先順位を決めて取り組むとかそういった工夫をしてより政策的優先度の高い物から順に解決できるようにやっていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

農家の補助事業とか取れないところもある。農家が損をさせないように事業があるなら積極的に取れるぐらい職員を配置してほしいと思う。これで終わります。

(饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで饒平名智弘議員の一般質問を終わります。

しばし休憩をいたします。(午後3時00分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後3時12分)

5番宇江原総清議員の発言を許します。

(宇江原総清議員登壇)

○ 5番 宇江原総清議員

5番宇江原総清です。私は3点質問します。第1点目は、鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。いわゆる日米安保条約と日米地位協定の内容を要約すると「アメリカが望むだけの軍隊を望む地域に、望む期間だけ配備駐留させる権利を確保する」と。次に、「第一次裁判権はアメリカにある」と。そういうふうに言われております。これは日本が

アメリカの占領下にあるということです。

オスプレイの配備問題もアメリカのやりたい放題、傍若無人にオスプレイの県内市街地を飛行していることも、アメリカの占領意識の現れであります。

鳥島射爆撃場問題もアメリカの占領意識だと私は見えています。町長に伺います。今後ともアメリカ軍は占領下意識で、嘉手納弾薬庫に40万発あると言われる劣化ウラン弾を再度打ち込むと考えていますか。また、オスプレイ等による鳥島射爆撃場の実射はあると思うか伺います。

第2はコンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽についてであります。河川も含みます。今年9月下旬の台風17号で久米島北側に位置する宇江城、比屋城の新原（シンバル）、北原区、シンリ浜等の潮害防備保安林やサトウキビ等の農作物が大きな被害を受けました。その原因は、コンクリート護岸にあります。今年の9月、県の農林水産部部長と南部農林土木所長等に久米島町の台風被害実態を写真集で説明し、コンクリート護岸の撤去と植栽を訴えました。また、赤土流出防止と沈砂池増設も訴えてきました。町長は、コンクリート護岸の撤去等と赤土流出防止対策で県にどう対処してきたか伺います。

第3はTPP反対表明とサトウキビの防虫対策についてであります。TPPへの日本の参加は農業従事関係者や医療保険関係者等に多大な被害が及ぶものと思っています。町長はTPP反対表明はしないのか伺います。

また、基幹産業であるサトウキビのイネヨトウ被害が拡大しています。石垣市では農薬購入に対して80%の補助をしているが、久米

島町もその考えはないのか伺います。

（宇江原総清議員降壇）

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

（平良朝幸町長登壇）

○ 町長 平良朝幸

5番宇江原総清議員の質問にお答えします。鳥島射爆撃場の早期返還について。劣化ウラン弾は、米軍の内部規則により日本国内での使用が禁止されていますので基本的にはないものと考えていますが、これを鵜呑みにするのではなく、情報収集に務める必要があります。オスプレイによる鳥島射爆撃場での実射については、オスプレイ自体が輸送機ですので実射訓練は無いものと考えています。

コンクリート護岸の撤去についてですが、以前から申し上げていますように、既存のコンクリート護岸は浸食防止や高波対策の効果が十分発揮されていると思います。島内を取り巻くコンクリート護岸が不用であるとの根拠を見いだせない限り、現状では撤去要請はちょっと難しいと考えております。

TPPの反対表明についてですが、TPPについては、町行政が中心となってTPP交渉参加に反対する久米島総決起大会を今年の1月19日に開催し、久米島町はTPP交渉参加反対について島内外に強くアピールしております。今後は、上部団体と歩調を合わせながら取り組みを行っていきます。

一括交付金を活用した農薬購入補助については、石垣市の事例を参考に検討していきたいと考えております。

（平良朝幸町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

再質問をします。まず、第1の鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。町長は劣化ウラン弾の鳥島射爆撃場への再度撃ち込みについて、アメリカ軍の内部規則により日本国内での使用が禁止されていますので基本的にはないものと考えますが、これを鵜呑みにすることなく情報収集に努める必要があると答弁されています。

町長、アメリカ軍と日本政府に対しては非常に寛大な考えをもっていると私は思っております。アメリカ軍は、なんのために40万発の劣化ウラン弾を嘉手納弾薬庫に貯蔵しているんですか。これはいざとなったら使うためなんです。使用するとすれば実射訓練も必要です。そうなれば日本で唯一の実射訓練ができる鳥島射爆撃場がそれに使われるわけです。また、アメリカ軍の劣化ウラン弾は使用期限がきているといわれております。アメリカ軍は嘉手納弾薬庫貯蔵の劣化ウラン弾を実射訓練に使用するか、投棄するのしか考えられません。今でも劣化ウラン弾が撃ち込まれているかもしれません。

アメリカ軍の隠蔽体質というのは顕著です。例えば、鳥島射爆撃場に劣化ウラン弾を撃ち込んで1年余りしてから日本政府に通報しております。通報を受けた日本政府も3週間もひた隠しにして、ワシントンタイムズの報道に慌てて沖縄県に通報、公表したとされています。また、アメリカ軍は海兵隊は日本から劣化ウラン弾を全て撤去したといいますが、沖縄には保管されていたことも発覚されております。更に、アメリカ軍は1954年3月にビキニ環礁での水爆実験で、被爆をした第五福竜丸の船長が死亡した、その死因で、

日本の医師団が放射能症と診断しているわけですが、アメリカ側はこれを否定した。そういう米国側の資料が出てきております。

そういうふうにアメリカ軍も日本政府も都合の悪いことは、ひた隠しにするという隠蔽体質は今でも変わっておりません。

町長、それでもアメリカ軍の劣化ウラン弾の使用が基本的にはないと信じるんですか。また、劣化ウラン弾の使用の情報を収集することができると思っておりますか伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

宇江原総清議員の質問にありました劣化ウラン弾の使用についてですけれども、これについては以前に劣化ウラン弾を撃ち込まれたときに1年後ぐらいに分かったんですが、誤射だったから1年後になったということです。そしてわざわざ射撃訓練に劣化ウラン弾を使う必要はありません。なぜかといいますと、アメリカ空軍で使っている劣化ウラン弾は鉄鋼弾といいまして、弾頭の長さが3ミリ、直径が15ミリです。その鉄鋼弾というのは普通の鉄鋼弾でも射撃訓練ができますので、わざわざ劣化ウラン弾で訓練するということが自体が考えられないということです。

ただただ、以前にもあったとおり可能性は全くゼロではないということで我々も注意深く情報収集するというのが今の私の態度であります。好んでこれを撃ち込むということはありません。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

前から話していますように、その劣化ウラ

ン弾というのは、劣化ウラン弾ファミリーというのがあって銃弾から大きい砲弾まであるんです。そういったものも含めてアメリカ軍は保有しているわけです。そしてこれがアメリカ軍が使わないという保証を皆さん方はできるんですか。そうじゃなければ嘉手納弾薬からも撤去させればいいですよ。それは核爆弾と紙一重、あるいはそれと同等だと言われているんですよ放射性物質については。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

劣化ウラン弾の種類は、確かに言われたとおり100ミリ榴弾砲とかありますが、あれは陸軍の砲弾ですね。いま空軍で使っているのはジェット戦闘機の機銃だけです。いま沖縄にあるのは。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

必ずしも、僕は前にも話しましたとおり、海軍とか、陸軍とか、空軍とか、これは連動するわけです。そういうようなものも含めて言っているわけです。

それから町長、オスプレイ等の実射訓練に対する私の質問に対し、オスプレイは輸送機なので実射訓練はないものと考えたと答弁しております。確かにオスプレイは普天間海兵隊所属の兵隊や物資を運ぶ兵站としての輸送機ではあります。これが嘉手納基地と連動、連携して戦闘機に護衛されての実射訓練はあるものと私はみております。したがって、鳥島射爆撃場での実射訓練は多くなると思いません。オスプレイは既に嘉手納基地で離発着訓練をしています。そういうことからするとい

ずれば隊を組んだ鳥島射爆撃場でのオスプレイの実射訓練はあるものとみております。

また、鳥島射爆撃場をアメリカ軍が占領意識の下に劣化ウラン弾をはじめ、1996年に国連人権小委員会で、採択され禁止されているナパーム爆弾やクラスター爆弾、こうした爆弾等を平気で撃ち込んでいるじゃないですか。そういうことはやはり久米島の経済を破綻させるばかりではなく、人道上も許されないことではありませんか。

アメリカ軍は日米地位協定を盾に軍事訓練をやっても沖縄はもちろん日本も守ってくれません。今回の北朝鮮のミサイル発射問題についても、国はアメリカから買ったパック3とか、MD作戦によってこれを撃ち落とすと言っているんです。撃ち落とせましたか。できないかったわけです。事前から準備しているんです、去年から。そういうような状況であるためにアメリカは中国やロシアと戦争をすることができるかといえば、できないと言わざるを得ないです。

なぜかというと、2007年1月に中国は、自分達で打ち上げて地球を回っている人工衛星を高度840キロのものを自分たちのミサイルで撃ち落としているんです。そして日本列島の周辺に打ち上げた人工衛星というのは、軍事情報衛星も含めて、たかが500キロなんです。そういうようなものも破壊させるということは容易であるわけです。日本を含むアメリカの人工衛星を中国が破壊すると、こういうことになるとパック3、MD作戦は機能しなくなる可能性があると言われております。

また、日本国内にある54基の原子力発電所、これに核弾頭ミサイルを発射すればどうなりますか。日本は全滅ですよ。何千発というも

のを中国、ロシアは持っているんです。

しかし、いま中国でも外国と戦争すれば、中国軍の基幹を成している漢族は、これまで弾圧してきたチベットや新疆ウイグル族、内モンゴル族、彼らに背後から突かれると言われております。

一方、アメリカも財政の崖といわれるぐらい財政が厳しく、他国との戦争を続行すればするほど財政破綻の道を歩むということになります。

多くの日本国民は日米安保条約があるから最近の追加条項も承認されたから、日本が中国と戦争する際には同盟国としてのアメリカ軍が出動するだろうと、守るだろうという希望的観測を抱いているとすれば、大きな間違いです。アメリカは自国の損得勘定を優先させる国ということは、これまでの歴史からしても明らかであります。各国の核爆弾の保有数は、今や地球を7回も全滅させるぐらいの数を持っているといわれていますので、アメリカが中国と戦争をすることはあり得ないと私は考えています。

ここで町長に伺います。1点目は、鳥島射爆撃場に劣化ウラン弾が残存されているのに、世界的に禁止されているナパーム弾やクラスター爆弾が撃ち込まれていますが、これを容認しています。新たな劣化ウラン弾の使用も黙認するののかということです。

2点目は、日本が他国との戦争を開始した場合に、アメリカは同盟国として日米安保条約に基づき参戦すると思うのか、ということをお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

先ほどのオスプレイの実射の件ですが、基本的にはオスプレイは輸送機で、兵站として航空部隊の活動に参加することは可能性としてはあります。ただ、実射攻撃する武器は搭載しておりませんので、基本的にはですね。久米島の空域についても飛行訓練で飛来する可能性はあると思っております。それから、基本的にオスプレイについては、町長としても執行部としても配備反対でありますし、これは議会の決議もございます。そしてまた、年明けには全市町村長41市町村長が政府に配備撤回の要請をしに行く方向で現在調整が進められておりますので、やはり全市町村長、力を合わせて撤回に向けて取り組んでいくということだと思っております。

それから、鳥島射爆撃場における劣化ウラン弾の使用については、日本政府でさえそれを検証する方法は、手段は持っていないわけです。おそらく推定で使用したんだろうというようなかたちでやってはいますが、そこで使用しているかどうかという明確に把握する方法も持っていないというのが現状です。国内で禁止されている兵器を、そこで実射訓練するということは、やはりあまりいい方向ではないと思いますので、それはしっかりとしたそういった使ったということが分かれば、それはまた抗議をしていくべきだと考えております。

それから、日米同盟で日本と中国が衝突した場合、同盟国として参戦するかどうかということについては、我々の町政の範囲を離れている問題なので答弁は控えさせていただきますと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

日米同盟について、アメリカ議会で尖閣諸島も範囲に含まれるということがありました。それから考えると、アメリカは日米同盟を堅持するんじゃないかなと思います。ただ、守ってくれるか守ってくれないかというのは国の問題で、いち町村長が、個人的な意見だったらいいんですが、ここで答弁するのは町長として答弁しますので、これは控えさせていただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私が言いたいのは、国ができることということで逃げないでほしい。この考え方はどういう考え方なのかということと。じゃあアメリカに実射訓練をさせないために、どういう方法をとるのかと。例えば、町長は、僕が議員になってから5カ年になりますが、1回も鳥島射爆撃場早期返還の町民大会、決起大会を起こしたことはないじゃないですか。やるやると言ってやらなかった。状況を見ながらということですがね。5年間経ってもみても見つからなかったという言い訳は許されないわけです。そういうような意味で、これは日本国の問題ですが、我々町民にかかるいろいろな航空運賃の問題から経済の問題、それから町民人口の減少とか全部根幹に関わることなんです。そういうようなものを町長が逃げてどうしますか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

こういう問題は逃げてるとか、何とかではないと思います。例えば私が自衛隊を全部把

握して、こうなったこうなるという具体的に自分の戦略ももっているのですしたら、ああこれはこうだという判断はできるんですけども、私は、いち小さな町の町長であって、その町長が国と国との戦争を論じるということ自体、私、自身はおかしいんじゃないかと思います。個人的には言えますよ。もしかすると宇江原議員よりも私の方が知識があると思いますので、個人的には言えるんですけども、町長の立場としてはこういう論議というのは避けたいということです。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

早期返還の町民早期決起大会も、これからは開かないということですね。そういうような逃げの場をつくっているということが問題だと言っているわけですよ。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

時期、状況、あるいは、それを見てやると言っただけで、開かないとは言っていないと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長の腹の内は読めたわけです。非常に僕は消極的だと見てます。鳥島射爆撃場の20年契約だって、最初から契約するという腹でもっていろいろと撤去の要請をすとか、町民大会は時期を見て開催すとか、こういうような逃げ口上をつくって来た。だから駄目ですよ。

そういう意味で私は、町民とともに鳥島射

爆撃場の早期返還を実現することによって、年間の借地料186万円をもらうより、年間1億9千万円の経済効果を取り戻す方が賢明ではないかと思っております。

また、返還の実現による観光客のリピーターの取り戻しも私は可能になると考えております。そしてその鳥島射爆撃場の早期返還こそ久米島の人口を増加させて、久米島高校の存続問題も解決できると確信をしております。一番の久米島経済を疲弊させている、あるいは人口を減少させている、久米島高校の問題になっている生徒の減少傾向も、そのネックにあるのは大きな一つに久米島鳥島射爆撃場だと私はみております。町長のコメントを伺います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

これまで度々説明してきたとおり、鳥島射爆撃場の返還についてはずっと継続して取り組んでおります。今後どういったかたちが山を動かすのかということについては、今やはり全県的に首長が一致して基地の問題に取り組んでおりますので、やはり久米島だけでは非常に難しいと思います。全県的な基地返還運動に結びつけていくようなかたちで、軍転協を中心として取り組んで行く方が現実的に少しずつ一步一步基地問題の解決につながっていくものだと考えております。そういう方面で頑張っていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

鳥島射爆撃場の返還については、私は就任して以来ずっとやってきました。ただ、返還

が現実的に今の状況でできるかできないかというのは、これはまた別の問題であります。いま宇江原議員から住民決起大会を開きなさいと。これは非常に必要だと思ったら民間でもやるべきだと思いますよ。町に頼らずに。これは伊江島でもありましたので。ですから、我々はいま、この時期ではないという判断でまだやっていないということですので、やっぱり時期を見計らって、状況を見ながらやるというのが私の考えであります。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

時間がありませんので、次の議会にまた詳しい質問をすることにして、次に移ります。

第2のコンクリート護岸の撤去と、これに伴う植栽についての再質問であります。町長は既存のコンクリート護岸は浸食防止や高波対策の効果が十分に発揮されていると思うと答弁をしております。しかし、シンリ浜の清水小学校近くの護岸は70mに渡って決壊しました。それは私が警告したとおりでありました。あと2カ所も決壊が予想されるところがあります。また、海洋深層水施設のところも階段式のコンクリート護岸は決壊が予想されるところであります。それから、ふれあい広場の一帯、これは数回にわたって高波被害がきたわけでしょう。だからこういうようなものについては自然をみながらどう対応すべきかということを考えないと対策は取れないと私は思っています。そして、いま言ったような実態は町長はどのように見て、どう感じているか伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

私が護岸の役目を果たしていると答弁したのは、例えば深層水の前の護岸がなければたぶんあの家屋は全てなくなっていたのではないかと思います。もちろんふれい館もあの護岸がなければどうなっていたか、そのためにやはり役目を果たしているという答弁をしたわけです。

ただ、宇江原議員が以前から塩害の問題とか、自然を破壊するとか言われてきましたけれども、これについてはこれから護岸工事等については出来るだけ石積みをしたりとか自然に近いかたちでやっていきたいと思いません。もちろん河川もそうですが新規事業についてはそういうふうに取り組んでまいりたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長、昨日も私はこういった恩納村から国頭まで全部西側海岸をコンクリート護岸と山の立ち枯れ等々について写真をとって、これは町長にもあげました。それから、今回の17号台風のときの久米島における潮害、こういったものも町長にも見せました。ならばいま町長が言われたふれあい館の前とか、深層水前の護岸はどうつくるべきかということも提示しました。

そういうようなことも、私はさっき冒頭に言ったとおり、9月に農水部長と南部農林土木事務所長、班長と会って、それを相談しました。それに加えて12月5日には県農林水産部のまちづくり計画課の班長や主任技師の皆さんと会って、先ほど申しましたように本島の西海岸のコンクリート護岸等の木々の立ち

枯れ、葉枯れの実体写真で、コンクリート護岸と塩害の因果関係を証拠として提示してきました。

県の皆さん方との話し合いでは、まず久米島の畳石一帯の階段式コンクリート護岸についてはバーデハウスの前を石積みしてその他は撤去する。次にシンリ浜については、一部のコンクリート護岸は撤去、更に宇江城、比屋城のシンバルについては高さ4メートルから5メートルの斜めに石積みをして、その上にプラス築山、土で埋め立て、そういったところに植林をする方法等々を突っ込んだ議論もやってまいりました。

町長がいうコンクリート護岸が不要であるとの根拠を見いだせない限り、撤去要請は難しいとしているのは、私からすれば、皆さん方、国家官僚的優秀な答弁をしています。そして出来ない言い訳ばかりやっている。先ほど同僚議員から赤土防止対策についても逃がっている。こんなことでいいんですか。

錢田川についてもそうでしょう。私は久米島のことをいたたまれなくなって、このコンクリート矢板を打つというのを石積みに変えて、つぶれ地が多くなっているからということの心配がありましたけれども、地権者は聞いてくれました。私はいつも言っているんですけれども、積極的に行動すれば巡り合わせがあると。

こういうことで河川の問題、それから基幹産業であるサトウキビ等が何年も塩害でやられている問題がある。しかも久米糖は6万tのボーダーラインを割って4万t前後の減収となっているわけです。

海士町出身の島前高校出身の、これは農業関係の独立行政法人にいます方ですが、久米島

はうらやましいと。サトウキビという基幹産業があるからうらやましいと。もちろん我々は海士町に行って視察をした結果も全部本人に伝えました。その上で基幹産業たるサトウキビがあることはうらやましいと。そういうようなものを放置していいのかと、こういうことを言いたい。

これも先ほどの久米島の経済の破綻の根幹をなすのは、ネックになっているのは鳥島射撃場とそのコンクリート護岸だと、自然破壊だと私はみております。

町長は、あるいは関係課長の皆さん方、本気で久米島の農業生産者等を救う気があるのか、これを伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

宇江原議員の例えば塩害との因果関係は、私は前から言っているんですが、今回の台風でもコンクリート護岸がないところも塩害で枯れている状況があります。コンクリート護岸があるからこうなったという証明、あるいはその因果関係がわかれば、我々も動きやすいというのがあります。

例えば、以前には台風がきても塩害がなかったということもあります。これは雨をもってくる台風、雨をもつてこない台風、それによっても違います。

ですから一概にコンクリート護岸が塩害の元凶だとも言えない部分もあって、ここらへんが苦慮しているところであります。

また、農林水産部長ともお会いしました、私は。これについては沖縄県の塩害対策については何とかしたいと言っていましたので、県が動き出せば我々も非常に動きやすいという

ことで、県がそういう状況で動いてくれば、私どもも前に言ったとおりモデル地域をまずつくってやってみたいと。これは県が動かない限り我々もどうしようもないという部分がありますので、ぜひここらへんはご理解いただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

なぜ県を動かさないんですか。県が動いてから町が動いたら、これはモデルケースにも何もなりません。さっきの同僚議員もいったように町が積極的に動けばいいわけですよ。だから農水部の村づくり計画課の班長の皆さん方も、そういうことで僕は理解を示して、議論をしたと、いい方向にいつているのを皆さん方で足を引っ張るんですか。むしろ皆さん方が1人の議員の背中を押しきれないんですか。そういうことのお答えをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

久米島を取り巻いている護岸そのものは県の財産であるということで、本来は県が動くべきだとの考えをしています。町長の答弁にありますように、その原因が分からないことには、コンクリート護岸撤去の要望というのはいけません。

ただ、以前から宇江原議員がおっしゃっているような内容については逐次南部農林土木支所長、先だっても2度ほど議員と一緒に所長とお会いしましたが、そういうかたちで報告をしながら対策を考慮してくれということをお願いをしております。

今の議員の話を聞きますと、農水部長までそういう考えをしているということ始めてお伺いしたんですが、県がそういうかたちで動いてくれるのであれば我々としても非常にやりやすい部分がありますし、現況については我々は説明はしているんです。ところが今まで県としてはあまり動きがない。ただ、最近動き始めたのは一括交付金が出て、その対策でなんとかという部分の説明は2週間ぐらい前に、村づくり計画班の方からありました。その際にこの撤去という話はないんです。部分的に改修しましょうという話があったので、今日の話の中で果たして、それが撤去というかたちになるかどうかというのも今後確認しながら対応していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

まず、町長が言われた因果関係というのは分からないと言っている。写真で説明しても理解できなければおかしいです。そしてコンクリート護岸がないところでも塩害が発生しますということなんです。一旦コンクリート護岸によって打ち上げられた塩水は、3、4キロ先までいきます。そして渦を巻いてババッと落ちる場合もあります。そしてV字型に、ワイトウイになっているところはスムーズにきれいにV字型に枯れているところもあります。町長は現場を全然見てないんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

久米島というのはリーフに囲まれていま

す。台風の度にリーフからしぶきが飛んでくるといのは皆さんもご存じだと思いますが、シンバルみたいに海岸がサンゴになっている場所、あるいは、はての浜のイチンザの長いリーフ、あるいは飛行場のリーフ、あるいは仲里側のナンビシとか、いろいろなリーフに囲まれている。本当に因果関係が何かというのは実際に誰も分からないと思います。これを証明しようたって証明できない。私は見たといっても因果関係にはならないです実際に。

例えば、先ほど申しましたとおり、台風がきて塩害が発生しなかった場合は台風が雨をもってきて、台風のあとに雨を降らしたということもあります。台風がくる度に塩害というのは最近の傾向で、雨をもつてこない台風が多いということも考えられます。あながちコンクリート護岸がすべて塩害の元凶というのは、そこらへんは分からない部分があるということ。それで私は先ほどから、県に行ったときも、やはり塩害で農作物が枯れているのはコンクリート護岸の塩害が原因だという因果関係、説明できる資料、これができないから我々も苦慮しているわけです。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

やっぱり頼りにならないですよ。本当ですよ。確かに自然の岩とかリーフから弾きかえって飛ぶ塩水もあります。ありますがこれは限られている。そういうことを私は現場へ行って何度も見てきました。写真はだいぶ失敗してきましたけれども。そういうような現況も見てきました。これも詳しくは次回の定例会で、また再質問やりますけれども。

それから、私が昨年の9月定例会で質問した環境保全のためのモデルケースとしてウラジ川河畔林設置条例の制定と赤土流出防止のための対策はどうなっているか。また今年9月の定例会では赤土が流れていた畑の買い上げはどうなっているのか。更に無断と思われる2カ所の耕作地の対策はどうなっているのかを質問してきました。その結果について伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

前に質問した箇所があっているどうか確認できませんが、ウラジ川の上流の畑2カ所を担当者に調査させて写真を撮らしました。写真を見ながら報告も聞いて、この畑から流れている形跡はないという報告でした。その後実際にその場所を確認してみましたら、やはり流れていないということで、その畑の主とも話をしました。その畑の主がちょうどサトウキビの管理中だったんですが、この畑は何十年も前から自分たちがそこでやっていて、その場所は自分たちがやっている間は赤土が流れるということはないということで、実際流れている形跡はありませんでした。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

真逆のことを言っている。私も調べてきました。しかし皆さん方と総務課と建設課で全く縦割りの回答しかしていません。なんで三者合同でやって対応をどうするのかということを決めないんですか。町長、そのへんのところ調整してみてください。

時間がありませんので、次にT P Pの問題

について、交渉参加反対については、これをぜひ継続してください。心変わりがないようお願いをいたします。これについては、T P P対象24項目のうち農業ではB S Eとか遺伝子組み換え問題、国民健康保険制度では医療費が低額か高額かで差別対応することは許されないこと。日本の現在の原則自己負担3割、保険7割という制度では、高額医療をカバーすることは無理だとしております。

また、I S D S条項の付加問題についてもいろいろ討議すべき問題があるのに、それができないということですが、その件について町長、担当課長でもいいです、答えてもらいたい。

(宇江原総清議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

先ほどご指摘のございました総務課、産業振興課、建設課の連携の問題については、宇江原議員のご質問の場所と、こちらが受け取った場所と当たっているか定かじゃありませんので、しっかりとその現場を確認して、次の議会でしっかり対応できるようにします。

○ 議長 喜久里猛

これで宇江原総清議員の質問を終わります。

次に、棚原哲也議員の発言を許します。

(棚原哲也議員登壇)

○ 1番 棚原哲也議員

1番棚原哲也でございます。私の方から4点ほど質問いたします。まず、はじめに、生活路及び災害発生時等における避難経路としての道路の早急な整備を。謝名堂南兼区及び宇比嘉から字イーフ間の土地は海拔0m地帯

となっている。台風襲来時や大雨と大潮が
ち合う時には謝名堂川側から久米アイランド
側の道路まで8本の農道すべてが冠水して人
や車の通行が出来なくなることが度々起きて
いる。早急に道路の嵩上げと歩道の整備が必
要だと思うが計画を問う。

2点目、宇泊から奥武島間の海中に設置さ
れている沖縄電力所有の、送電施設の撤去を、
又海岸のコンクリート片の撤去を早急にせ
よ。

指摘しているコンクリート支柱及び送電線
については、海中道路の拡幅工事の期間中の
臨時的な仮施設として設置されたものでは
ある。道路整備が完了し、送電管も橋梁にそ
って設置完了して、海中に林立しているコ
ンクリート柱は無用の長物であり、景観上も
見苦しい状況である。早期撤去を所有者に求
める必要があると思うが。

又、3月定例会で質問したイーフB&G施
設東方海岸に設置されているコンクリート片
について、地元より要望があり、消波ブロ
ック代わりに設置したとしている。しかし、
外側に護岸及び防風林帯も整備されていて
不用のものであり、景観上からも見苦し
く早期に撤去する必要がある。前回の答
弁では予算も含め検討するとしているが、
予算確保はできていないのか。

次に、真謝地先の深層水関連企業用地の
活用状況について問う。深層水関連企業
用地は一次分譲用地に5社が参入していた
が2社が撤退し、現在は3社のみが営業中
である。そのうち1社は、2次分譲用地に
施設の増設をしている。そのほか2次分
譲用地に製塩工場が1社参入しているが、
ほとんど稼働していない状況にあり、多
くの遊休用地が見受けら

れる。町として雇用確保のため、進出企
業の誘致活動を積極的に行っているか。又、
現在何社の企業予定があるか伺いたい。

高速船導入に向けて検討を急ぐ必要があ
ると思うが。観光客など島外からの入域者
が減少し、観光関連事業者が厳しい経営を
強いられている。県内の各離島で誘客競争
に拍車がかかるなか、久米島の航空路線は
単独路線のため、来島者は高額な渡航費
用負担を強いられている。今後も航空運賃
の低減は見込めない。観光客や島外在住
の島出身者の里帰り等、多くの人に来島
してもらうためには、空路の半額程度で移
動可能な海路の高速船導入を急ぐ必要があ
ると思う。検討委員の人選はしたもの
の委嘱状交付も未だなされておらず、執
行部の取組姿勢が問われると思うが、ど
う考えるか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

1番棚原哲也議員の質問にお答えいたし
ます。冠水する道路についてですけれど、
質問にあります地域については、地域の住
民からも冠水対策については何度も要請
がありました。町としてもその対策につい
て色々と検討はしましたが抜本的な解決
方法を見いだせず現状のままになって
います。棚原議員の提案がある様に道
路高の変更による改善策なども検討しま
したが、単に道路高を上げた場合に周
囲の農地への乗り入れに支障を来す等々
がありこの案も断念した経緯もあります。

冠水原因についてはこの地域一帯の降
水の流末処理が円滑に機能しない事が
想定できます。今後、流末処理河川であ
る銭田川や謝名

堂川の整備が完了すればこの様な問題については解決できると思います。

次、送電線の撤去等について。奥武島への送電用のコンクリート柱及び送電線の撤去については、沖縄電力株式会社に問い合わせした所、次年度中に撤去する方向で準備をしているとの回答がありました。コンクリート片につきましては、環境保全課・建設課関係で撤去及び処理出来る補助事業がございませんので現在撤去及び処理の見積依頼中でございます。

真謝地先の深層水関連企業用地の活用について。現在の深層水取水量では今以上の企業誘致は厳しいと考えます。現在、海洋深層水複合利用基本調査報告に基づき企業誘致の可能性を模索しています。企業立地を促進するためには前提となる深層水取水施設の増設が必須であると考えており、実現に向けて全力で取り組んでまいります。さらに遊休用地有効活用の1つとして、今年度に建設される温度差発電実証プラントに関連した大学や民間企業の研究施設等の誘致を図りたいと考えています。

高速船導入について。当初7月から検討委員会を設置し検討する予定でしたが、7月末に県の一括交付金で船舶更新の支援が可能となる計画が示され、高速船導入の可能性があるか調整しましたが、補助対象は小規模離島（高等学校及び中核病院がない離島）が対象で、また高速船は補助対象外となり補助金が活用できない状況です。そのため検討委員会設置にはいたっておりません。しかしながら、5年以内に「フェリーニューくめしま」の更新が控えており、補助メニュー及び船種等の検討も含め導入についての議論は始めてまい

ります。

（平良朝幸町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまの答弁についての再質問を行います。まず、第1番目に、生活路線及び災害発生時等における避難経路としての道路の早急な整備について。地域の住民からも冠水対策について何度も要請がありましたとの答弁でしたが、これは安謝、イーフからの要請なのか、又は農地が長時間冠水するために地域に農地を所有している地権者からの要請もあったのか、お伺いしたいと思います。

道路のかさ上げによる改善策の提案について、農地の乗り入れに支障を来すため断念したとしているが、この地域の農地の奥行きは約50メートルございます。道路をいつも冠水する50、60センチ程度かさ上げしたとしても緩やかな勾配になり、畑に若干の盛り土をすることで乗り入れに対する策は改善可能だと思いますが、どう考えるか。

また、冠水原因が流末処理が円滑に機能しないことを想定していて、銭田川や謝名堂川の整備が完了すれば冠水対策が解決できているが、大潮のときには海水が両河川とも中流域まで流入するため、この地域用地の全体のかさ上げをしないと河川の改修では冠水対策は解決できないと思うが、どうか。

歩道整備についての答弁がないが、イーフ地区はアパート等の建築に伴い、児童生徒数が年々増加している地域であり、総合グラウンドもあり少年野球等の児童も往来しているが、小学校、中学校の児童生徒は謝名堂川河川沿いの歩道を利用して通学等をしている

が、特に雨天時や夕方から夜間等の帰宅時には防犯灯のある歩道の早期整備が必要だと思われる。これについての答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

1点目の要望はイーフ地域なのか地域の農家の皆さんからかということですが、イーフ地域から要望が何度もございました。

続きまして、現道路高を50か60センチぐらい上げて、農地が奥深いのでスロープをつけてということなんですけど、実際、農家の皆さんとはそういう話はしていないんですけど、そういうことが可能であれば、それはそれとしてやるんですけども、ただ、50センチという高さからすれば、かなりの農地が潰れる可能性があるんです。部分的での法でとなればそれは少々の潰れ地で済まされるんですけど、全体的にスロープをつけて勾配を緩くして法でやるとなると、かなりの面積が潰れるということですので、農家の皆さんがそれでもオッケーするのか。そうした場合、耕耘機とかトラクターの乗り入れが、現状よりは危険性を増すということもありますので、そのへんは地域の農家の皆さんとも相談しながら、可能であればそういう方法もとりたいと思っております。

続きまして、河川整備による、結果によって現在の冠水対策になるかどうかということなんですけれども、銭田川にしても、次年度から謝名堂川の調査も入って整備に向けて業務を進めるんですけども、目的は現在の冠水をなくするという目的でやっていますので、県の調査においては、謝名堂川にしても銭田川にしても整備することによって現在の

対策はやるという目的でやっております。

続きまして、歩道整備ですが、現在、イーフ比嘉間を通っている道路は農道なんです。基本的に農道の中においては歩道は設置しません。基幹農道であればつけるんですが一般の農道には歩道はつけられない状況です。全くつけられないかといえそうではないんですけど、ただ、何カ年か前に要望があって歩道を検討したんです。そうしたら一部の方から、畑地への乗り入れが困難になるという部分もあって、その話の途中から立ち消えになったということもございます。

まずは先ほどの道路高の整備と、この歩道の整備については、農地をそこで持っている方々の同意がないとなかなか難しいということもございますので、今後そのへん含めて農家の皆さんとも話をしながらできるかどうか検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまの道路のかさ上げについてでございますが、この地域について土地改良が済んで当初はほぼ平坦な土地であって、その後、南兼区原地域については30年ほど経過していると思っておりますけれども、ほとんど農地に個人個人で土を、土地改良のために、土地の地盤改良のために土を入れて、奥の方に斜めに傾斜をつけてやっていると、そういう状況があります。これは道路だけ上げた場合には農地への乗り入れが不便になって、農家としては厳しいという意見が出るとは思いますが、道路をかさ上げた場合には歩道に面した農道も含めて土を入れていっしょに整備していくと、そういう考えで地権者は説得して

いかないとなかなかこれはできないものかと思ひます。現状を見ましてもだいぶ道路と同じ高さになっている畑もあります。また道路よりだいぶ畑地が低い地域もあります。これを一括で、この8本の道路を全部やってほしいという意味ではありません。1本か2本の道路をそういうかたちで改良すれば、震災があつた場合の避難道としてもつかえる、冠水対策も十分にできるんじゃないかなというこゝでの質問でございます。これについて課長の出来る可能性があるかどうかの回答をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

全く可能性はないとは言えないんですけれども、どうしても個人の財産を潰すわけですから、第一義的には個人の了解を得ないといけないというのがございますので、そのへんは地域の方々といろいろ話し合いをしながら意見交換をしながらやっていければと思ひつています。ただ、道路も農地もいっきに上げるというのは莫大な費用がかかるんです。それは何とか公共事業を、国、県の補助事業をもってこないと町単独では難しいという部分がございます。いろいろな補助事業メニューもございまして、そのへんはいろいろ調査しながら何とか対応していきたいと思ひつております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

冠水原因ということで、流末処理が円滑にできるように銭田川、謝名堂川を改修して、イーフ地区の冠水対策、そのために今年から

はなくめの前からの1本しかないヒューム管が入っている、マリンテラスの横にもう1本入れてということ、住宅地域の冠水は一部改善されるものかと思ひますけれども、この農地も含めて全体的な冠水については謝名堂川、銭田川の間、この一帯が海拔0メートル地帯ということで、先ほど説明しましたように、大潮の場合は仲里小学校の付近まで海水が逆流していくと。そうするとやっぱり干潮時間帯にむけての長時間、農地も含めて冠水する時間帯が非常に長くなると、河川を拡幅したとか、掘り下げて河川改修してもこれは改善できないものじゃないかと思ひますけれども、県の調査が入ってそれをやることなんですが、地元として、県からこう言われたからそうかということではなくて、こちらの意見としてもそういう提案もして、改善に向けてやっていくべきじゃないかと思ひつていますけれども。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

謝名堂川の改修については、これまでも建設課と一緒に氾濫したときの写真とかいろいろなものを持って県に要請をしてまいりました。当然、県としては氾濫の原因をちゃんと調査してやると思ひます。

イーフに行く道路については、もし可能性が一番高いのであれば、その謝名堂川に平行して通る道路、道路が幹線道路として、もう1つは久米アイランドの道路というふう活用できるんじゃないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

それから、歩道について先ほど質問いたしました。謝名堂川河川改修、これも予定されていますけれども、やっぱり河川のそばに歩道を整備するというのは子どもたち、小学生の通学路としては非常に危険性があるということで、2本目の道路か3本目の道路、謝名堂川から、そこらへんを検討して整備した方がいいんじゃないかと思っています。

それと、歩道整備する場合には道路の西側に整備しないと、道路の東側に整備した場合には、サトウキビが倒れるのが全部西側へ倒れます。これは久米アイランドの前の通りを見ても分かりますが、サトウキビが歩道に倒れて歩道の用をなしていないということもありますので、その歩道整備の場所と、やる場合の歩道の設置位置、そこらへんも十二分に検討してやってもらいたいと思います。この件については以上でございます。

2点目の字泊から奥武島間の海中に設置されているコン柱とコンクリート片の撤去についてでございますが、次年度中に撤去する準備を沖電の方で進めているとのことでございますが、私の方でも南部農林土木事務所に確認しましたら、コン柱の設置の占用許可が次年度25年の3月末までは取られているということでありますので、それ以降はそういう許可を、南部農林土木の方にも行政の方からも要請して、撤去という方針が決まっていますので、許可も3月末で打ち切って次年度については撤去してもらおうという方向で進めてもらいたいと思いますけれども。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

この件に関して、いろいろ話を伺ったんで

すけれども、奥武島1号線に電線に移した時点で彼らとしては即やりたかったらしいんです。撤去に関してですね。ところが重機が入らない。奥武島側からすると重機は入るんですが泊側から重機が入らないということで、いろいろと検討はこれまでしてきたようです。そういう中でこういう質問があるとは想定していなかったということで、早急にその対策を立てたい。

次年度中という話ではあるんですが、出来るだけ早く撤去したいということで回答がきていましたので、おそらくあと1年も待たない状況で撤去すると思います。

○ 議長 喜久里猛

1番 棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

今のコンクリート柱、それと送電線の撤去についてでございますが、これについては私が漁協に在任中に設置させてほしいという要請が沖電のほうからありまして、海中道路の工事が終わって橋梁から送電線を通した後は速やかに撤去するという約束をして許可を与えている、そういう経緯もありますので、ぜひ次年度中には撤去してもらおうように行政の方からの要請方よろしくお願ひしたいと思います。

次に、深層水関連事業用地の活用状況についてでございます。答弁で現在の水量では今以上の企業誘致は厳しいとしながらも、深層水複合利用調査報告に基づき企業誘致の可能性を模索しているとしているが、多くの企業誘致が可能だということで2次企業立地用地として確保されていた漁業後継者用住宅用地の7割強も町からの要請で漁協が譲歩して、この用地についても整備してあるが、見積も

りが企業用地誘致の見積もりが全然進んでいないということで、この見積もりが甘かったという考えはないのか、お伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの質問ですが、企業の誘致についてはやはり企業用地は確保してあるんですが、その企業を誘致するための深層水の量がどうしても足りないという現状があります。そのために深層水複合利用基本調査を実施しているんな可能性を探っています。現在、誘致の可能性といいますか、ぜひ久米島に進出したいという企業も2社ほどあるんですが、1つは水産養殖関係で県の研究所の方にいろいろ打診があるようです。あと1つは、深層水を使って藻を育てると。その藻をどうするかというと、藻から石油を取り出すという研究で、これは大手自動車部品メーカーからそういった打診が入っています。徐々にではありますがそういった企業誘致は複合利用深層水利用の施設の整備が行われたあとにはいろいろ弾みが付いてくるかと思えます。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

企業立地を促進するには取水施設の増設が必要不可欠であるというただいまの答弁であります。海洋温度差発電施設で取水利用したあとの深層水を想定しているのか。そうであれば取水施設の増設について何年後を見込んでいるのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの質問で、海洋温度差発電に利用した後の水を使うのかという質問だということで聞いていますが、10万トンの取水を目標にしまして、やはりその10万トンの計画では1メガワットの発電を想定しています。その10万トン全部使わないと1メガワット発電できないということですが、発電後は全て利用ということで水産、農業分野、あるいは工業分野等に利用する計画をしています。

ただ、何年後に、それが実現するかということになるとやはり事業規模が数10億円から100億前後になると予想されています。将来にわたり島が繁栄していけるかどうか、また島が生き残っていけるかをかけた巨大プロジェクトになりますので、実現させるために、それにふさわしい態勢で臨んでいきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま答弁がございましたが、遊休地の活用では温度差発電実証試験プラントに関連した大学や民間企業の研究施設の誘致を図りたいと先ほど町長の答弁でございましたが、今年設置されるプラントについては、大学や民間企業の研究の結果、製作された施設を設置試験するもので、新たな大学や民間の研究施設が設置可能だと考えられているのか、そういうオファーもあるのかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

この温度差発電の施設ですが、実際、沖縄

県が実証事業の主体になるんですが、研究分野ということで沖縄県が純粋に研究に携わるわけではなくて、佐賀大学と連携してエネルギー関連の機器を製造する企業とか、そういったところが活用しながら実験の事業を進めていきますので、それに関連した大学企業の研究機関がいずれは久米島町に入って研究拠点を設けるといような想定をしております。

また先ほど説明した深層水を活用して藻を栽培して藻から石油を取り出すという事業も大手自動車部品メーカーの研究機関ということになります。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

大学や民間企業の研究機関の誘致については何年後ぐらいにできるとか、そういう想定はされていないわけですね。将来的なそうあるだろうという考え方ですか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

やはり取水施設の増、取水量の増が実現できなければそういったものも困難になると考えています。ただ、水が足りないから増設してほしいだけでは、いつまでたっても出来ないというふうに考えています。そのための基本調査を実施したわけですから、いろいろな発電も含めて海洋エネルギー利用分野などの新しい要素も加えながら戦略的に展開をはかっていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

今年度実施予定されている温度差発電の実証試験について、これは何年間をめどとして実証試験をすることになっていきますでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

実証事業の基幹は25、26、27の3年間です。その間に国の事業でやっている温度差発電のエネルギー関係の研究分野といいますか熱交換器というものを、いま国の方でも補助事業で研究している最中で、その事業も県の事業と合体するという予定になっています。3年間ということでご理解ください。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次に、高速船導入に向けての検討について。先ほどの答弁の中で7月末に県の一括交付金で小規模離島の船舶更新の支援ができる計画が示され、調整したら高速船は対象外で補助金の活用ができないため、検討委員会の設置に至っていないとしていますが、これについての提案ですが、先ほど同僚議員から航空機を買って運航したらどうかという提案もありましたが、この一括交付金で船舶更新の支援をするという事業は、新造船をつくる、または現在使用している船舶の購入ができると、そういうことで久米商船さんの場合は26年度フェリー琉球の購入を計画に入っていると思いますが、これを逆に現在久米島航路を運行している会社が高速船導入を否定、賛同しないような状況であれば、県の一括交付金で船舶購入してもらって、地元久米島町で運行とかそういう方法もとれないものか。航空会社

の場合には運行するのはないというお話でしたけれども、船舶の場合には大型免許を持っている方々が60歳定年で何名もいます。そういう人たちを活用すれば船の運航については別会社を立ち上げても十分出来るんじゃないかと思いますが、そのような考え方はいかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま質問にありますように、この一括交付金を活用して船舶を導入するという要項の中で、1航路につき1度だけ更新支援を受けることができるという条件がついています。2隻が就航している航路については1隻のみ支援対象ということで、やはり導入に向けた事業費の確保が課題になってきます。実際今の航路事業者が高速船はやらないということがあって、町独自でやろうとしても2社体制になって、それがまた補助航路の要件に該当しなくなるとか、いろんなハードルがあって、こういった今後の可能性についても勉強会を催して、いろんな方策を探っていければというふうに考えています。

○ 議長 喜久里猛

1番 棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

検討委員会の設置にこれまで至っていないということで、5年以内にニュー久米島の更新が控えているために、導入について議論は始めていくとしているが、5年先を見据えて議論しては久米島の観光の立ち後れや島の活性化に大きな損失を与えると思うが、検討委員の中には先ほど申し上げましたように導入に反対の意見を持っている方もいると聞いて

います。そのために検討委員会の名称を早期導入に向けての推進検討委員会に改めて取り組む必要があるかと思いますが、これについては考え方はいかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

当初その検討会のメンバーに町の各団体の関係者とか、また運行を行う事業者も入っていましたが、やはり町全体の高速船を導入しようという考え方と、事業者側としての考え方、高速船では採算が取れないというランニングコストがかなりかかると、燃料費等でですね。そういった意見もあって高速船はちょっと否定的な考えをもっているメンバーもいて、そこで議論すべきなんではと思うが、ある程度の町としての方針を固めて事業者側もその中にあとの段階で入って議論するという方策がいいのではないかと考えて、町内の関係者だけで勉強会を催そうということにしました。

○ 議長 喜久里猛

1番 棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

勉強会を立ち上げて議論するという事なんですが、担当課の方からは去った7日頃に1回目どうかというお話もありましたけれども、年度内12月中に初回の勉強会なり検討委員会なり開く予定がありますでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

初回の勉強会については今月中旬、もう中旬に入っていますが、ということで計画しておりましたが、実際、この勉強会にお招きし

ようと考えていた、海外の造船メーカーですが、プレゼンをしてもらって、そこでいろいろ意見交換をしようということになっていたんですが、衆議院選挙が入って、その造船メーカーが本土の今検討している自治体にも呼ばれていたということで、そのまた自治体から衆議院選挙を避けて欲しいという要望があって、来月年明け1月に延期したいということで要望がありましたので、第1回の勉強会は年明けに実施したいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次に、最後の質問ですが、これについてはぜひ町長に答弁をお願いしたいと思います。町長は就任当初から高速船の導入を公約で掲げて、もう6年半も経過しております。今年の町政10周年式典及びフェリー琉球の就航式典の挨拶の中でも町民の前で高速船の導入について強調されていたと思うが、残された2期目の任期中に導入についてめどをつける考えがあるかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

高速船の導入については議員の頃からの私の夢であります。ただ、久米島においては町が船舶を持っていないということで非常にやりにくい状況、他と違って。結局、民間が船を運営して持っているという状況もありまして、これまで国交省の事業で何とかできそうだとということで、ずっとプロジェクト推進室で進めてきたんです。これが一括交付金化ということが我々にとって非常にマイナスになったということで、この一括交付金化という

のは県が例の高校がない、中核病院がない、小さな離島に対しての船舶購入に限定したわけです。そうなったときに、また事業メニューを一からやり直すという非常に変遷があつてこれできました。しかしながら、やっぱりこれからも導入については積極的に取り組んでまいりたいと考えております。時期は明確にできないんですが、ただ我々が30億、40億円ともいわれる船をどうやって買うか知恵を絞らないといけないという部分もありますので、時期は明確にできないんですが、これからも積極的に取り組んでいきたいということでもあります。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

最後に、6月議会で検討委員会を立ち上げるということで半年経過しておりますが、先ほどプロジェクト推進室長からも話がありましたように、まずは島内の委員に選任された方々で勉強会をとということですが、こういう委員会については選任された場合には早めに町長からの委嘱状を交付して、その後に勉強会なり、検討会なりを開催するべきじゃないかと思っておりますけれども、それについてお伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

6月の議会で検討会を立ち上げて委嘱状を交付してということで、いま委員の選任まで、打診までして内諾を得ながら委嘱に至っていないということは、この場を借りてお詫びを申し上げます。仕切り直しということで、庁内の意思を固めて早めに、町民としてはこう

いうふうを考えているということを早めにま
とめて、実現に向けていきたいと考えており
ます。

○ 議長 喜久里猛

これで1番棚原哲 也議員の一般質問
を終わります。

以上で一般質問は終了しました。

本日はこれで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午後4時47分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号10番） 饒平名 智 弘

署名議員（議席番号11番） 山 里 昌 輝

平成24年（2012年）

第9回久米島町議会定例会

2日目

12月13日

平成24年第9回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成24年12月13日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	12月13日 午前10時35分	議長	喜久里 猛
	散会	12月13日 午後2時29分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	12番	仲村 昌慧	13番	玉城 安雄
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄		
	書記	大城 良乃		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	盛本 實	
総務課長	仲村渠 一男	産業振興課長	平良 朝幸	
町民課長	真栄平 建正	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長代理	大田 喜秀	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	仲地 泰			

平成24年 第9回久米島町議会定例会

議事日程 〔第2号〕
平成24年12月13日（木）
午前10時35分 開 会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	103 p
第2	議案第44号	平成24年度久米島町一般会計補正予算(第4号)について	103 p
第3	議案第45号	平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	120 p
第4	議案第46号	平成24年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)について	120 p
第5	議案第47号	平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	121 p
第6	議案第48号	久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	122 p
第7	議案第49号	久米島町営住宅条例の一部を改正する条例について	123 p
第8	議案第50号	久米島町営住宅等の整備基準を定める条例について	124 p
第9	議案第51号	久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例について	125 p
第10	議案第52号	久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例について	132 p
第11	議案第53号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議について	133 p
第12	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	134 p
		閉会	135p

(午前 10時35分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、12番仲村昌慧議員、13番玉城安雄議員を指名します。

日程第2 平成24年度久米島町一般会計補正予算(第4号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第2、議案第44号、平成24年度久米島町一般会計補正予算(第4号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。それでは、議案第47号、平成24年度久米島町一般会計補正予算(第4号)の概要について申し上げます。

予算書の1ページをお開きください。

歳入歳出それぞれ2億7千569万8千円を追加し、総額82億3千918万9千円といたします。予算書の7ページ目をお開き下さい。

歳入歳出の主な内容についてご説明いたします。歳入につきましては、国庫支出金では民生費、国庫負担金で障害者自立支援給付事業が2千33万4千円となっております。土木費

国庫補助金では事業費の増額により銭田橋整備事業に2千700万円追加します。特定防衛施設周辺調整交付金が276万4千円を追加交付がありました。衆議院議員選挙費として533万1千円を計上しております。

予算書の8ページ目になります。県支出金では沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業に356万5千円を計上しております。また緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業が599万円となっております。県補助金の久米島縦覧道路整備事業は国庫補助金から県補助金へ組み替えを行い2千800万円ちょうどを計上しております。

9ページ目に入ります。雑入ではホテルドームを含む台風災害による復旧費として全国自治協会建物災害共済保険料に742万5千円を計上しております。

町債では総務債の合併特例債で久米島町役場庁舎長寿命化対策事業に1億1千190万円を計上しております。過疎債ソフト分事業が7千500万円を計上しております。その他事業費の減により町債が、それぞれ減額補正となっております。

続きまして11ページ目をお開き下さい。歳出に移ります。主な内容につきましては、総務管理費で久米島町役場仲里庁舎機能高度化事業に1億1千781万7千円を計上しております。

12ページ目に入ります。真泊ターミナル補修工事及び下水道接続工事に1千343万3千円を計上しております。沖縄振興一括交付金では県担当課と調整を継続しているため年度途中ではありますが、事業費にそれぞれの変更が生じております。

予算書の19ページをお開き下さい。衛生費

ではクリーンセンター費の修繕費が施設の老朽化のため1千281万3千円を計上しております。

続きまして22ページ、商工費では沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減事業に200万円を計上しております。

次の23ページをお開き下さい。土木費の道路費では久米島町道路台帳デジタル化事業委託料に3千472万4千円を計上しております。また、道路新設改良費では銭田橋整備事業は事業費の増額のため3千65万円を追加計上しております。下水道事業費では特別会計の繰出金として683万7千円を計上しております。

予算書の26ページをお開き下さい。教育費では、奨学金貸付基金に526万6千円を計上しております。また学校施設の老朽化により修繕費が小学校費で8万2千円。

27ページ目になりますが、中学校費では、448万8千円となっております。

続きまして予算書の29ページをお開き下さい。保健体育施設費では久米島ホテルドームが台風災害による屋根の修繕費として1千172万7千円を計上しております。災害復旧事業では農林水産施設復旧費がそれぞれ増額計上となっております。また土木施設災害復旧費では事業費の減により2千379万7千円を計上しております。

30ページ目になりますが、財源調整分として予備費を2千597万5千円を減額補正しております。以上が、平成24年度久米島町一般会計補正予算（第4号）の主な概要となっております。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

3点ほど26ページの教育費の中で9節の費用弁償島前高校講師派遣とありますが、これ内容をちょっと聞かせてください。

2点目に奨学貸付基金とあるんですが、これは育英会が名称変わったのか、その奨学金の内容聞かせてください。

それとオーランドの31ページの限度額のところ金融機関が返済を受けられなかった貸付債権の元利合計金額とありますが、金額が把握できていませんので、その金額いくらかその3点お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの幸地議員の質問にお答えします。まず第1点目の費用弁償、島前高校講師派遣費についてですが、今、久米島高校の魅力化づくり等に関しまして、いろいろ検討しています。その中で以前に島前高校を視察研修してまいりました。そこでの取り組みが素晴らしい取り組みがされているということで、向こうの指導主事を招いて島前高校の取り組みについてを学びたいということで計上しています。

2点目の町奨学金についてですが、町奨学金は前の育英資金が昨年度、8月に条例改正されまして、久米島町奨学金貸付基金に変わ

っています。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

31ページの債務負担行為ですが、株式会社オーランド借入金に関する損失補償として現在金融機関に残っている借入残高5千万円プラス運転資金2千万円合わせて7千万円を予定しております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

まず1点目、島前高校から指導主事が見えるんですが、どういった方々を対象に講演やりますか。例えば、今、組織されている、久米島高校存続委員会ありますね。その方々とも話し合いが持たれるのかどうか。

それとこの債務補償の金額は聞いたんですが、この契約はいつまでなのか、これもなかなか見えてこないものですからお願いします。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

これにつきましては、うちのほうで予定していますのは総務課の職員研修と絡めて2名ほど呼べたらと思っています。その中で向こうの社会教育主事のほうを招いて、島前高校の取組についてを予定しております。対象としては教職員とか、あとは農業とか、漁業の関係者、それから観光そして久米島高校の先生方、あとは議員の皆様含めたかたちでの講演的形式でといま考えています。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

契約の期間なんですけど、今現在、金融機関と調整を進めているところでございます、年明け1月に契約をして償還期間は10年間を予定しております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

島前高校からせっかく見えますので、今、久米島高校の園芸科存続についていろいろ委員会を立ち上げてやっていますが、その皆さんも一緒に参加をさせたらどうかと、今そこでいろいろ話し合いをしているんですが、なかなか方法とか、方向性だとか見いだせてないんですね。ですから良い機会ですので、ぜひ一緒に講演会参加をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまありましたように教育委員会としても島前高校の取組みについて久米島高校を存続させる会が一生懸命やっていますので、その方々も招いて一緒に連携を取りながら対応していきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

3点ほど伺います。総務管理費の工事請負費、真泊ターミナル補修工事についてなんですけど、担当が何処なのか定かじゃない部分があります。これは早ければ年明けになりますか聞くとところによりますと月に102,000個か手作りで緊急に対応しなければいけない

可能性が出てきていると、今見積合わせの段階でして、となると日量3,000個あまり、これ手作業になるわけですが、雇用の問題も含めてターミナルの整備は緊急の課題ですので担当課がもし決まっておれば施行担当課、建設課になるのか、または総務課なのか、それともプロジェクトか、ここは明確にして早めに取り組んでいただきたいなと思っております。その件について担当課が私だと思われる方は早めに対応していただきたいと思っております。

それから福祉課長、17ページの障害者福祉費委託料上げたかと思ったら取り下げ、上げたかと思ったらまた取り下げると、この久米島町福祉センター建設事業の委託料が今回も補正減になっているわけですが、私が申すまでもなく福祉課長は障害者の今の置かれている環境は強く認識しているはずですが、どんどん後退してきていると、このままではこれも急いでやらなければいけない、むしろ我々より先に環境整備をして良い気持ちで、この3障害者の皆さんが日常の業務に邁進しなければいけない中にありながら、なぜこれが遅れているのか、今回また補正で減になったのか、そこを伺いたいなと思っております。

それから最後にもう1点、これは予算は些細な額なんです、27ページの学校管理費の備品購入費なんです、私、実は教育委員会に再三申し上げてきました。一例を上げますと大岳小学校少年野球が、夕方まで毎日のように練習をしておるわけですが、照明が欠落する球が切れる、そういった状況の中で暗い中でやっていて非常に危険度が高まってきております。今回の補正で大岳小学校の照明も入っているのかどうか。そこをお伺いしたい

と思います。以上3点よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

まず、真泊ターミナルの補修の件なんです、現在、総務課のほうで管理を担当してまですので、総務課がその補修工事を執行することになります。補正予算成立後速やかに着手できるようにできるだけ早めに終わらせることができるように取り組んでまいります。

大まかな内容としては、現在、屋根の亀裂が入っていますので、その防水工事とあと合わせて外壁の塗装、合わせてまたサッシ回りの防水、そして一部タイルとか、建具の不具合のところがありますので、そういった物の修理も含めております。いずれにせよ早めに着工して完成させることができるように取り組んでまいります。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

福祉センターの減ということで質問ありますのでお答えします。2カ年にわたって、計上してまた今回減ということで担当課としては早急に整備したいということでやっていますが、補助事業が対応できないということがありまして、大きな問題は財政なんです。なぜかということで、今学校の統廃合の跡施設、それから登記所の後の施設そういう今ある施設を何とか活用できないかというふうな相談があつて、今ある地域支援センターさくらの部分については、そういう施設を活用しても可能かなということで、今回の減というものに同意というか、課として十分な整備ができれば当面はいいんじゃないかなという思

いで減になっています。あとは財政問題ですのであとは総務課の方で答えてください。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

福祉センターの建設につきましては、当初障害者の作業所、現在、保健所と非常に厳しい環境下でいろいろ頑張っておりますが、それが緊急に必要なということで当初は大田の老人福祉センターの側に500㎡ぐらいで合併特例債を活用して単独でやろうということでやってきましたが、あと防災対策、津波の問題とかがあって、そこはあまり適当ではないということになりまして、現在の仲里の改善センターの跡地にという話に変わってきました、それと規模が当初財政と調整した500㎡が700㎡、900㎡と規模が大きくなってきて、福祉センターとして単独事業で2億5千万、非常に厳しいと、いろんな起債の条件等も勘案しまして、厳しいというのが現状でございます。

それから取り敢えず今回の補正を取り下げるにあたっては、まず福祉センターとしては非常に無理です。難しいところがあるんですが、コミュニティーセンターとして防衛補助を使っての事業の可能性が出てきましたので、今その防衛補助を使ってコミュニティーセンターとして建設をする方向を調整を進めております。

それからコミュニティーセンターについて基本的には基準面積というのがあって500㎡ぐらいなんです。例えば比嘉の公民館もこの規模が出ていますので、それとの組み合わせとか、そういった方法を使ってちょっと考えていきたいと思っております。基本的には補

助事業を使ってやる方向で進めてまいります。当分の課題としては、その作業所の方が当分の課題になりますが、作業所については、先ほど福祉課長が答弁がありました学校等の空き地、空き室の利用も含めて、あと現在、法務局の跡、儀間のそれを総合事務局との払い下げの交渉をしておりますので、作業所として、もしその払い下げが上手くいけば、その1階部分が非常に適地じゃないかなと思っております。また建物もそんなに古くはございませんので、ちょっとした改造で今のよりかなり良い環境で障害者の作業所として機能するのではないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

大岳小学校の照明の件については、再三ご指摘いただいております。ただあえて補修していないというのはありますが、これにつきましては久米島町の久米島町学力向上推進委員会、そしてまた地域、家庭、学力等向上推進委員会、そしてまた沖縄県全体の課題として小学校によるクラブ活動のあり方が問われております。今のクラブ活動のあり方そのものが中学校生終わってまで小学校の子どもたちが運動場で照明を付けている環境があるということがありまして、これは沖縄県全体での問題として、いま危惧されているような状況がありますので、そのへん小学校の本当に照明を付けて、子どもたちが遅い時間までそれをやっていいのか、そういったこともあって、いま修理はしておりませんが、そのへんはいろいろ地域の方々のウォーキングとか、そしてまた地域の青年会あと皆さん方のそういったグラウンドを活用してのいろいろ練習等

があるわけなんです、そのへんもう少し教育委員会で、そして各クラブの監督コーチの皆さんとも話しをしながら、この件については進めていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

町長、この作業所ご覧になったことございますか。あれは中は大変な状態ですよ。私は彼らと何回か意見交換をしたこともあります。彼らとしては、その日その日が非常に精神的な不安定な状況の中で何時も活動してるわけですから、せめて行政がやってあげられるのは、良い環境の中で彼らにその日その日のノルマをこなしていただきたいと、そういう思いでおるわけなんです、今しがた総務課長から法務局の跡利用、それから学校施設の統廃合に伴う既存施設の利用等がありますが、法務局の中、面積あれこれやった場合、繋ぎはできても、そこに固定するということは不可能です。あつてはならないです。彼らには通常の業務、日常の業務だけでなく、本当に癒しの場、リラクゼーションの場というの必要です。例えばわかりやすく言えば喫茶店を置いたり、みんなで楽しく過ごせるコミュニティーの場があったりとか、そういったのも含めてやらなければいけないので私は法務局の跡利用というのはあつてはならないと思えます。

それから学校施設、何年先の話になりますか。直ぐ学校統廃合直ぐありますか。これを終えても1年2年がかりで整備しないと活用できないわけですよ。じゃあ1、2年彼らはほったらかしていいのかという決してそうあつてはならないです。だから私は総務課

長1億円の合併特例債の話もあります。場合によっては一般財源で投入してでも、これはやるべきじゃないかなと、ただ3障害の皆さんの立場にたつて、これは行政総意でもって皆さんで早めに取り組んでいただかなければ、これは立ち後れていく、後退にしか繋がりませんので、跡利用を使いましょうとか、そういうことじゃなくもっと新しいところで彼らに頑張ってもらおうと、そういう思いで福祉課長に期待しておりますので、絶対やってください。

それから教育長、今答弁ございました3点目、確かに学校によっては時間外についつい子どもたちに指導する熱気が高まって時間を忘れがちな場合もあるかもしれないんですが、基本的には先だつて教育長からお聞きしました6時半までには終えてもらうという一つの一定のルールを決めた以上は、それに従ってもらうとして、ただこの時期というのは6時半というと真っ暗です。そこで子どもたちが学校児童数が少なくなってきた関係で、高学年であれば多少危険性というのも考えて、バットを持ち出してやるはずですが、低学年も学校児童数が少ないために低学年からクラブ活動に参加していると、非常に危険な時があります。従つて暗い中ではこれは子どもたちの活動というのは非常に厳しいところがありますので、そこをしっかりと調査してやって、そのかわり時間は何時までですよ、これは各チームに通達をするぐらいして徹底してやりながら、この練習の環境整備については、早めに進めていただきたいなと思つています。福祉課長もう1回だけ答弁してください。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

3障害の皆さんに、これまでだいたい20名程度の皆さんが利用されていましたが、今現在30名ぐらい増えています。特に閉じこもっている人たちが何名かいましたので、そういう人たちにも声をかけて増えつつありますので、そういう意味で現在の施設は非常に狭くて、さった補正で少しは改築というんですかね、やりましたけれども、まだまだ狭い状態ですので、新しく環境の良いような形で整備をしたいと思います。

福祉センターというかたちで部分については総務課とも調整しながら頑張っていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

1点だけ22ページ観光費の委託料についてお聞きします。バーデハウス指定管理料として約900万ぐらいの支出がありますが、今後の経営とか、今までのもの知らなかったんですが、今日の資料を見て去年度までの入域客数もわかりました。これを診断書というんですか専門家に経営方針を作らせたと思うんですが、何年後に黒字に持っていけるか、その資料が私たちは今1年なんで議員に入ってから、そういう資料も持っていませんし、ほんとにどんな計算で黒字になるようになっているかわからない。それから役場が行政が株主だからということで、半面、経営に対する甘えとそういうのが非常にあるんじゃないかとこれは住民からもよく聞くわけですね。それで聞きたいのはまず人件費ですが、支給手当て1千942万ありますが、まず支配人ですか支

配人からあと職員、どのぐらいの給料を貰っているのか、それを教えてください。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

まず経営の状況が何年後に黒字になるかということですが、我々いままでバーデハウスの改革を進めてきて3年前の観光入域者数だったらもう黒字になってもおかしくないということですが、なんせビジター、あるいは観光客の客単価に左右される観光事業所ということで非常にここらへんは何年後ということはいいかねますが、社会情勢の変遷によってそこらへんも変わってくるということをご理解いただきたいと思います。ただ、更に経営の効率化については努めていきたいと思えます。

それと社員の給料については、ボーナス無しで33万円です。その中であとは全て臨時とアルバイトであります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

まず資料としていただきたいのは、経営診断それがあると思うんですが、これを出してもらえますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

経営診断書ではないんですが、以前に専門家を入れて、その再建計画を作って、その指導を入れたものがあります。その資料をお出ししようかと思っております。それから基本的にはバーデハウスの場合、バーデだけの取組ではなかなか難しいところがあります。例

えば久米島に入域する観光客のだいたい30%から33%ぐらいがバーデを利用しているかたちになりますので、久米島に入域する観光客全体を増やさないとバーデもそれに連動してくるというような形態になっていますので、観光振興全般的に町全体で取り組んでいかないと、なかなかバーデの経営に好転してこないような今、そういう状況になってきていますので、やっぱり町全体として観光入域客の増加に取り組んでいく、それが一番経営の改善に繋がっていくものだと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

オープン当初は医者とか、そういう医療関係の専門家がいて、モニター制度ですか、要するにここに通ったら1年後にはこうなりましたとか、半年後にこうなりました。こういうこともわかりますみたいなことだったと思うんです。ところが今聞きますと、何かそういう記録するマシンとか、故障してまったく機能してなくて、みんな良いところだよとは言うんですが、どのぐらいがどう変わっているか、それがわからないわけですよね。これは、そういうのがはっきりしないと深層水使ってこうなりました。表層水使ってこうなりましたというふうなものがわからないと、観光客とか島外にも発信できないじゃないですか、お客さん呼ぶためにもね。ただ気分的に通っている人が気分的に良いですよみたいなことは聞くんですけどね、実際どのように変わっているか、医学的に示さないと増やせないと思うんですよ。

それから、側にレストランとかも増やしていますよね、それも含めて経営がほんとに成

り立っているのかどうか、側から見ていて成り立っていないんじゃないかなと私は思うんですよレストランなども、ただそういうところも含めた経営の、もう一回事業計画の見直しもまた必要じゃないかなと思うんですけど、お願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

バーデハウスを利用している効能というのは以前に30名ぐらいの町民を使って1カ月間ぐらいいろいろな体の測定、血圧、尿酸値とかいろいろなもの測定しているデータもございます。我々が今はっきり申し上げられるのは、こう変わったというのは、このデータが科学的な根拠ということでありますけど、もう一つはバーデハウスが、今まで町民が利用する、あるいは観光客が利用する、あるいは部外者から、そこに住み着いてバーデハウスがあるが為に住み着いたという、もう何名もの人がいるという事実、これについてはホームページとか、あるいはバーデハウスのホームページに、いろいろなコメントが載っています。これで発信して、それを見てまたお客さんが来るという状況には、今なっております。

特に議員の皆さんの、例えばお父さんお母さんがやっぱり入って、杖をつけて歩いてた人が、今はもう肥料袋を担いで畑を歩き回っているという話も聞いております。

こういう効用というのは我々の町のホームページで載せたり、あるいは広報に載せたり、いろいろなことでピーアールをして、これからもバーデハウスの入館を促す方法も考えていきたいと思っております。また事業計画について

は、やはりこの2、3年厳しいということで、その厳しい世の中の状態を見ずえて、事業計画を新たにまた作っていききたいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

私の方から4点ほどお伺いします。14ページの資料の海洋深層水冷熱利用野菜栽培の実証事業ということで840万計上されておりますが、海洋深層水での野菜の栽培実証事業これについては深層水の研究所が開設して12年経過してまして、7、8年前からハウレンソウとか、そういう野菜関係については研究所で栽培したものが、地元のAコープとかに販売用として出たりして、数年前に研究実証されている事業であって、今年からですか栽培実証事業として、島民の方が何名かまた参入してやっていると思うんですけど、これは試験実証されている事業であっても本格的に農家に技術移転して直ぐにでもできる事業じゃないかなと思うんですが、これを今回840万計上されてますが必要性があるかどうかということで確認したいと思います。

それから次の15ページ、ここの中ほどに備品購入費のところに音楽で元気な島づくり事業サポート事業1千400万計上されております。この事業がどのような内容のものか、お伺いしたいと思います。それとその下のモズク加工機の加工場の機能強化事業、これモズクの加工場についても、平成12年に完成して、それから12年、年数経っていますけど、この加工場のどういうものを改良する事業なのかお伺いしたいと思います。

それとあと1点は24ページ、公園事業費の

中の備品購入費でパークゴルフ場の競技用具一式143万余り計上されておりますけれども、年明け3月にはパークゴルフ場がオープンするということでの準備だと思っておりますが、この競技用具の数ですね、団体客等も入ると思いますので、だいたい数があると思っておりますが、一式いくらぐらいで数を何十組の想定なのか、その説明をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

1つ目の質問、野菜栽培実証事業の件についてお答えします。これまで深層水研究所の方で、土壌を冷やして冷熱を利用したハウレンソウの栽培実証ということでいろいろスーパーに出したり、流通も含めた実証を行っているわけなんですけど、既にこれは実証されたということの解釈でよろしいと思います。今回、上げている野菜栽培実証事業は、完全密閉型のLEDとか蛍光灯とか、そういった光の装置を利用した完全密閉型のそういった植物野菜の実証栽培になります。現在のは太陽光もそして土を深層水で冷やすという方法なんですけど、今回上げているのは完全密閉型ということでご理解いただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

音楽で元気な島づくり事業サポート事業がございまして、これにつきましては今、久米島内で久米島西中学校、そして久米島高校の吹奏学部が一生懸命頑張っております。これは新年会から去った産業祭りのいろんな行事があるわけなんですけど、そういった場所において吹奏学部が積極的に演奏し島を盛り上げ

ております。

今回、久米島西中学校の教員だった上江洲智三先生を高校の魅力ある学校づくりの一貫として久米島高校の方へ交換交流をいたしました。これは義務教から県立ということで、交流計画の中の一つなんです、それについても魅力ある学校づくりという位置付けで吹奏学部の活性化ということになっております。そして今の吹奏学部の現状なんです、ほとんど個人、もしくは先生の楽器を借りて演奏しているような状況がありまして、まだまだ楽器数が絶対的に足りないような状況がございます。これは高校生、中学生ひいては小学校の高学年からそういったかたちでの吹奏学部に親しめるような環境作りをやって、これからもっともっと高校、それから中学校への吹奏学部をとおしての活性化づくりということでの今回の備品購入ということになっております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

モズク加工場機能強化事業についてですが、これについては今あるモズク加工場がほとんど老朽化と耐用年数が過ぎて老朽化して機能していないということで今その機材のほとんど購入になります。フォークリフト2台そしてコンプレッサー1台、モズク圧送真空ポンプ2台、梱包機3台、以上の備品の購入となっております。

○ 議長 喜久里猛

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

公園事業費のパークゴルフ場の競技用具一式の内容ですが、レンタルクラブが100組、

レンタルシューズ、これメンズ用とレディース用それぞれでサイズがいろいろとあるんですが、全部含めて50組あとはボールが300個とか、オープンしてから、そのまま直ぐ使えるようないろいろ細かいところもあるんですが、そういう一式を全部揃えるということです。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

1点だけ、11ページの財産管理費の公民館の修繕があります。これは1カ所の公民館なのか複数の公民館なのか説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

公民館の改修につきましては、今回の補正予算の計上にかかる分については山里、大原、大田の3公民館を予定しています。なお改修についてはかなりの要望がございますが、やはり財政の都合上、全てに答えることはできませんが、優先順位の高い順から改修していきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

3カ所ということなんですが、金額的に何か3カ所では少ない感じがしますが、要望によって、これから修繕費は多く出すこともありますよね。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

基本的には15万円以上は町が対応するとい

うことでやっておりますので、それと一般財源で全て対応するという事は非常に厳しいです。ですから大規模な改修については、何らかの事業を見つけてきて、その事業で基本的に対応する方向で考えています。あとはどうしても緊急的にやらなければいけない事項については随時また一般財源でも対応していきたいと考えております。

常時、各区長さんから相談を受けながら、いろんな方々のバランスもございますので、そういうのを考えて対応してまいります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

12ページの久米島町役場の仲里庁舎の機能高度化事業についてであります。今日、朝の全員協議会の中で、この事業概要についての資料をいただいて議員みんなで目を通しました。この事業に対する疑問点、そしてこの特例債が適用されるかされないかまだ曖昧さが残っている状況の中で、この事業の疑問と、そして認められないという意見もでました。その中で今後、この予算が通った場合、この事業執行に対して、そしてまたこの事業について、町長どのようなお考えなのか。

そして次に、その下の交通安全の設備費の中で予算が計上されていますが、半年前に私は総務課長に、ある場所のカーブミラーの設置を要請しました。今日朝は見ていないんですが、つい最近までまだ設置されておられません。それはどうなるのか、どうなっているのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

役場庁舎の機能高度化事業につきましてはこれについてはまだ県と調整中ではありますが、この事業については県と調整しながら執行にあたっては、議会、議員のみなさんと調整しながらやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

交通安全対策費の交通安全設備69万6千円が計上されておりますが、今回の台風で歪んだり飛んだりしている所がありますので、それに対応する部分です。

あと以前に中村議員から要請がございました部分については、当初予算の分に入っております。ただ執行が現在遅れておりますが、早めに執行できるようにやってまいります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、町長の答弁がありました。県と調整して、そしてまた執行するときには、ぜひ議会と協議していただきたいなと思っております。

カーブミラーの設置について、もう半年になります。実は9月議会が終わって、直ぐでした改善センターで集まりがあって住民から阿里地区の2期工区のほうで道沿いに雑草が生えているとハブが出て非常に危険だからそこは何とかしてくれと当然ここは町管理だから町がやるべきだから12月議会までには出してくれと、いや12月議会まで待つ必要はないと直ぐ明日いきますと、担当課に直ぐやってくれと敷地内みんなやる必要ない、とにかくその部分できる所からやってくれと言ったら、直ぐ対応してやったんです。やると言っ

たのできる分は直ぐやるということが、住民の信頼を得ることになるんですよ。あの時、住民はすごくびっくりしていました。すごいですねと、だから半年待たすんですかと区長会でもそれ説明したということであったんですが、まだやっていないということはよけい不信感もたれるんですね。だから町長、全ての面において、できることは直ぐやりましょう、やってください。お願いします。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

3点質問いたします。まず1点目は14ページの方の13節の委託料のほうですが、球美の島エコアイランド化推進事業、これは635万円計上されております。そして一方では15節の工事請負費が、この球美の島緑化推進事業これが124万9千円削除されております。これは球美の島緑化推進事業というのは、やはり僕は残して島を特に緑を増やすと、特に花木これについては島には固有種の本当にすばらしい花木があります。そういったものを活用してということで、この2つの関連性これを伺いたいということです。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

最初の質問のエコアイランドの事業につきましては担当課ではございませんのでプロジェクト室長の方から答えた方がいいのかなと思っております。

下の球美の島緑化推進事業につきましては今おっしゃるとおり、その方式で進めております。工事費を減額したのは今回の工事する

場所が町有地を先に工事するために工事する面積がちょっと減少しますので、工事費を減額しているということになります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時30分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時31分)

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの球美の島緑化推進事業、そして球美の島エコアイランド事業タイトルが球美の島という冠が付いて紛らわしくなっておりますが、関連性はありません。緑化推進事業については環境保全課の方で担当してまして、名前のおり緑化推進になりますが、球美の島エコアイランドの事業についてはCO2削減とか、そういったいろいろな地球環境に負荷をかけないとか、そういった意味でLED化、街灯の防犯灯とか街灯のLED化に向けた工事がメインになる事業です。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

2点と3点目は15ページの負担金及び交付金の中の久米島町農林水産業の後継者担い手育成事業と堆肥センター利用による地力増進対策事業、それについては約300万と500万余りということで、それぞれ減額されておりますが、これどういうわけで減額されているのかということですね。

次に、22ページの委託料のバーデハウス久米島指定管理料、これについてはだいぶ私も前々から質問してきました。結局は運営が厳しいというようなかたちになっておりますが、これは例えば国の補助について、そのチ

チャラにやってくれというようなことの、ここから難しいということは分かっております。それについての交渉はやってきたことはあるのかと、例えば、チャラにしたら民間のオフィアを探して、この民営化するとかそういう方法もあるんじゃないかということをお伺いします。それをやって、それから1年間、私は様子をみよう、運営が良くなれば良いわけですが、そういうような1年間有余を与えた附帯を設けようと私自身のですよ。そういう意味で賛成はいたしますが、ぜひとも努力のあとを見せてほしいということをお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸産業振興課長。

○ 産業振興課長 平良朝幸

久米島町の農林水産業後継者担い手育成事業そして堆肥利用による地力増進対策事業についてですが、後継者担い手育成については一括交付金を使って実施しようということで取り組んだんですが、国の事業が人・農地プランという助成事業があって、これとダブルということ。この事業の採択までには至らなくて今回落とすことになりましたが、後継者育成については人・農地プランの方を活用して進めていきたいと思っております。進めながらまた町が対応できるような部分があったら、そのときに検討して進めたいと思っております。

水産業についても同じようなかたちで推進できないか今後また、これについても検討して対応していきたいと考えております。

堆肥利用についても一括交付金の事業認定までに説明ができなくてどうしても採択までに至らないということで減額することになりました。その分については一般予算で対応す

るということで、そこに組み替えております。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいまのバーデハウスの件についてですが、これについて私も就任以来ずっと努力をしております。赤字を減らすために組織の態勢の立て直しから、あるいは人件費の削減いろいろなことをやっておりますけれども、やはりもう一步届かないということがあります。これまで専門家の指導を受けたりあるいは県との調整指導を受けたり、いろいろなことをこれまでやっております。これについては宜野座村のタラソについても情報交換しながら、むこうも非常に厳しい状況だということで情報交換をしながらいろんな国の制度、これも調べてみました。議員にお願いしたりとか、いろんなやってみました。残念ながらそういう部分に関しての事業メニューが今のところ探せないという状況であります。ただ、何らかのかたちでできないかどうかというのは、これからも努力をしていくつもりであります。このバーデハウスについては常に私はこれまで就任して以来、ずっと町の借金を返すためにいろいろ努力をしてきました。私自身もただ一つ問題抱えているのがバーデハウスということで、これについてもこれから、この2、3年また見て改善されなければ議会の皆さんに相談して事後の対策についてもいろいろ指導をあおいだり、あるいは相談を受けたりしたいと思っております。それでまた皆さんと一緒に考えていこうと思っておりますので、ぜひよろしくお願ひいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいま宇江原議員からございました民営化について、まずその施設は島こん事業100%国庫補助で造られていますので、まず処分することは非常に難しいです。補助金の適用法の適用を受けますので、その本体の部分処分するということは、これは難しい、はっきり言ってできません。

あとトリートメント棟がございますよね。トリートメント棟あれは町の単独事業ですので、その借金さえ返せばそれ条例からその施設を外して普通財産にすることによって、そこだけは法律的に売却することは可能になります。そういうことで完全に民営化というのは非常に難しい状況にあるということですね。

あとは民営化した場合、これも商業ベースでいきますので、まず今の料金で町民が利用することはできなくなります。もし今の状態で町民に利用していただくには少なくとも指定管理料とか健康増進補助金は現在のとおりに、民間がやっても現在のとおりに続けなければいけないということになると思います。そこあたりも含めて、その可能性については常に追い求めていく必要があると考えております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

バーデハウスについては、僕はいろいろ法律とか、そういった規則とかあると思いますが、これに風穴を開けるぐらい皆さん方は努力すべきだなと、こういうふうに考えております。自分も個人的にカンナタラソを使って

いますが確かに良い、そういうかたちで努力をして残すようにはしていただきたい。運営も通常の状態でも黒字になるようなかたちの展開をしてほしいと思っております。

それから、産業振興課長が先ほどの件については、私は農業、漁業の後継者育成については常々から非常に大事だと思っております。これは何故かといったら、あと5年では、世界の人口が70億から80億つまり10億人増えるわけです。そこにいろいろな学者関係者とかの話では、あとあとは水の問題と食料の問題で戦争になるやもしれないこういうようなことで言っておるわけですが、久米島はその2つの条件が非常にいいわけです。水有り食料は頑張ればいくらでも自給自足あるいは得るということもできるわけです。

それからもう一つは久米島高校の園芸科の問題、これについても私は常々から園芸科を残すためには、町長、前村基金のほうを年間300万を3年間にわたって園芸科に前払い金として払いながら久米島の固有種の花木等を作らせていくと。こういうことやって後々は、この金で生徒たちの特殊免許が取れるよとこういうような手法もいいんじゃないかと。今までだったら、僕は、園芸科が転んだら、久米島高校自体が分校化するんじゃないかとそこまで心配しているわけです。何も高度な技術なところに前村基金を使うんじゃないかと、今言ったような事業項目の合わせてセットさせた上で、農業、漁業の後継者育成、特に農業、これに努めていただきたいなということで、町長のコメントを聞いて終わります。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

確かに宇江原議員がおっしゃるとおり農業、漁業の後継者育成については非常に私も大事だと思っております。今現に漁業については若い担い手が育てきている。ただ農業については、部分によっては育っているところもあるんですが、特にサトウキビとか、野菜とかそういう部分が育っていないというところに懸念を感じているわけですね。今おっしゃいましたとおり園芸科を育てていけば何とか後継者が生まれてくるんじゃないかなという期待感もございます。

ただ、前村基金については、これからその方に使うというのは、これからの検討課題としてやっていきたいということでもあります。

○ 議長 喜久里猛

5番饒平名智弘議員。

○ 5番 饒平名智弘議員

1点だけ重複しますが、15ページの音楽で元気な島づくり事業サポートを聞いたんですが、これは管理とかは久米島高校がやるんですか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

備品購入ですので、教育委員会の方で楽器そのものは教育委員会で購入します。久米島高校とは賃借契約あたりを結びまして久米島高校の音楽室の方で管理をする予定をしています。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

島の子どもたちなので事業としてはとても良いと思うんですよ。県立高校で県から予算貰ってはできなかったのか、また部活ですよ

ね、一つの部活動に対して、それだけの資金をやるべきだったのか。またそれと他の部活にもそういう要請があれば、これからも支援をするのかということ伺います。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

県立高校ということがありまして、備品の購入につきましてはいろいろ調べました。八重山あたりについても県立高校でありながら吹奏学部の備品というのが保護者、そして地域の方々のご支援により楽器購入になったというのを聞いております。そういったことでいま久米島高校が求められているのが久米島高校の活性化という位置付けにありますので、そうした場合に、野球、それからバスケット、バレーボール等のスポーツ面でも頑張っておりますが、いま久米島高校の文化系の活動が少ないということがありまして、先ほど申し上げました中学校の吹奏学部の教諭を高校のほうに張り付けをして久米島高校の活性化ということで考えておりますので、そういった面について積極的に町の方で支援しているということがございますが、ただこれから他の部活がどうなるかということにつきましては、またこれからのいろいろ人材育成を考える意味においても、皆さん方のご意見を聞きながら図っていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

これからも他の部活もやる可能性があるということですよ。せつかくたくさんのお金をかけて備品を購入していますので、先生はあと1年か2年ぐらいだと思うんですよ。心

配しているのは先生が行ったから吹奏学部ができたと思う。退職したら自然消滅する可能性があるんですよ。地域の活動として活用できるようにずっとやってほしいですね。いろんなイベントも参加しておりますので、応援はしますが、大事に使ってほしいということです。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

あと1カ年、2カ年で退職はします。本人との確約は床に伏せるまでは吹奏学部に残っていききたいという言葉、本当に吹奏学部の指導者として元気なときはずっと継続してしたいということで、今回そういった楽器購入にも至った経緯がございます。ずっと島に残って吹奏学部の指導するということでの確約は取っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

1点だけ要望なんですけど、15ページのスポーツコンベンション施設機能強化事業というのが1億1千300万円ありますね。環境保全課長に要望なんですけど、皆さんご存じのとおり久米島は昔から陸上とか盛んで全国レベルの選手も出ています。しかしながら陸上競技場とか昔から計画したり、そういうのがあって手つかずの状態なんですけど、そこで現在、久米島陸上大会というのは県大会でも全国大会でも競技場全てタータンなんで久米島にはそういう所が何もないと、久米島高校にもない本来なら久米島高校が準備してやるべきなんですけど、今現在でも1人、全国クラスの選手

がいます。そういう中学生も一生懸命陸上をしています。ぜひこのスポーツコンベンション施設機能、こういう予算を利用して多目的グラウンドでもいいですから1コースでも2コースでもいいんですよ。このタータン練習用のこういうのを設置できないかという提案ですが、どなたかお答えをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの質問ですが、実際、私も小学生とか中学生、高校生、実際に教えて、ほんとに、これが必要なのか必要じゃないのか感じたんなんですけど、特に私は必要としなくても全国大会に行ける選手は育てられると思います。実際に今あるんですよ、久米島中学にも幅跳びのタータンがございます。久米島高校にもけっこう長いタータンがあるのに使っていないだけです。そして具志川の多目的グラウンドの周囲はタータン敷かれていますので、むこうで十分スパイクを履いて練習次第ではきつい練習ができます。それを上手く活用してないだけであって、それを上手く活用すれば、まだまだ全国大会で通用する子どもたちは育つと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

多目的グラウンドの周囲はスパイクを履いて練習しても良いということになっていますか。じゃあ、そこがあるというのはあまり把握していませんでしたので、情報としてこういうのが入ってきていましたので、そういうのを利用してできないかということの提案でした。しかしながら、ぜひちゃんとしたグラ

ンドにこういうのを100mなり、練習用に整備する機会があればということで今提案しました。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

1つだけ確認させてください。29ページの臨時職員賃金ですね。パークゴルフ場の。工事前に区長会また地域説明会等で管理人は儀間、嘉手苺から採用すると話がありました。区長もまた誰かいないかという打診がありまして、この話はどうなったのかということでありますが、そのへん説明願います。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

パークゴルフ場につきましては、工事を始める前からそこは雇用は地域から雇用しますよということでいろいろ説明会もございましたと思います。現に環境保全課から儀間の区長さん嘉手苺の区長さんにも何回もお願いしました。実際、雇用しているのは、今、儀間の地域から3名雇用しております。嘉手苺の区長さんとか、役場の関係する方々にも声をかけましたが地域から推薦出てきておりませんので、出てこなかった経緯がございますので取りあえずはパークゴルフ場のある地域から優先に3名雇用しております。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

賛成、反対。

○ 12番 仲村昌慧議員

賛成。

○ 議長 喜久里猛

反対討論ありませんか。

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

議案第44号平成24年度久米島町一般会計補正（第4号）について、賛成の立場で討論します。この議案については、久米島町役場の仲里庁舎機能高度化事業については、多くの疑問とそして曖昧さがあるということで議員の多くの方から指摘がありました。これについては町長の答弁は県と調整し、そして予算執行にあたっては議会と協議をし執行していくという答弁がありました。全体的には住民福祉に支障がないように早めに、この予算を執行すべきのものと、私は本案に賛成するものであります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第44号、平成24年度久米島町一般会計補正予算（第4号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第44号、平成24年度久米島町一般会計補正予算（第4号）については、原案のとおり可決されました。

休憩します。（午前11時53分）

○ 議長 喜久里猛

再開します。（午後1時30分）

日程第3 平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

○ **議長 喜久里猛**

日程第3、議案第45号、平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ **副町長 大田治雄**

議案第45号、平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の概要について申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出の予算額にそれぞれ2千494万8千円を増額し、歳入歳出の総額を13億3千4万9千円と定めます。

2ページ目をお開きください。歳入歳出の計上概要としまして、歳入13款、繰越金において前年度剰余金ができましたので今回の補正において増額補正するものであります。

続きまして、3ページ目には入ります。歳出においては、2款保険給付費の退職被保険者等療養給付費、高額療養費が予算不足のため増額補正するものであります。以上が、平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の概要となります。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ **議長 喜久里猛**

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ **議長 喜久里猛**

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ **議長 喜久里猛**

討論なしと認めます。

これから議案第45号、平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

(全員挙手)

○ **議長 喜久里猛**

全員挙手です。従って、議案第45号、平成24年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第4 平成24年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)について

○ **議長 喜久里猛**

日程第4号、議案第46号、平成24年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ **町長 平良朝幸**

それでは、平成24年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)の概要をご説明いたします。

2ページをお開き下さい。第3次予算、収

益的支出の上限額は職員の人事移動に伴う給与手当等との減額や源水及び浄水費、排水及び給水費、総係費の増減額においては、3月までの見込みによる組替え予算額を計上しております。

3ページをお開き下さい。また4条予算資本的支出の第1項建設改良費、1目水道施設整備において施設維持管理に使用いたします。車両の新規交換に伴い199万5千円の増額、2項企業債償還金、2目企業企業債償還金において、繰上償還金147万1千円の補正予算を計上しております。4条資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額6千138万3千円は過年度分損益勘定保留留保資金6千22万3千円、消費税資本的収支調整額116万円で補填をいたします。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願いたします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第46号、平成24年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第46号、平成24年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)について、原案のとおり可決されました。

日程第5 平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第5号、議案第47号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第47号、平成24年度久米島町下水道事業会計補正予算(第3号)の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)の予算概要は歳入歳出それぞれ683万7千円を増額し、総額を3億2千33万8千円と定める。主な概要について申し上げます。

6ページをお開き下さい。歳入としましては、3款1項繰入金で683万7千円を増額となっております。

予算書の7ページに入ります。歳出としましては、下水道事業費の11節需用費の修繕費で台風17号、19号の災害による機器修繕のため331万円の増額、13節委託料でイーフ線道路改良工事に伴う下水道の蓋嵩上げ工事測量設計のため151万2千円を増額、比嘉地区の下水道未整備地区新築布設工事測量設計のため

99万8千円の増額、15節工事請負費で委託料入札残から補助事業分を組み替え、16節原材料費で、下水道真謝汚水枝線布設工事に伴う水道管切り回し資材料として、75万6千円の増額となっております。

以上が主な内容であります。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第47号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第47号、平成24年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について、原案のとおり可決されました。

日程第6 久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第6号、議案第48号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第48号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

大枠の中で左側が改正前、右側が改正後それぞれの章、条、項等について下線の引かれた箇所が今回の修正箇所になります。

それぞれのページ条文については朗読は割愛したいと思います。

最後のページに入りまして、附則としまして、この条例は平成25年4月1日から施行する。

提案理由

水道法の一部の改正に伴い布設工事、監督者が監督業務を行う水道の布設工事の基準及び資格基準水道技術管理者に関する資格基準を条例で定める必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第48号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第48号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第7 久米島町営住宅条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第7号、議案第49号、久米島町営住宅条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第49号、久米島町営住宅条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町営住宅条例の一部を次のように改正する。大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。それぞれの下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。

条文の朗読は割愛し、最後のページにおき

まして、附則としまして、施行記述はこの条例は交付の日から施行するとなります。

提案理由

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により久米島町営住宅条例の一部を改正する必要がある。また、町営住宅の維持管理上、保守点検については、町負担にて行う必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

改正後の6条(1)、さらに括弧のところ婚姻の届け出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあると、ということは事実婚も含まれるということなんですかね。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

そのとおりでございます。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第49号、久米島町営住宅条例の一部を改正する条例についてを採決しま

す。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第49号、久米島町営住宅条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後1時45分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時45分)

日程第8 久米島町営住宅等の整備基準を定める条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第8号、議案第50号、久米島町営住宅等の整備基準を定める条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第50号、久米島町営住宅等の整備基準を定める条例。

上記の議案を提出する。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町営住宅等の基準を定める条例。条文の朗読は割愛しながら説明をしたいと思えます。まず目次としまして、第1章が総則。2章が敷地の基準。3章が町営住宅等の基準になります。

総則の1章の中で第1条が趣旨。第2条が定義。第3条が健全な地域社会の形成。第4

条が良好な居住環境の確保。

次ページに入りまして、第5条が費用の縮減への配慮。

第2章として敷地の基準。第6条が位置の選定。第7条が敷地の安全等。割愛します。

3章は町営住宅等の基準。その1節の中で第8条が住棟等の基準。第9条が住宅の基準。続きまして第10条が住戸の基準。第11条が住戸内の各部。第12条が共用部分。第13条が附帯施設。

次ページを開けまして、14条が児童遊園、第15条が集会所。第16条が広場及び緑地。第17条が通路。附則この条例は交付の日から施行する。

提案理由

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により公営住宅法の一部が改正され町営住宅等の整備に関する基準の条例で規定することが必要となった。

これが、この条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

これ17条まで全部読んだんですが、街灯設置が何処にも載っていないですよ。今まで住宅を建てて入居者が入ってから、この住民とのトラブルが街灯の問題いっぱいできています。これに一つも載っていないことはどうい

うことですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

この条例は、今後町が町営住宅を整備するにあたって、この条例に基づいて整備していきますよということでございます。具体的には、今回の法令改正、公営住宅法の改正で、その公営住宅法の第5条の中に、公営住宅の整備は国土交通省令で定める基準を参酌して事業主体が条例で定める整備基準に従い行わなければならない。ということになりまして、それを受けてこの条例の制定になります。従って今後、町が町営住宅を整備するにあたって、この条例がないと整備できないということになります。

今ご指摘の件については管理運営に関することとございますので、管理運営に関することはこの条例の縛りにはならないということです。あくまでも町と入居している関係者、地域の皆さんで話し合いをして解決していくということになります。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

今までこの町営住宅に入って、住民とこの字との、町が街灯を設置するから電気料は字から取ってくれとそういう、街灯を設置する管理運営に加えていただけないでしょうかね今後の設置には。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

個別の部分につきましては、その街灯がその敷地内にあるのか、その道路を照らしてい

るのかとい部分によって変わってくるかと思っておりますので、それはご相談のところ現場を見て対応させていただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第50号、久米島町営住宅等の整備基準を定める条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第50号、久米島町営住宅等の整備基準を定める条例については、原案のとおり可決されました。

日程第9 久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第9号、議案第51号、久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第51号、久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町立学校設置条例の一部を次のように改正する。

大枠の中の備考欄をご覧になってください。改正前の欄中の表及びこれに対応する改正後の欄中の表に下線が引かれた部分が全くない場合については、当該改正表の全部を当該改正後表に改める。

附則この条例は平成26年4月1日より施行する。

提案理由

久米島町立久米島町中学校と仲里中学校の統合を行うために名称並びに位置について制定する必要があるため、地方自治法第96条第1項第1号の規定に基づき、議会の議決を求める。

これがこの条例案を提出する理由であります。ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

統廃合について、今一度、統廃合をする理由と説明をしていただきたい。これまでの経緯も含めて。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

久米島町の今子どもたちの在籍数が、小学校で548名、中学校が264名ということで、毎年毎年子どもたちの減少傾向にあります。そ

してさらにこれまで比屋定小学校の完全複式と、あと美崎小学校の1学級の複式学級があったわけなんです。今年から久米島小学校と大岳小学校の複式になるような可能性も出ております。そういったかたちで毎年毎年子どもたちが減っているような状況にありまして、今後、進みますとどうしても久米島中学校の在籍数がさらに減って、あと4、5年後には10名1クラス10名前後の今様相を呈する状況がございますので、今の久米島中学校の状況を申し上げますと、まずは人数が少ないがために、いろんな学習発表会、それからスポーツ競技あたりで編成ができないということがあります。これは去った那覇地区の中体連においても陸上競技のリレーについては参加できておりません。

そして島内の合唱コンクールにおいても久米島西中学校と仲里中学校は、それぞれ学年の合唱コーラスがあったわけなんです。久米島中学に関しましては全校生徒で1クラスという位置付けで出ました。グランプリは取ったわけなんです。沖縄本島の那覇地区において、これは出場はできても対象外ということになっております。そういったことで子どもたちの学習環境が、集団学習が、学びができないような状況があります。

そういった観点からしてもやはりこれから社会に出るためには多様な人間関係を構築していかなければなりません。

皆様方が新聞でもご覧になったかと思いますが、各離島の15の春という掲載記事がございまして、その離島の子どもたちが沖縄本島の大きい学校に行ったときにおいて一番大きなストレスを抱えているのが、集団の中において交わることができないということもござ

います。そういったことで子どもたちがいろんな人間関係を築くためには、やはりある程度の集団の中での学習ということも必要かということがございます。そういったことでこれまでの子どもたちの学習環境のあり方がいろいろな場面で今支障があるようなことがあります。

あと1つは、久米島中学の方において今3クラスというのがあって教員が7名しか配置できません。これは各クラスにおいて、増えればそれなりの配置できるんですが、7名という中において全教科、専門教科の職員が配置できないという、そういった弊害も出ております。これが仲里中学校で一緒になって一つの学校になりますと各学年2クラスという位置付けになりますので、そうなりますと13名の教員が配置できます。13名ですと、それぞれの専門教科、全てカバーできますし、あと学校で今抱えております公務分掌これもものすごい公務分掌あるわけなんです、それも一人3つ4つも抱えて大変ばたばたしているような状況がございますので、そのへんの解消もということもあります。

そういった総合的な面で子どもたちの環境学習、そして学校としての子どもたちへの指導力の発揮というものを考えた場合には、ぜひ久米島中学と仲里中学校を統廃合して、一つの新しい学校の中において、子どもたちが学ことができるのではないかとということで今回の統廃合の計画に至っているわけなんです。

これまでにつきましては、平成25年の4月から統廃合という位置付けがありましたけれども私たち教育委員会の作業遅れでだいぶご迷惑を掛けまして、議会のたびにお詫び申し

上げましたが、これにつきましても昨日も久米島中学へ呼ばれまして、これからの統廃合、ほんとに財政的な面でもう少し詳細を知りたいというのがあります。その詳細がわからないことには、やはり久米島中学の子どもたち保護者も大変不安を持っていますので、これについてはまた、後ほど町財政の方にもいろいろ相談をしながら早めに統廃合ができるようなかたちで推進を図っていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私は後で反対意見を言いますが、皆さん方、まず久米島の人口が、ここ4年間で505名減少しております。ところが75歳以上の後期高齢者の方は確か250名だったと思いますが。増えているんです。そしてこういう現象というのは今後ともまたあり得ると。言いたいの、皆さん方人口が減少した、子どもが少なくなったから統廃合しましょうと、いわゆる対症療法、風邪を引いたら風邪薬を飲ます。風邪を引かないような体力作りをどうすればいいかという根源療法をまだやっていないです。

要するに人口を増やすためには、あるいは生徒数を増やすためにはどういった施策を取らなければいけないかということ、やっていない。努力していない。

我々、議員のみんな海士町に行ってきました人口も増えました。むこうの島前高校も学校の分校と、あるいは閉校というようなこともあったんだけども増やしていったという努力をやっています。そういうような努力をしてきたかというんです。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

昨日の一般質問の方でもございましたが、美崎地区でのそういった高齢化人口ということがございまして、そういった面では久米島全体から考えたにしても、今、若いみなさんがいらっしやいません。これは一つ久米島町の雇用の場が確保できないという側面もあるわけなんです。ただ将来的に、これが海洋深層水を活用しての人口増ということも将来的に予測はできるんですが、私たちは直近の課題ということがあります。

これはどういった努力をしたかということが今お話ありますが、これはあくまで、これから増えるという可能性はではありませんが、例えば一つの例を上げますと、自衛隊の司令のほうにお願いいたしまして、自衛隊の隊員の異動があるときには、ぜひ、久米島の方に子どもたちのいる世帯をお願いしますということで申し上げております。

先だっては那覇市にいまして、今、仲村渠駐在が5名のお子さんたちがおります。今回、異動対象ということがございますが、那覇署長のほうにもお願いしまして、ぜひ、久米島の方への勤務については、那覇署の方で考えて久米島の方には単身ではなくて、そういうかたちでの世帯の職員を配置してくれということをお願いしております。

また義務教、直接、大岳小学校とか、比屋定小学校、いろんな教職員が子どもたちを連れて夫婦で久米島入って来て人数が増えているわけなんです。そういったかたちで県のほうへは教職員の人事異動についても子どもたちのいる世帯を久米島町の方へ配置してく

れということで、わずかな努力ではあるんですが、そういった活動をしておりますが、これが果たしてどうなるかというのが4月になってみないとわかりませんが、あと久米島町がもう少し活性化をして、そこで雇用の場が増えれば自ずと若い青年層が増えるし、自ずと自然発生的に子どもたちが増えるのではないかとございまして、これが見通しとして果たして、じゃあ2、3年後なのか10年後なのかというのが、私たち教育委員会の方では、そこまでは待っていただける状況ではありませんので、まずは学校を統廃合して、増えれば増えたでまた元の学校の方にもう少し整備できれば整備をして、そこでまた移ってもいいしそういったことを考えていますので、私たちもこれから頑張っていきますので、よろしく願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

今言っていることは、まさに風邪引いたら風邪薬を飲まずだけの対症療法ですよ。なんで久米島がこれだけ人口が減ってきているか生徒数が減ってきたか私に言わせれば鳥島射爆撃場を早めに返還させてくれということと飛行機等の問題があっただけ久米島射爆撃場のことがインターネットでも出ている。ブログでも出ている。そういうようなことで他のところから人が集まるかと、僕に言わせればノーですよ。

それともう一つは僕らの時代に、この自然の中で遊んだこういった自然というのがコンクリ護岸によって島全部が、長崎の軍艦島ですよ。僕、驚きましたよ。今まで飛行機で帰っていた警察現職の時に、その船で来たらこ

こは軍艦島かというようなインスピレーションもっていました。そういうようなかたちで外から久米島を見た場合には、まさに自然が破壊されて観光客も減っていく。観光客は竹富とか石垣、宮古に行く、こういうような現象がおきているんですよ。但し、久米島は直せば立ち上がる島だと僕はみています。従って、そういった今申し上げましたような根源療法をしないと、これから益々積み木崩しみたいに連鎖反応を起こして、あちこちの中学校1本とか、小学校1本とか久米島高校分校とか、そういうようなかたちになりやせんかということで、非常に心配をしているわけです。もう我々は長生きはしませんからそんなに。いるうちに、今健在のうちに言うておこうと思ってやっていますが、真剣に考えてほしいですよ。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいま宇江原議員の人口減少の問題につきましても、これについてはいろいろ分析をしてみますと人口の流出という状況ではございません。これについては以前、高度成長が終わった時に、各県の出張所、あるいは県の出先機関、あるいは国の出先機関、これが引き上げたという一時的な人口の流出はありましたが、現在、問題になっているのは少子化、生まれる子供の数が約80名、亡くなる人が100名以上、そして高校卒業して戻ってくる人が1人か2人というもので自然減ということで毎年100名ぐらい減っているのは、これは宇江原議員が言ったとおりでございます。ただ我々本当にこの島、宇江原議員が言うとおりの人口がどんどんどんどん減っていく島かと

いうとそうでもありません。なぜかといいますと久米島の久米仙、約38億の売り上げがある。クルマエビ、これも28億の売り上げがある。農業にしてもしかり、いろいろなサトウキビでも約10億円、そして牛の生産でも約5億、菊でも3億5、6千万あげている。

この状態というのは他の離島に比べたらもう羨望ものです。他から非常に羨ましがられる状態にあるということ、島に住んでいる人が知らない。島の産業をもう一回見て、雇用があるのに人が集まらないという状況みんなで知恵を出さないと、この島は他所から来た人が働く島になってしまいます。そういうところを我々は改善する必要があるんじゃないかなというふうに思います。

我々の島の潜在能力というのは、ものすごい高いものがあって、ただそこでやっぱりいろいろな事業をやる人たち、これをみんなが応援するという気持ちにならなければ、この島何時までも発展しないというのが言われる。今、現在、ウミブドウの増築、工場の増築も始まっている。それからマグロとか、モズク、そしてエビの養殖も非常に事業所が発展しているにもかかわらず雇用を求める人がいないのが現状です。仕事がないと言っていますが、仕事はたくさんあります。

Aコープの掲示板を見たら全て募集のチラシが張られています。そこらへんを我々はもう一度、島の課題というのを掘り下げて考えないと、この人口問題というのはいつまでも解決しない。ただ、他にあこがれて島から出ていくということ、もう一回真剣に考える必要があるんじゃないかというふうに思います。例えば、私たち段階の世代の時代というのは子どもが7名、8名普通でした。ところ

が今の時代、子どもを生むのが1人、2人、離島でも二点何名かの出生率、ということはこの時代の変遷によって、子どもの生まれる数も少なくなっているというのもこの原因にあると思うんですね。以前の12名とか10名とか家族がいた時代とは全く違うという、その全く時代が違う時代に我々が、じゃあ、どうすべきかというのを、これを議論する必要があると思うんです。ただ人口が減っているから、これが悪い、あれが悪いということではなくて、この時代の流れに沿って、我々も将来的にどうすれば良いかというのを議論した方が、私はこれからの久米島の将来についても有意義な議論になるんじゃないかというふうに思います。

島の産業は、ものすごい産業だということを、ぜひ議員の皆さんも各事業所へ行って現状を見るということが非常に大事、8,500人の人口の島で何十億も上げている事業所が何カ所もあるんです。これは他所にないことですよ。

例えば海士町の岩ガキの養殖9千万円ですよ年間の売り上げ、そういうことを考えれば、この島の能力というのはもっともっと高いところにあるということで、それをぜひ我々は島の産業を理解することからこの産業をもっと活かそうという方向へいかないと、なかなか島自体の活性化はできないんじゃないかなというふうに考えますが、以上であります。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員の質問は3回を過ぎました。但し、55条の規定によって1回だけ許可します。

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

今ですね、町長本当に努力していないな、実態を見ていないなと思っていますよ。確かに産業とかありますよ。ところが人が入って来ない。例えば石垣島においては他府県から自然を求めたりということで居住している人たちがだいぶいます。いろいろと苦情もあるということで、それが苦痛だと言っていたが、要は入ってきているんです。そういうようなものの実態も把握してどうするかということも考えないと、石垣島とかはそれで対応できているんです。自然を求めてこれからの人たちは来る。職を求め水を求めて来るわけですよ。確かに先ほども言ったように久米島はそういった面では恵まれているわけですが、我々の時代とは全く違って海の幸も山の幸もだいぶ少なくなっているということを申し上げて最後の質問をいたします。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

これまで統廃合検討委員会で答申書が決定されて教育長の方に答申書とか提出されたと思いますが、この答申書の内容をちょっとお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後2時12分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後2時12分)

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

10月2日に両小中学校の統合検討委員会からの答申書がございました。手元の方に資料がございませんので細かいところまでは説明できませんが、まずは幼稚園につきましては、

国のほうで幼保一元化ということがありますので、子ども園制度が確立されつつありますが、これにつきましては平成25年度からそれぞれの市町村の方でいろいろアンケート調査をしながら推進してということがございますので、しばらくは幼保一元化、これはどうなのか。全く沖縄県と他県の違いが沖縄県では小学校と連携なんです、他の県においては保育所と幼稚園一元化というのがございますので、そのへんどういったかたちで沖縄県のほうができるのか。まだ他の市町村でもあまりやっていませんので、そのへん動向を見ながら検討していければということがございました。

あと一つは小学校については、これもいろいろ地域の事情とかありますので小学校については、しばらく様子を見たほうが良いということがございました。

中学校につきましては、これまでいろんな検討委員会の中で仲里校区、久米島校区そして保護者、子どもたちのアンケートを取りながらご説明しましたところ検討委員会の中でも中学校の統廃合については推進してほしいということでの答申がございました。詳しい資料は後ほどご提供いたします。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

検討委員会の答申としては中学校の統廃合は推進すべきという答申で、それを受けて定例教育委員会で統廃合を決定したわけですが、その中でどういう意見が出て、その決定を全会一致で決定したのかどうか、そこをお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これにつきましては、10月10日、定例の教育委員会の中で、それぞれ委員長の他、私たち4名委員の中で審議をいたしまして、最終的には、この中学校、先ほどの検討委員会からの答申どおり中学校をまずは推進しようということの決定をいたした経緯がございます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

まず議案に反対者ございませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私は反対意見です。理由は先ほども申し上げましたが、一旦、統廃合してやれば今度は再生させるのは難しいということ。

そしてもう一つは、美崎小学校も消えていくんじゃないかと、こういう不安もあるわけです。この美崎小学校の界わいのお年寄りたちは子どもたちの声を聞いて生きがいを感じると言っているわけです。美崎小学校もゆくゆくは積み木崩しみたいにだんだん統廃合されている。その計画はあるわけでしょう、将来的には、そういうようなものになっていかないかということ。そしてこれをきっかけに、私は、益々人口が減少すると判断をしております。私も統計やってきました。この統計から現れている数字で、どう将来を読むか、対策を打つかということは自分は心得ているつもりであります。だから根源療法でいかない

とだめになりますよと、こういうことを言って反対を表明します。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

私は、議案51号、久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例について賛成の立場で討論します。

この議案は、久米島中学校と仲里中学校の統合を行うための議案でありまして、平成19年に比屋定中学校と具志川中学校が統廃合するときと同時に仲里中学校と久米島中学校が統廃合で進めてまいりましたが、久米島中学校の方で反対意見があり、それが凍結された状況になっておりました。

平成21年に再度検討委員会を立ち上げ当初幼稚園の統廃合を考えておりましたが、第1回目の統廃合検討委員会の中で中学校の統廃合から進めるべきであるということで仲里中学校と久米島中学校の統廃合の検討を進めてきたところであります。

比屋定中学校と具志川中学校が統廃合することによって、これまでの実績、それから評価からして統廃合して良かったという意見も多く聞かれます。それから先ほど教育長の説明の中で、この統廃合の必要性の中に集団の人間関係が非常に難しくなるということもありました。それから専門科目の職員の配置が厳しいということもありました。そしてスポーツの編成ができなくなったり、合唱の学習そのものが成立が難しいということもありました。そういうことで統廃合することによって1クラスから2クラスになり、その学習環境問題が整備されることになります。

検討委員会の答申は中学校の統廃合推進すべきということでありまして、そして定例教育委員会の中でも統廃合を決定しております。そこを踏まえて、私はこの条例案に賛成するものであります。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

討論なしと認めます。

これから議案第51号、久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 喜久里猛

挙手多数です。従って、議案第51号、久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第10 久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第10号、議案第52号、久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第52号、久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例。

上記の議案を提出する。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町廃棄物処理施設条例の一部を次の

ように改正する。

大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。

附則としまして、この条例は平成25年4月1日から施行する。

提案理由

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正されたことにより、久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する必要がある。

これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第52号、久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第52号、久米

島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第11 沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議について

○ 議長 喜久里猛

日程第11号、議案第53号、沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第53号、沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議について、久米島町及び関係地方公共団体は、沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約第25条及び沖縄県消防通信指令施設運営協議会脱会規定第3条に基づき、退会届書及び該当関係団体の議決書が提出されましたので、地方自治法第252条の6及び第252条に第1項の規定により関係地方公共団体と協議するにあたり、同法第252条の2第3項の規定により、議会の議決を求める。

沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部を次のように改正する。

第3条中「、浦添市」を削る。

第5条中「、浦添市長」を削る。

別紙において新旧対照表を添付しております。

附則、この規約は平成25年4月1日から施行する。

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正することについて関係地方公共団体と協議するにあたり地方自治法第252条の2第3項の規定により議会の議決を得なければならない。

これがこの議案を提出する理由であります。

2ページにおいては規約の一部改正の資料であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第53号、沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第53号、沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の一部改正に関する協議については、原案のとおり可決されました。

日程第12 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○ 議長 喜久里猛

日程第12、諮問第1号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦について。

下記の者を本町人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第6条3項の規定により、議会の意見を求める。

記

1 住所 久米島町字比嘉121番地の13

2 氏名 川上博久

3 生年月日 昭和16年10月22日生

4 履歴事項 2枚目の別紙添付

平成24年12月12日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

本町人権擁護委員川上博久氏の任期が平成25年3月31日をもって満了することに伴い、同士を再認したい。

これがこの議案を提出する理由であります。

2枚目、3枚目に履歴書を添付しております。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから諮問第1号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、諮問第1号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で、本日の議事日程は全て終了しました。12月12日から始まりました平成24年第9回久米島町議会定例会は予定されおりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により無事終了することができました。感謝申し上げます。

これにて平成24年第9回久米島町議会定例会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

(閉会 午後2時29分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号12番） 仲村 昌 慧

署名議員（議席番号13番） 玉 城 安 雄